

財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書第416集

# 下大久保遺跡

北関東自動車道(伊勢崎～県境)地域  
埋蔵文化財発掘調査報告書

2007

東日本高速道路株式会社  
財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書第416集

# しも おお く ぼ 下 大 久 保 遺 跡

北関東自動車道(伊勢崎～県境)地域  
埋蔵文化財発掘調査報告書

2007

東日本高速道路株式会社  
(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団



2・3区全景（南上空から赤城山を望む）



4・5・6区全景（上空から）





出土陶磁器外面



出土陶磁器内面



## 序

下大久保遺跡は伊勢崎市田部井町に所在し、平成14年度から15年度にかけて北関東自動車道（伊勢崎・県境間）建設に伴って発掘調査が実施されました。整理作業は平成18年度に実施し、ここに本報告書が刊行されることになりました。

本遺跡の西側には、伊勢崎市（旧佐波郡東村）を南北に縦断している早川が流れていますが、この川は赤城山南麓地域に広がる大間々扇状地の桐原面と藪塚面を画するもので、本遺跡は藪塚面の西端部に位置しています。本遺跡の西側には製鉄関連遺物の出土した南原間遺跡や、その隣には縄文時代中期から後期にかけての集落が検出された下田遺跡などがあり、本遺跡からも縄文時代や近世の遺構・遺物が検出されていますが、本遺跡の東側にはほとんど遺跡はなく、本遺跡がこのあたりの遺跡の東端部に当たることが確認されました。

本報告書の刊行に至るまでには、東日本高速道路株式会社（旧日本道路公団）、県教育委員会、伊勢崎市教育委員会、旧佐波郡東村教育委員会はじめ関係諸機関並びに関係者の皆様に大変なご尽力を賜りました。心から感謝申し上げますとともに、本報告書が広く活用されることを願い、序といたします。

平成19年9月

財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団

理事長 高橋 勇夫

## 例 言

- 1 本書は、北関東自動車道建設に伴い事前調査された下大久保遺跡（遺跡略号KT-440）の発掘調査報告書である。本書における報告は、下大久保遺跡から検出された遺構・遺物を対象とする。
- 2 遺跡は、群馬県伊勢崎市田部井町2196-1・3、2197-1・2、2200、2243、2244、2245-1～3、2246-1・3・11・13・15、2288-1、2289、2290、2291-1～3、2293-5、2305-1、2306、2306-2、2307、2308-1～4、2309、2310-1・2、2311、2312-1～4、2313-1、2318-1、2319、2323、2326、2328、2328-2、2844、2845番地に所在する。
- 3 本遺跡の発掘調査と整理事業は、東日本高速道路株式会社（旧日本道路公団）から財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団が委託を受け実施したものである。
- 4 発掘調査期間、整理期間は次のとおりである。

発掘調査 平成14年7月1日～平成14年7月15日（範囲確認調査）  
平成14年12月2日～平成15年3月31日 平成15年6月9日～平成15年8月18日（本調査）

整理事業 平成18年4月1日～平成18年6月30日
- 5 発掘調査及び整理事業の体制は次のとおりである。

発掘調査  
事務担当 小野宇三郎、吉田 豊、住谷永市、神保侑史、能登 健、平野進一、萩原利通、真下高幸、相京建史、井川達雄、笠原秀樹、柳岡良宏、北野勝美、中澤恵子、金子三枝子  
調査担当 範囲確認調査 齋藤和之、山口逸弘、大澤 務、齋藤利子、関口博幸、橋本 淳  
本 調 査 関根慎二、新井 仁、土谷慎二、石坂 聡

整理事業  
事務担当 高橋勇夫、木村裕紀、津金澤吉茂、萩原 勉、中束耕志、関 晴彦、笠原秀樹、須田朋子、今泉大作、栗原幸代、石井 清、斉藤恵利子、柳岡良宏、佐藤聖行、佐藤美佐子、内山佳子、本間久美子、狩野真子、北原かおり、若田 誠

整理担当 新井 仁
- 6 本書作成の担当はつぎのとおりである。

編集 新井 仁  
本文執筆 第I章第1節 相京建史、前記以外 新井 仁  
遺構写真撮影 各発掘調査担当  
遺物写真撮影 佐藤元彦  
金属器保存処理 関 邦一、土橋まり子、小材浩一、津久井桂一、多田ひさ子、長岡久幸  
遺物機械実測 田所順子、伊東博子、岸 弘子、田中精子、小菅優子  
整理作業 伊東悦子、伊東幸代、根井美智子、中橋たみ子、真庭和子、福島瑞希
- 7 発掘調査において以下の業務委託を行った。

地上測量 株式会社小出測量設計事務所 株式会社栗原総合測量  
空中写真撮影 株式会社シン技術コンサル
- 8 陶磁器については大西雅弘、縄文土器については山口逸弘、石器については松村和男に指導を受けた。
- 9 発掘調査資料、出土遺物は群馬県埋蔵文化財調査センターに保管している。

発掘調査及び報告書作成では以下の方々にご協力・ご指導いただいた。記して感謝の意を表す。  
小島通悦、旧東村教育委員会、地元関係者各位

## 凡 例

- 1 挿図中に使用した方位は、座標北を表している。座標系は、国家座標第IX系である。
- 2 遺構断面実測図、等高線に記した数値は標高を表し、単位はmを用いた。
- 3 遺構名称は遺構種類ごとに通し番号をつけ、番号・遺構種類名で呼称した。また本文中（第III章）では、各節ごとに時代順に記載し、遺構・遺物に分けて報告している。
- 4 遺物番号は時代ごとの通し番号とし、遺構に関係なく器種・分類順に記載した。番号は遺構図、遺物実測図、遺物観察表、遺物写真図版とも一致している。
- 5 遺構・遺物実測図の縮尺率は原則として以下のとおりとしたが、統一できないものも多いため、それぞれの図中に記載した縮尺を参照されたい。

遺構 土坑・ピット—平面図・断面図 1：80 溝・谷地・落ち込み—平面図 1：200 断面図 1：80

遺物出土状況等—平面図・断面図 1：40

遺物 大形土器、大形石器・石製品—1：4、1：6

小形土器、小形石器・石製品、一部土製品・漆器—1：3

一部土製品、一部石製品、金属製品—1：2

銅銭—2：3 石鏃・一部玉類—1：1

なお、遺物図の遺物番号の横に縮尺を入れたが、1：3(1/3)のものは省略している。

- 6 遺構の主軸方位・走向は、長軸方向で北から東西90°以内を主軸とした。表記は北を基準とし、東に傾いた場合N—○°—Eとした。

遺構・遺物の計測値で、全体を計測できないものについては、現存の値を記載し〔 〕で表した。推定で全体がわかるものについては（ ）で表した。

- 9 土器実測図中、残存量が1/2以下のものについては180°回転して図上復元した。この場合、実測線を中心線から離している。
- 10 遺物観察表の記載方法は以下のとおりである。
  - ・計測値の（ ）は推定値を、〔 〕は現存値を示す。
  - ・土器の色調は、農林水産省農林水産技術会議事務局監修・財団法人日本色彩研究所色票監修『新版標準土色帖 1988年版』に基づいている。
  - ・胎土表記中の細砂・粗砂・礫は、径2mm以上を礫、径2～0.2mmを粗砂、径0.2mm以下を細砂とした。
- 11 本書で掲載した地図は、下記のものを使用した。

国土地理院 地形図 1：25,000「大胡」「伊勢崎」「桐生」「上野境」  
国土地理院 地勢図 1：200,000「宇都宮」  
東村役場 1：10,000「東村全図」



# 目次

口 絵  
序  
例 言  
凡 例

## 第I章 発掘調査の実施と経過

第1節 調査に至る経緯と調査の経過	1
(1) 調査に至る経緯	1
(2) 発掘調査の経過	1
(3) 整理作業の経過	1
第2節 調査の方法	4
(1) 調査区の設定	4
(2) グリッド設定	4
(3) 遺構の調査	4
(4) 遺物の整理	4
第3節 基本土層	6

## 第II章 遺跡を取りまく環境

第1節 地理的環境	7
第2節 歴史的環境	7

## 第III章 検出された遺構と出土遺物

第1節 中世以降・時期不明	14
(1) 概要	14
(2) 遺構	14
溝	14
土坑	17
ピット	19
(3) 遺構外遺物出土状況	21
(4) 遺物	53
第2節 縄文時代～平安時代	61
(1) 概要	61
(2) 遺構	61
(3) 遺構外遺物出土状況	61
(4) 遺物	65

## 第IV章 まとめ

写真図版  
抄 録

## 挿図目次

第1図	遺跡位置図	2	第25図	中世以降・時期不明ピット7 (107~109・118~124・134~142号ピット)	42
第2図	調査区位置図	3	第26図	中世以降・時期不明ピット8 (110~115・128・129・130~133・143~145号ピット)	43
第3図	調査区設定図	4	第27図	中世以降・時期不明ピット9 (147~163・195号ピット)	44
第4図	グリッド設定図	5	第28図	中世以降・時期不明ピット10 (164~170・172~177・196~199・211号ピット)	45
第5図	基本土層柱状図および基本土層作成地点位置図	6	第29図	中世以降・時期不明ピット11 (171・178~194号ピット)	46
第6図	遺跡周辺地形区分図	8	第30図	中世以降・時期不明ピット12(202・205・207~209・224~226・250・251・254~256号ピット)	47
第7図	周辺遺跡位置図	10	第31図	中世以降・時期不明ピット13 (227~237・245~249号ピット)	48
第8図	中世以降・時期不明遺構位置図	22	第32図	中世以降・時期不明ピット14 (200・201・203・204・210・212~223号ピット)	49
第9図	中世以降・時期不明溝1 (1~7・42~47号溝)	23	第33図	中世以降・時期不明ピット15 (238~244・252・253号ピット)	50
第10図	中世以降・時期不明溝2 (12~22号溝)	25	第34図	中世以降・時期不明2号谷地・1・2号落ち込み	51
第11図	中世以降・時期不明溝3 (23~28・34~40号溝)	27	第35図	中世以降出土遺物1 陶磁器	56
第12図	中世以降・時期不明溝4 (8~11号溝)	29	第36図	中世以降出土遺物2 陶磁器 土器 土製品 石製品	57
第13図	中世以降・時期不明溝5 (31~33・41号溝)	30	第37図	中世以降出土遺物3 鉄製品 銅製品 銅銭	58
第14図	中世以降・時期不明土坑1 (1~11号土坑)	31	第38図	縄文時代1号谷地	62
第15図	中世以降・時期不明土坑2 (12~22号土坑)	32	第39図	縄文時代960-040Gr 遺物集中地点	63
第16図	中世以降・時期不明土坑3 (23~29・31~35号土坑)	33	第40図	縄文時代遺構外遺物出土分布図	64
第17図	中世以降・時期不明土坑4 (36~47号土坑)	34	第41図	縄文時代出土遺物1 土器 石器	66
第18図	中世以降・時期不明土坑5 (48~53号土坑)	35	第42図	縄文時代出土遺物2 土器	67
第19図	中世以降・時期不明ピット1 (1~26号ピット)	36			
第20図	中世以降・時期不明ピット2 (27~39・52~55・60号ピット)	37			
第21図	中世以降・時期不明ピット3 (40~51・56~59・146号ピット)	38			
第22図	中世以降・時期不明ピット4 (61~83・85~89・92~95・100~103号ピット)	39			
第23図	中世以降・時期不明ピット5 (61~83・85~89・92~95・100~103号ピット)	40			
第24図	中世以降・時期不明ピット6 (90・91・96~99・104~106・116・117・125~127号ピット)	41			

## 写真図版目次

図版1	全景	図版13	中世以降・時期不明土坑・ピット
図版2	全景	図版14	中世以降・時期不明ピット
図版3	中世以降・時期不明溝	図版15	中世以降・時期不明ピット
図版4	中世以降・時期不明溝	図版16	中世以降・時期不明ピット
図版5	中世以降・時期不明溝	図版17	中世以降・時期不明ピット
図版6	中世以降・時期不明溝	図版18	中世以降・時期不明ピット
図版7	中世以降・時期不明溝・谷地・土坑	図版19	中世以降・時期不明ピット・落ち込み・谷地 縄文時代谷地・遺物集中地点
図版8	中世以降・時期不明土坑	図版20	中世以降・時期不明陶磁器
図版9	中世以降・時期不明土坑	図版21	中世以降・時期不明陶磁器・土器・土製品・石製品・鉄製品・銅製品・銅銭
図版10	中世以降・時期不明土坑	図版22	縄文時代土器・石器
図版11	中世以降・時期不明土坑		
図版12	中世以降・時期不明土坑		

# 第I章 発掘調査の実施と経過

## 第1節 調査に至る経緯と調査の経過

### (1) 調査に至る経緯

当事業である北関東自動車道（伊勢崎～県境）建設に伴う伊勢崎インターチェンジから栃木県境までの17.7kmについて、発掘調査が開始されたのは平成12年度である。平成12年6月12日、日本道路公団東京建設局高崎工事事務所において公団・群馬県土木部道路建設課高速道路対策室・群馬県教育委員会文化財保護課・財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団の4者で打ち合わせ会議を行った。公団からは用地買収等の状況、文化財調査と工事工程（カルバートボックスや橋梁等の下部工事発注）に関して、平成12年度に一部の遺跡について急遽8月から発掘調査の要請があった。高速道路対策室は、側道部分に係るカルバートボックスについての対応は考慮してほしいこと、当事業団としては、用地買収があまりすすんでいない状況であること、残土処理場確保、側道部分の調査地の明瞭な区分等について問題点を話し合い調査への基礎固めを行うこととした。各所属で検討が進み文化財保護課の調整により日本道路公団東京建設局・群馬県教育委員会・財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団の3者は「北関東自動車道（伊勢崎～県境）建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査に関する協定書」を平成12年8月1日に締結し、この協定に基づき日本道路公団東京建設局と当事業団が「平成12年度北関東自動車道（伊勢崎～県境）埋蔵文化財発掘調査委託契約書」を結び、調査は同年10月から開始することとなった。

下大久保遺跡は平成14年2月1日付け協定書により平成14年度から調査を行うこととし、用地買収の進捗によって15年度以降については順次進める計画とした。整理期間については平成18年3月31日付け協定書に基づき平成18年4～6月までとし、報告書刊行については19年度内の出版計画とした。

### (2) 発掘調査の経過

調査は、平成14年に開始された。まず、7月1日から15日に、未収去地を除いた調査区全面にトレンチを入れ、範囲確認調査を行った。その結果、調査区の東部（5区-2、6区-2、7区）には、遺構が確認されなかったため、調査対象外とし、他の部分を本調査することになった。

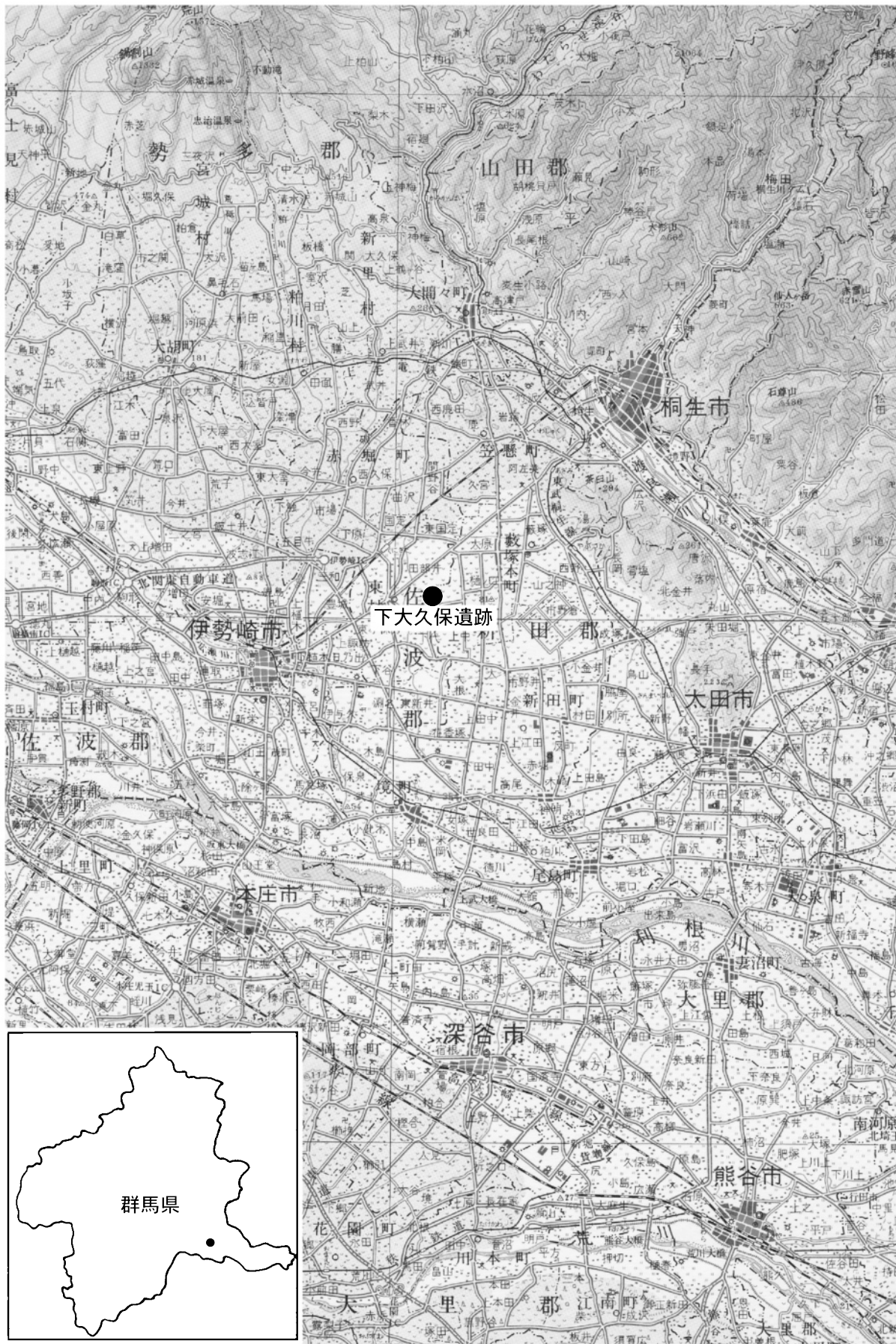
本調査は、同年12月から行った。1区、2区-1、3区-1は未収去地であるため次年度調査とし、2区-2、3区-2から調査を行い、12月中に終了した。4区、5区-1、6区-1は、平成15年1月から調査し、3月に終了した。遺構の調査終了後、ロームの残りのよい部分に旧石器の試掘を行ったが、遺構、遺物は検出されなかった。

未収居地であった1区、2区-1、3区-1の調査は、平成15年6月9日～8月18日に行われた。上部に家屋等があった1区、2区-1にはトレンチをいれ、範囲確認調査を行ったところ、削平が著しく遺構は残っていないため調査を終了した。

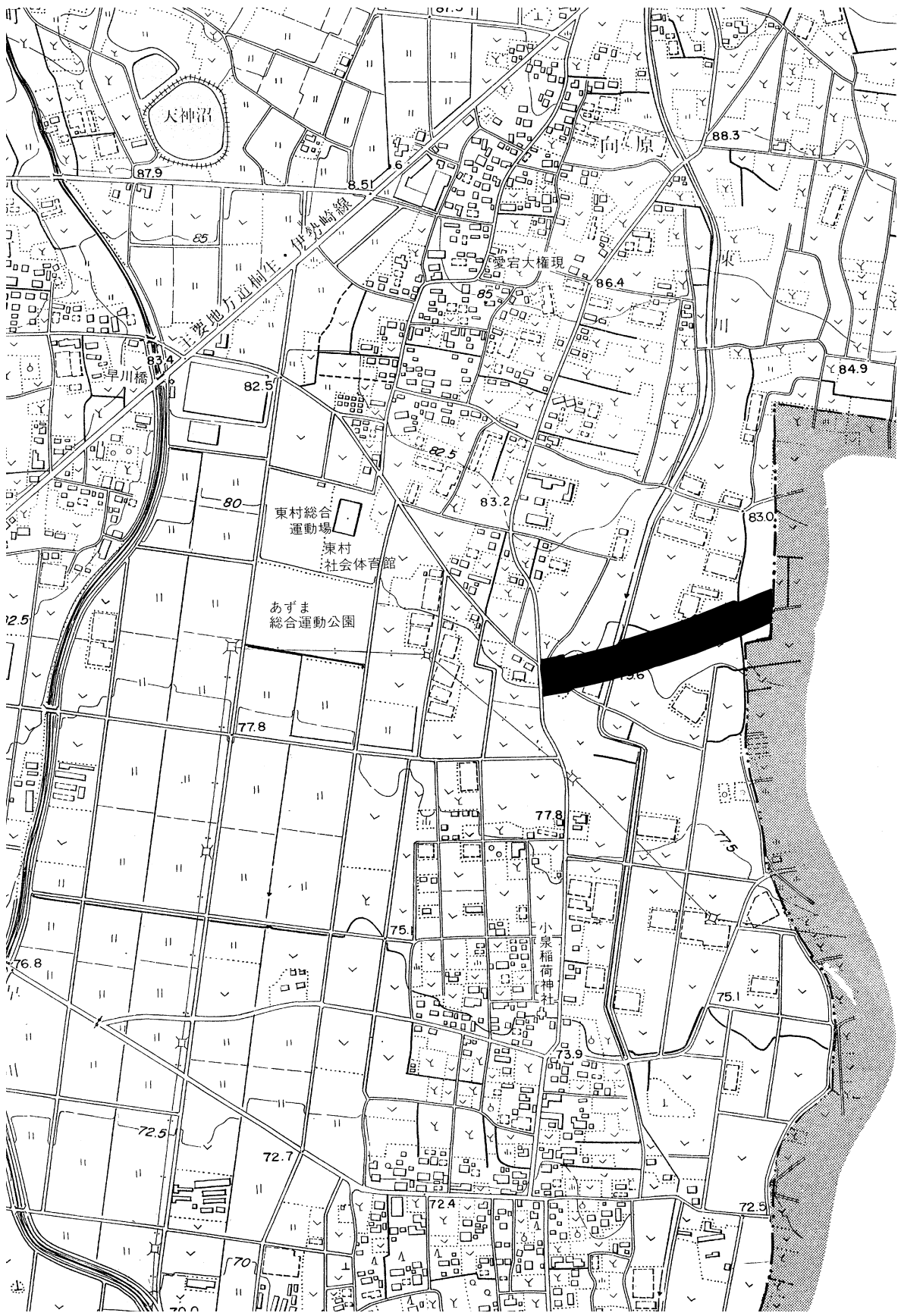
### (3) 整理作業の経過

整理作業は2006年4月から開始され、2006年6月まで行った。遺物の接合・復元、写真撮影を行い、その後、遺構図面修正、遺物実測、遺物・遺構トレース、図版作成の順に行った。残りのよい遺物が少なく、図化できるものが少ないため、遺物の器形分類を行い、時期・器種・器形ごとに数量把握を行った。遺構についても、時期・遺構の種類ごとにまとめて掲載した。





第1図 遺跡位置図 (国土地理院 地勢図 1:200,000「宇都宮」使用)

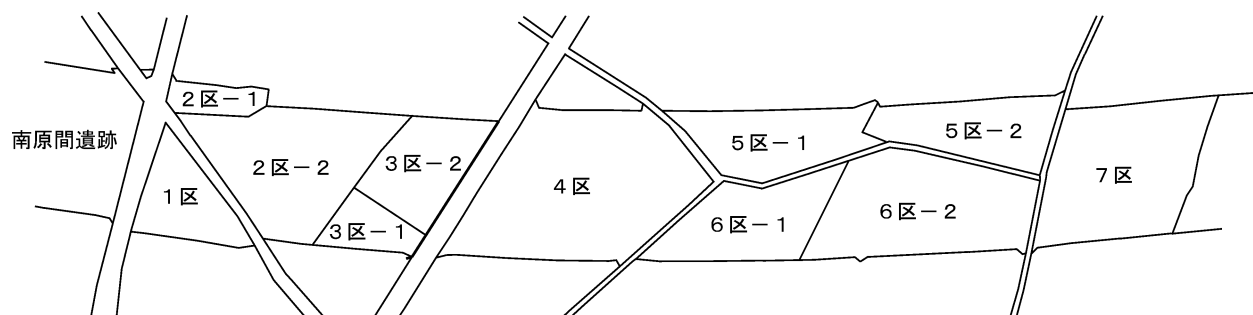


第2図 調査区位置図 (東村役場 1:10,000「東村全図」使用)

## 第2節 調査の方法

### (1) 調査区の設定

現道および水路を境界として西から東に向かって1～7の区を設定したが、2・3区は未収去地等の関係で調査年度が変わったため2区-1、2区-2および3区-1、3区-2に分けて調査した。5・6区は範囲確認調査により調査範囲が限定されたため、5区-1、5区-2および6区-1、6区-2に分け、5区-1、6区-1のみ調査し、5区-2、6区-2、7区は遺構が確認されなかったため、調査対象外となった。



第3図 調査区設定図

### (2) グリッド設定

日本平面直角座標（国家座標）を基準とし、X軸Y軸ともに国家座標の下3桁の値を用い、X軸-Y軸の順に併記し、その南東隅のポイント名をグリッド名とした(例650-950)。最小単位は1mであるが、方眼杭や遺物取り上げなどは5mグリッド（下一桁0、5）を用いた。

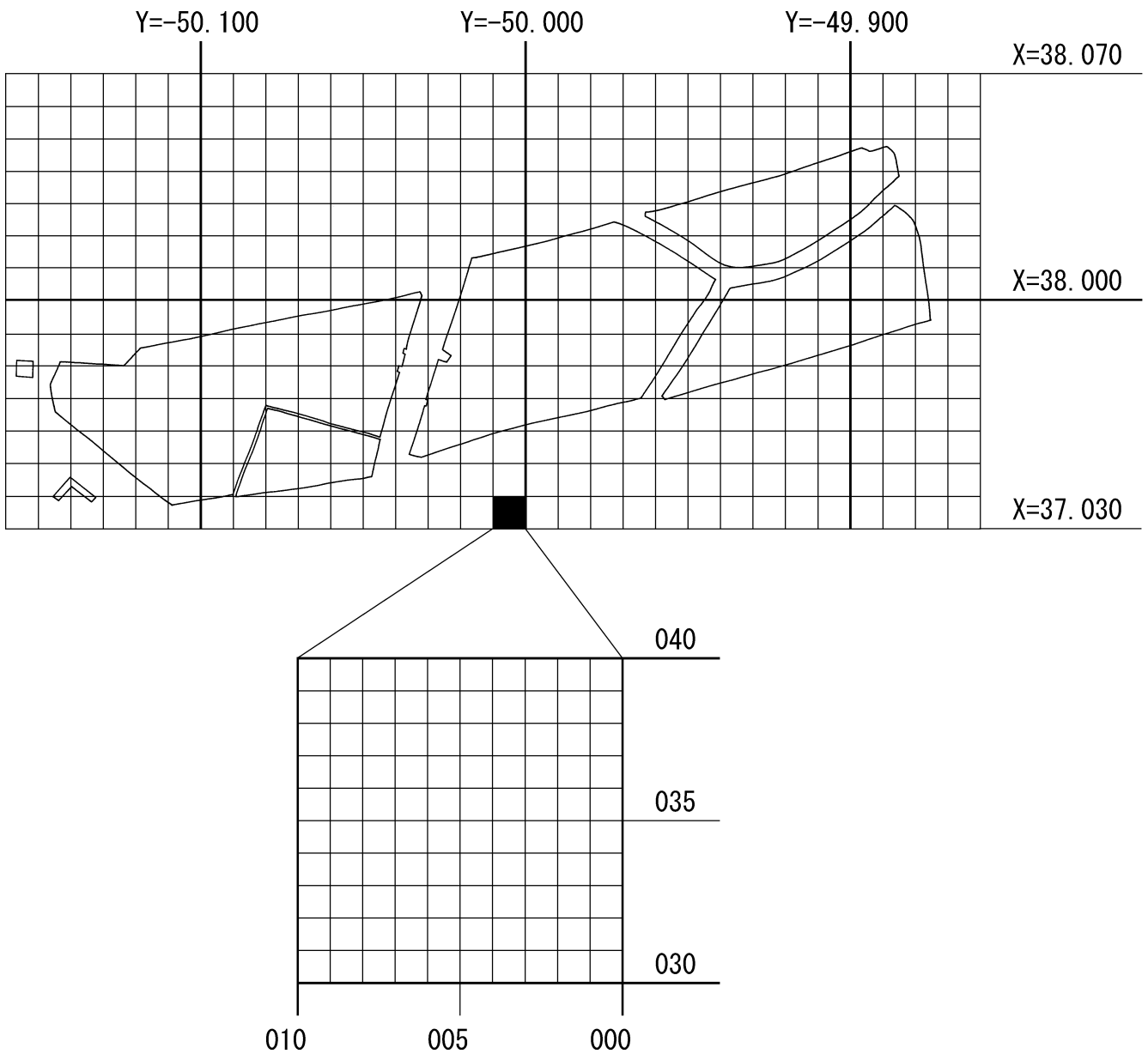
### (3) 遺構の調査

表土は重機で除去した。その後遺構確認作業を行い、確認後遺構を掘り下げた。遺構番号は調査区に関係なく通し番号とし、適当でない物は欠番とした。また番号が重複した遺構はアルファベットの大文字を番号の後に付けて区別した。遺構調査終了後ロームの残っていた6区の一部で旧石器の試掘を行ったが、遺構・遺物は検出されなかった。

### (4) 遺物の整理

遺物は洗浄後、遺跡略号（KT-440）、調査区、調査面、遺構名・グリッド名等、遺物No.を記入した。整理作業では、時期・器種・器形分類を行い、数量を把握した。



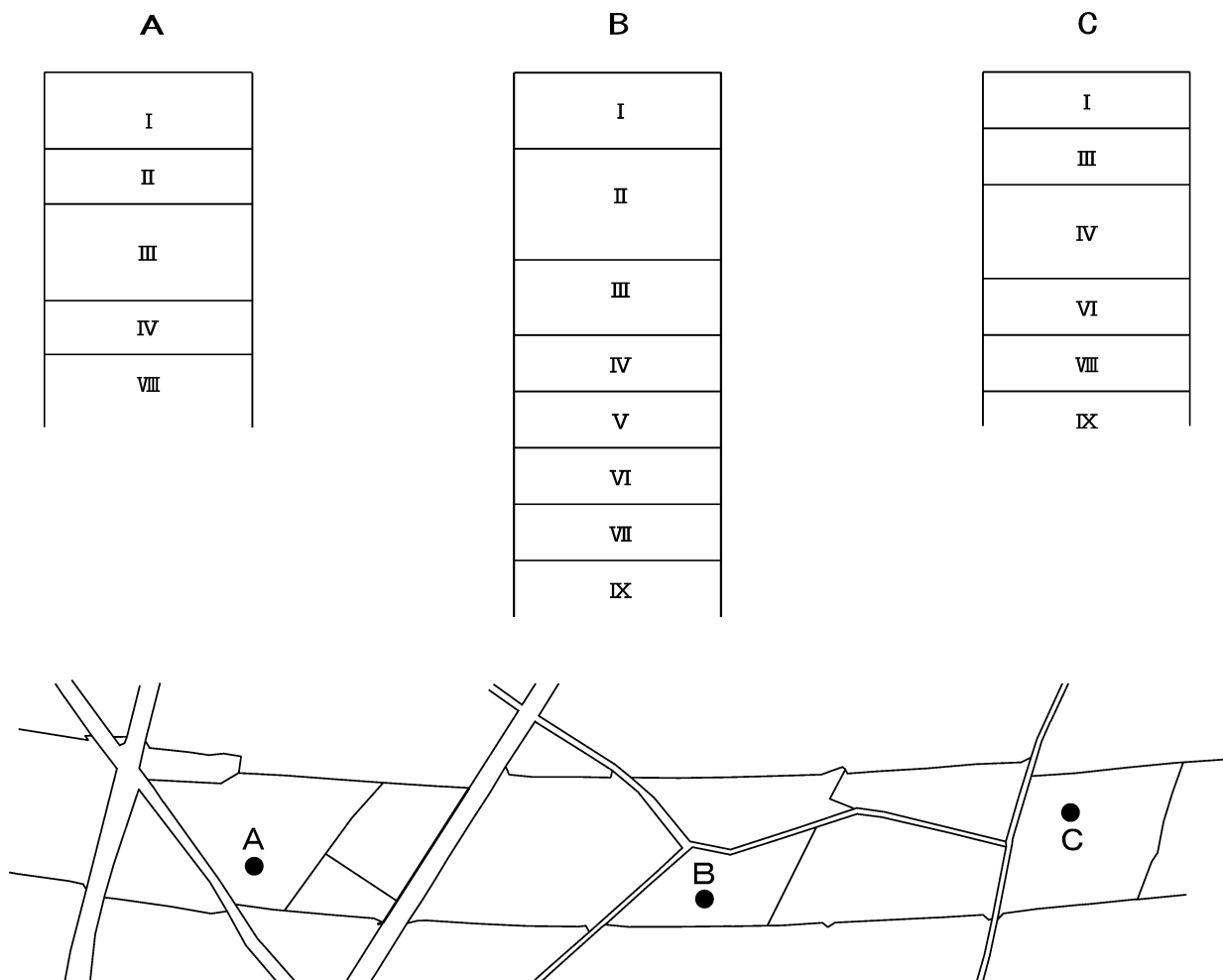


第4図 グリッド設定図

### 第 3 節 基本土層

第 5 図に示す 3 地点で基本土層の確認を行った。全体的に見ると、上層から、現耕作土、ロームの漸移層、ハードローム層、砂質土層、礫層の順に堆積している。しかしながら地点により若干の違いが見られ、2 区ではロームの残りは悪く、下はすぐ礫層になっている。6 区はもっともロームの残りがよく、黄褐色軽石 (YP もしくは BP?) 層が見つかった。

- I 表土 現耕作土
- II 褐色土 (10YR 4 / 6) ロームの漸移層
- III 明褐色土 (7.5YR 5 / 6) 黄色軽石粒少量混入
- IV 黄褐色土 (10YR 5 / 6) ハードローム層 黄色軽石粒少量混入
- V 黄褐色土 (10YR 5 / 6) IV層をベースに、にぶい黄褐色粘質土ブロック・黄色軽石中量混入
- VI にぶい黄褐 (10YR 5 / 4) 黄褐色軽石層 YPあるいはBP層
- VII にぶい黄褐 (10YR 5 / 4) 細砂多量混入
- VIII 礫層 粘質土ブロック混入
- IX 礫層 大型円礫混入



第 5 図 基本土層柱状図および基本土層作成地点位置図

## 第II章 遺跡を取りまく環境

### 第1節 地理的環境

下大久保遺跡の所在する伊勢崎市田部井町は、関東平野の北西部、群馬県の南東部にあり、赤城山の東南麓に位置する。この地域は渡良瀬川の浸食作用によって形成された大間々扇状地が広がっている。大間々扇状地は、東が栃木県境を流れる渡良瀬川、西が伊勢崎市と旧赤堀町の境を流れる粕川に挟まれた地域で、中央西よりに赤城山を源とする早川が、北から南へ流れている。

大間々扇状地は早川をほぼ境として、西側の桐原面と東側の藪塚面の2つの段丘面に分けられる。桐原面は、約5万年前に段丘化したと考えられており、湧水を源とする小河川による開析がすすんでいて、小規模な谷が入り組んだ地形となっている。藪塚面は桐原面よりも緩傾斜な段丘で、段丘化は約2万数千年前と考えられている。桐原面には、標高90m付近に湧水点が集まっているが、藪塚面では標高90m付近には湧水点はほとんどなく、扇端部の標高60m付近を中心とした地点に湧水が多くなっている。

当遺跡は藪塚面の西端部に位置し、標高は約80mである。よって湧水は少なく、当遺跡の東側は乾燥したローム台地となっている。しかしながら、西側は早川の左岸低地であるため、水田地帯となっている。

### 第2節 歴史的環境

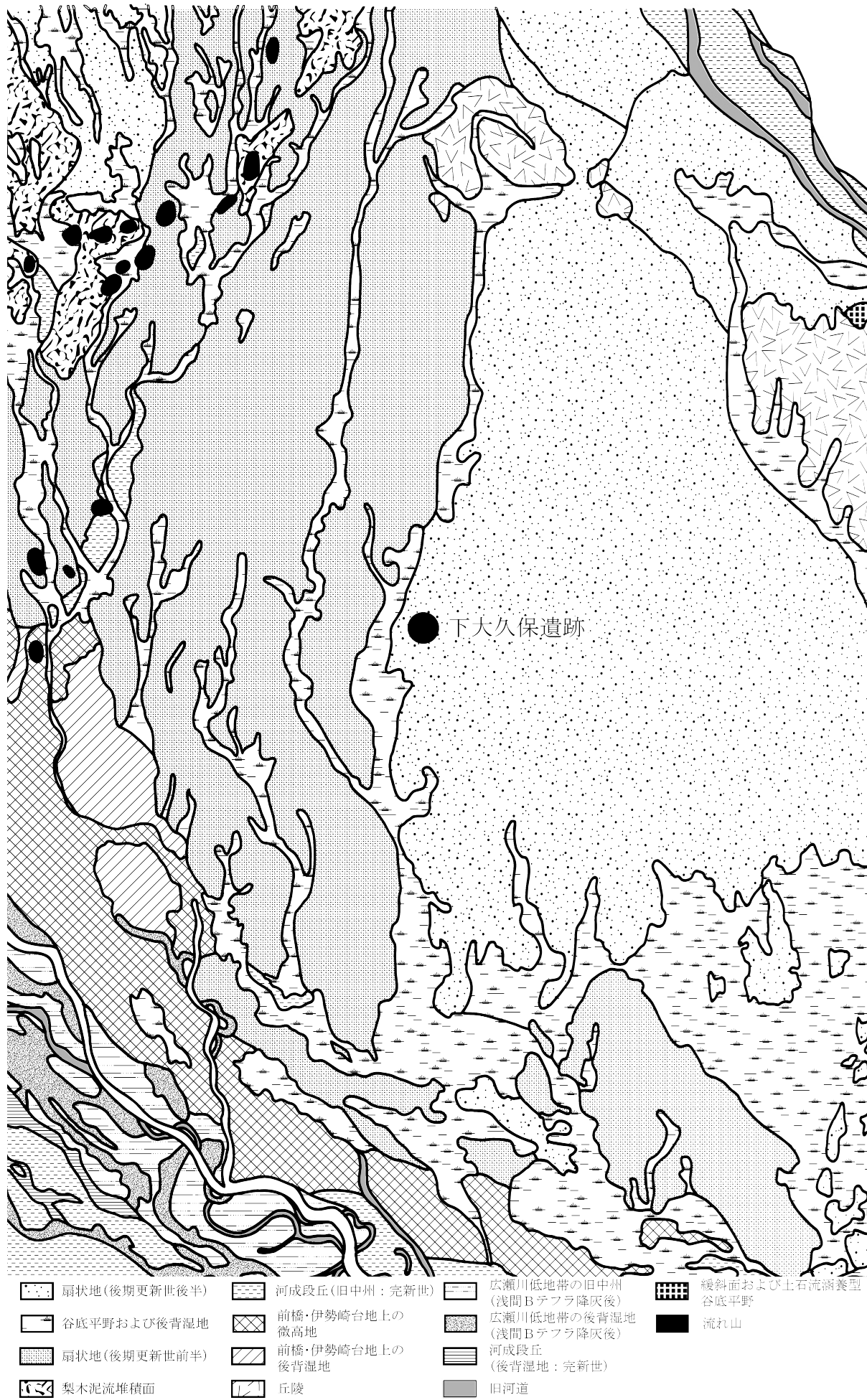
遺跡の立地する大間々扇状地藪塚面は、前述のように湧水の少ない乾燥地であり、当遺跡の東側は遺跡が極めて少ないため、ここでは遺跡の多く立地する早川以西の大間々扇状地桐原面の旧東村域を中心に、遺跡の分布を主とした歴史的環境を概観してみたい。

#### (1) 旧石器時代

大間々扇状地桐原面の早川右岸台地上に遺跡が集中している。特に、近年の三和工業団地や北関東自動車道建設により調査された、三和工業団地I遺跡や書上・天ヶ堤・大上・前道下・塚下と続く北関東自動車道関連の各遺跡からは、As—YP(浅間板鼻黄色軽石層)からAT(始良丹沢火山灰)下の暗色帯までの各時期の石器・ブロックが集中して検出されている。これ以外の地域では旧石器が集中して検出されている場所はない。

#### (2) 縄文時代

縄文時代になると、桐原面に広がる開析谷や早川両岸の台地上に数多くの遺跡が分布するようになる。草創期の遺跡は少なく、三室坊主林遺跡から押圧縄文系土器片が、道上遺跡から尖頭器が出土している程度である。早期は、三室坊主林、道上、中西原、磯沼遺跡等で土器が出土しているが、遺構は八寸大道上遺跡で集石遺構が検出されているだけである。当遺跡に隣接する調整池調査分では早期と思われる自然流路が検出されている。前期になると桐原面の各谷筋に遺跡が分布するようになり、前期後半の諸磯期に特に多くなる。大上遺跡では、大型住居を含む諸磯期の住居十数軒と多数の土坑等が検出されている。他に天神前I・II、天神沼I・II遺跡等がある。中期になると遺跡は旧東村域全体に分布するようになり、集落規模も拡大する。時期的には中期後半の加曾利E期が最も多く、天ヶ堤遺跡・下田遺跡などで大集落が形成されている。他に、天神沼I・II、園芸試験場第二、中西原遺跡等がある。後期になると遺跡数は減少し、後期前半の堀ノ内期まで続くが、後期後半、晩期の遺跡は検出されていない。



第6図 遺跡周辺地形区分図(群馬県史 通史編1使用)

### (3) 弥生時代

弥生時代も遺跡はほとんど検出されておらず、頼光塚、平井西、独鈷田Ⅱ遺跡等で遺物が出土しているだけである。

### (4) 古墳時代

古墳時代になると、遺跡数は増加する。前期の集落遺跡では、特に天ヶ池谷筋南半に集中しており、伊勢崎・東流通団地遺跡や西ノ畑遺跡、鬼ヶ島遺跡などの一大拠点ともいべき集落を形成している。他に、古早川筋で独鈷田Ⅰ遺跡、独鈷田Ⅱ遺跡、上慶本遺跡、塚下遺跡、早川筋で天神沼Ⅰ遺跡、天神沼Ⅱ遺跡、平井西遺跡、岡谷遺跡、さらに鹿田山からの谷筋で水殿遺跡、磯沼遺跡などで古墳時代前期の集落や遺物散布がみられる。当地域では前期から中期に属する古墳は存在しないが、伊勢崎・東流通団地遺跡で前期の方形周溝墓が11基集中して検出されている。

中後期になると遺跡数はやや減少するが大規模な遺跡も出現する。早川筋では遺構が検出されている遺跡はほとんどなく、天神沼Ⅰ・Ⅱ遺跡、下中西Ⅰ・Ⅱ遺跡等で遺物散布がみられる程度である。天ヶ池筋や古早川筋では、舞台遺跡、天ヶ堤遺跡、塚下遺跡、伊勢崎東流通団地遺跡等の大規模な集落が検出されている。他に、八寸大道上遺跡では玉作工人の集落が確認されており、また、曲沢Ⅰ遺跡、上柳沢遺跡などから水路状の溝が検出されており、当該期における水田耕作の拡大を示すと考えられる。古墳は、古早川と現早川の低地が合流する地点に35基の後期古墳で構成される下谷古墳群が形成される。

### (5) 奈良平安時代

この時代になると、桐原面全体に遺跡が分布するようになる。天ヶ池筋や古早川筋では、前代から引き続き大集落が営まれている遺跡が多いが、早川筋でも下田遺跡、上中西Ⅱ遺跡、田部井遺跡、天神沼Ⅰ・Ⅱ遺跡、東ノ宿遺跡等で集落が検出されるようになる。平安時代の特徴として、製鉄関連遺構があげられる。隣接する南原間遺跡で豎型炉、炭窯、鍛冶遺構が、これも近接する下大久保Ⅱ遺跡や下田遺跡、下元屋敷遺跡では炭窯や鉄滓散布地が検出されている。他に、天神沼Ⅰ遺跡で羽口や鉄滓を伴う豎穴遺構が、伊勢崎・東流通団地遺跡で豎型炉、鍛冶遺構が、頼光塚遺跡、高原遺跡、塚下遺跡で羽口や鉄滓が出土している。

この時代には条里地割が導入されるが、これに伴って大規模な水田開発がなされたと想定される。このことと関係してか、積極的な水路の掘削が行われている。女堀や牛堀等の大規模水路が掘削されているが、他にも、曲沢遺跡で現早川から古早川谷への水路が再掘削され、天神沼Ⅱ遺跡では現早川から鹿田山谷への水路が、上慶本遺跡では古早川谷から西小保方支谷へとと思われる水路がそれぞれ掘削されている。

### (6) 中近世

中近世の遺構は、居館跡を中心に検出されている。天神沼Ⅰ遺跡で浅い周溝に囲まれた掘立柱建物や土坑が、田部井館跡遺跡では、館跡内の掘立柱建物、柵列、溝、井戸、土坑等が、上中西Ⅱ遺跡でも、周溝内に掘立柱建物、溝等が検出されている。他に三室坊主林遺跡でも方形に堀を巡らした遺構が検出されている。また、田部井大根谷戸遺跡では幹線道路である「あずま道」が検出されている。







周辺遺跡一覧表

番号	遺跡名	所在地	旧石器	集落・溝等○ 墳墓● 遺物のみ△						備考	文献	
				縄文	弥生	古墳前	古墳中後	奈良平安	中世			近世
1	下大久保遺跡	伊勢崎市田部井町		△				△	△	○		(1)(2)
2	南原間遺跡	伊勢崎市田部井町		△				○		○	製鉄関連遺構検出	(1)(61)(62)
3	下田遺跡	伊勢崎市田部井町		○		○		○		○	縄文中後期の集落	(60)(61)(62)
4	下元屋敷遺跡	伊勢崎市田部井町		○				○		○	縄文中後期の集落	(5)(60)
5	根性坊遺跡	伊勢崎市田部井町		○				△			縄文中後期の集落	(4)(6)
6	野間遺跡	伊勢崎市東町		△				△				(4)
7	上中西Ⅰ遺跡	伊勢崎市東町		△				△	△			(4)
8	上中西Ⅱ遺跡	伊勢崎市東町						○	○		室町～戦国居館跡	(4)(6)
9	上中西Ⅲ遺跡	伊勢崎市東町		△				△				(4)
10	下中西Ⅰ遺跡	伊勢崎市東町		△			△					(4)
11	下中西Ⅱ遺跡	伊勢崎市東町		△			△	△				(4)
12	向原遺跡	伊勢崎市田部井町		○		△				○		(4)(7)
13	田部井遺跡 田部井館跡遺跡	伊勢崎市田部井町						○	○		中世居館跡	(4)(8)
14	天神沼Ⅰ遺跡	伊勢崎市田部井町		○		○	△	○	○	○	縄文中・奈良平安集落	(4)(9)(10)
15	天神沼Ⅱ遺跡	伊勢崎市田部井町		○		○	△	○			縄文中・奈良平安集落	(4)(9)(10)
16	東ノ宿遺跡	伊勢崎市田部井町		○		△		○			奈良平安集落	(4)(9)
17	西磯遺跡	伊勢崎市田部井町		△				△				(4)
18	磯沼遺跡	伊勢崎市国定町		△		△		△				(4)
19	水殿遺跡	伊勢崎市国定町		△		△		△				(4)
20	諏訪原遺跡	伊勢崎市国定町						△				(4)
21	見取遺跡	伊勢崎市国定町						△				(4)
22	諏訪山遺跡	伊勢崎市国定町		△				○	○		平安集落	(11)(12)(13)
23	天神前Ⅰ遺跡	伊勢崎市国定町		△				△				(4)
24	天神前Ⅱ遺跡	伊勢崎市国定町		△				△				(4)
25	田部井大根谷戸遺跡	伊勢崎市田部井町	○					○	○		古代大堀・中近世道路 (あずま道)	(14)
26	北西山遺跡	伊勢崎市田部井町		△								(4)
27	下柳沢遺跡	伊勢崎市東町		○				○				(4)
28	寺東遺跡	伊勢崎市西小保方町						○			平安水田	(4)(15)
29	渡戸遺跡	伊勢崎市東小保方町					△					(4)
30	新町遺跡	伊勢崎市東小保方町		△				○				(4)(16)
31	久永氏陣屋跡	伊勢崎市東小保方町								○		(4)
32	小泉南遺跡	伊勢崎市小泉町		△				△				(4)
33	下ノ西遺跡	伊勢崎市東小保方町						△				(4)
34	高原遺跡	伊勢崎市東小保方町			△	△	△	△				(4)
35	頼光塚遺跡	伊勢崎市東小保方町		△	△	△	○	△			古墳後期集落	(4)(17)
36	平井西遺跡	伊勢崎市平井町		△	△			△				(4)
37	平井裏遺跡	伊勢崎市平井町		△		△		△				(4)
38	岡谷遺跡	伊勢崎市東小保方町		△	△	△						(4)
39	下谷古墳群	伊勢崎市東小保方町					●				東村7～41号墳・鶴巻古墳・雷電神社古墳含む	(4)(18)
40	下谷前遺跡	伊勢崎市東小保方町		△								(4)
41	上洲名・榎沼遺跡	伊勢崎市境上洲名町		△								
42	矢ノ原遺跡	伊勢崎市境東新井町						○			東山道駅路	(19)
43	上洲名・牛堀遺跡	伊勢崎市境上洲名町						○	○		東山道駅路	
44	上洲名・吉田遺跡	伊勢崎市境上洲名町					●					(20)
45	独鈷田Ⅰ遺跡	伊勢崎市国定町		△		△		△				(4)
46	独鈷田Ⅱ遺跡	伊勢崎市国定町		△	△	△		△				(4)
47	女堀	伊勢崎市堀下町女堀							○			(21)
48	酒盛遺跡	伊勢崎市三和町		△		△		△				(22)
49	書上浄水場遺跡	伊勢崎市三和町		△								
50	三和工業団地Ⅰ遺跡	伊勢崎市三和町	○		○	●	○	○	○			(23)(24)
51	三和工業団地Ⅱ遺跡	伊勢崎市三和町		○					○			(25)
52	三和工業団地Ⅲ遺跡	伊勢崎市三和町	○	○		○	●	○	○			(26)
53	舞台遺跡	伊勢崎市三和町	○	○		○	○	○			奈良平安集落・須恵窯	(27)～(30)
54	大井戸遺跡	伊勢崎市三和町			△			○		○		(30)
55	書上遺跡	伊勢崎市三和町	○	○			○		○		旧石器集中部十数ヶ所	(59)～(61)
56	天ヶ堤遺跡	伊勢崎市三和町	○	○		○	○	○	○		縄文中後期の集落	(31)(59)～(61)
57	大上遺跡	伊勢崎市	○	○	△				○		縄文前期大型住居2軒	(60)～(62)
58	前道下遺跡	伊勢崎市上田町	○	○		○	○	○	○		旧石器2面出土	(60)～(62)
59	塚下遺跡	伊勢崎市上田町	○	○		○	○	○	○		縄文中・奈良平安集落	(32)(60)(61)
60	上柳沢遺跡	伊勢崎市上田町							○	○		(62)
61	溜井上遺跡	伊勢崎市西小保方町		△								(4)
62	六道遺跡	伊勢崎市上田町		○				△				(4)
63	鯉沼東遺跡	伊勢崎市三和町	○		○		○	○	○		縄文・古墳～平安集落	(27)
64	高山遺跡	伊勢崎市三和町		△			●				後期古墳3基	(31)
65	書上古墳群	伊勢崎市三和町					●					(22)(33)
66	書上本山遺跡	伊勢崎市三和町	○				○	○			旧石器集中部2ヶ所	(34)
67	書上原之城遺跡	伊勢崎市三和町	○					○			奈良平安掘立多数	(33)
68	原之城遺跡	伊勢崎市三和町									古墳後期環濠居館跡	(35)(36)(37)
69	下吉祥寺遺跡 書上下吉祥寺遺跡	伊勢崎市三和町		○				○	○	○	縄文前中・古墳後期 ～平安集落	(33)(38)

第II章 遺跡を取りまく環境

番号	遺跡名	所在地	旧石器	集落・溝等○墳墓●遺物のみ△						備考	文献
				縄文	弥生	古墳前	古墳中後	奈良平安	中世		
70	県園芸試験場遺跡	伊勢崎市三和町		○							(39)
71	大道上遺跡 八寸大道上遺跡	伊勢崎市西小保方町		○			○	○		古墳後～平安集落 墳後期玉造工房跡	(40)
72	渡利遺跡	伊勢崎市豊城町				△		△			
73	中西原遺跡	伊勢崎市西小保方町		○			○	○	○		(3)(4)(11)(42)
74	上慶本遺跡	伊勢崎市西小保方町				○	○	○			(4)(43)
75	八幡付遺跡	伊勢崎市西小保方町		△			△	△			(4)
76	行者山遺跡	伊勢崎市三和町				△		△			
77	天野沼遺跡	伊勢崎市三和町				△		○			(31)
78	権現山北遺跡	伊勢崎市豊城町		△		△		△			
79	権現山古墳群 権現山遺跡	伊勢崎市豊城町	○				●				(22)
80	権現山南遺跡	伊勢崎市豊城町				△		△			
81	権現山南古墳群	伊勢崎市上諏訪町					●				(22)
82	上諏訪町遺跡	伊勢崎市上諏訪町				△		△			
83	大道下遺跡	伊勢崎市八寸町		△		△					(4)
84	西ノ畑遺跡	伊勢崎市八寸町				○		○			(4)(44)
85	御手下遺跡	伊勢崎市八寸町				○					(4)(45)
86	坊主林遺跡 三室坊主林遺跡	伊勢崎市三室町		△		○		△	○	縄文早期前半遺物多数 出土	(4)(46)
87	鬼ヶ島遺跡	伊勢崎市八寸町				○				古墳前期集落	(4)(45)
88	疇町田遺跡	伊勢崎市日乃出町				○	○	○	○	古墳～平安集落	(47)
89	伊勢崎・東流通団地遺跡 道上遺跡	伊勢崎市日乃出町 伊勢崎市三室町				○●	○	○	○	古墳前期～平安大集落 古墳時代周溝墓	(4)(22)(48)(49) (50)(51)
90	下諏訪町遺跡	伊勢崎市上諏訪町				△		△			
91	宿南遺跡	伊勢崎市日乃出町				△		△			
92	油免遺跡	伊勢崎市日乃出町				△		△			
93	横塚古墳群	伊勢崎市日乃出町				●					(22)
94	中島遺跡	伊勢崎市日乃出町				△		△			
95	鉄平塚遺跡	伊勢崎市日乃出町							○		
96	長溝遺跡 八寸長溝遺跡	伊勢崎市日乃出町	○			○	○	○	○	古墳～平安集落・区画 溝	(52)
97	下原遺跡	伊勢崎市三室町		△		△		△			
98	間ノ谷遺跡 三室間ノ谷遺跡	伊勢崎市三室町		△			○		○	古墳中後期集落	(54)
99	上刈名・裏神谷遺跡	伊勢崎市境上刈名町		△			○●	○	○	古墳後期初頭集落	(54)
100	上刈名・裏神谷2遺跡	伊勢崎市境上刈名町				△		△			
101	上刈名・神谷遺跡	伊勢崎市境上刈名町	○	△				△			
102	十三宝塚遺跡	伊勢崎市境伊与久町						○	○	8～9世紀寺院跡	(53)
103	伊与久・蒔初遺跡	伊勢崎市境伊与久町				△		△			
104	伊与久・矢中遺跡	伊勢崎市境伊与久町					●				
105	田島遺跡	伊勢崎市日乃出町				△		△			
106	上刈名・新町遺跡	伊勢崎市境上刈名町						△			
107	伊与久・雷電裡遺跡	伊勢崎市境伊与久町					○●				(55)
108	上刈名・三筆遺跡	伊勢崎市境上刈名町						△			
109	上刈名遺跡群	伊勢崎市境上刈名町	○				○	○	○		(56)
110	東村1号墳	伊勢崎市小泉町					●				(4)(57)
111	東村2号墳	伊勢崎市小泉町					●				(4)(57)
112	東村3号墳	伊勢崎市平井町					●				(4)(57)
113	東村4号墳	伊勢崎市平井町					●				(4)(57)
114	東村5号墳	伊勢崎市平井町					●				(4)(57)
115	東村6号墳	伊勢崎市平井町					●				(4)(57)
116	東村48号墳	伊勢崎市田部井町					●				(4)(57)
117	東村49号墳	伊勢崎市国定町					●				(4)(57)
118	東村50号墳	伊勢崎市国定町					●				(4)(57)
119	東村51号墳	伊勢崎市国定町					●				(4)(57)
120	東村52号墳	伊勢崎市国定町					●				(4)(57)
121	東村53号墳	伊勢崎市国定町					●				(4)(57)
122	東村54号墳	伊勢崎市国定町					●				(4)(57)
123	東村55号墳	伊勢崎市国定町					●				(4)(57)
124	東村56号墳	伊勢崎市田部井町					●				(4)(57)
125	東村記載漏れ1号墳	伊勢崎市平井町					●				(4)
126	東村記載漏れ2号墳	伊勢崎市平井町					●				(4)
127	東村記載漏れ3号墳	伊勢崎市国定町					●			金堀塚	(4)
128	遠北古墳	太田市新田権右衛門町					●				(57)
129	金助塚古墳	太田市新田権右衛門町					●				(57)
130	元祖塚古墳	太田市新田権右衛門町					●				(57)
131	新割遺跡	太田市新田上中町						●		火葬墓	
132	雙児山古墳	伊勢崎市境上刈名町					●			後期前方後円墳	(55)(50)
133	三筆1号古墳	伊勢崎市境上刈名町				●					(58)
134	三筆2号古墳	伊勢崎市境上刈名町				●					(58)
135	采女4号古墳	伊勢崎市境上刈名町				●					(56)
136	浅間山古墳	伊勢崎市境上刈名町				●					

## 参考文献

- (1) 東村遺跡調査会 2004 『南原間遺跡・下大久保遺跡』
- (2) 東村遺跡調査会 2004 『下大久保II遺跡』
- (3) 東村教育委員会 1977 『東村誌』
- (4) 東村教育委員会 1987 『佐波郡東村の遺跡』
- (5) (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 2005 『下元屋敷遺跡』
- (6) 東村教育委員会 1982 『根性坊・上中西遺跡』
- (7) 東村教育委員会 1999 『向原遺跡』
- (8) 東村遺跡調査会 2004 『田部井館跡遺跡』
- (9) 東村教育委員会 1989 『天神沼遺跡群』
- (10) 東村教育委員会 1994 『天神沼I・II遺跡発掘調査報告書』
- (11) 東村教育委員会 1994 『諏訪山遺跡発掘調査報告書』
- (12) 東村教育委員会 1999 『諏訪山遺跡』
- (13) 東村遺跡調査会 2002 『諏訪山遺跡III』
- (14) (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 2002 『田部井大根谷戸遺跡』
- (15) 東村教育委員会 1985 『寺東遺跡』
- (16) 東村遺跡調査会 2001 『新町遺跡』
- (17) 東村教育委員会 2004 『頼光塚遺跡』
- (18) 相川龍雄 1928 『佐波の古蹟』
- (19) 矢ノ原遺跡発掘調査事務所 1987 『矢ノ原遺跡の発掘調査の概要』
- (20) 境町教育委員会 1985 『笠遺跡・吉田遺跡』
- (21) (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 1985 『女堀』
- (22) 伊勢崎市 1984 『伊勢崎市史』通史編1
- (23) (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 1999 『三和工業団地I遺跡』(1)
- (24) (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 1999 『三和工業団地I遺跡』(2)
- (25) 伊勢崎市教育委員会 2004 『三和工業団地II遺跡』
- (26) 群馬県企業局、伊勢崎市教育委員会 2004 『三和工業団地III遺跡』
- (27) 伊勢崎市教育委員会 1977 『鯉沼東遺跡・舞台遺跡』
- (28) (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 2001 『舞台遺跡(1)』
- (29) (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 2004 『舞台遺跡(2)』
- (30) (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 2005 『舞台遺跡(3)・大井戸遺跡』
- (31) 伊勢崎市教育委員会 1978 『高山遺跡・天ヶ堤遺跡・天野沼遺跡・下書上遺跡』
- (32) 東村教育委員会 1980 『かき揚塚下遺跡』
- (33) (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 1988 『書上下吉祥寺遺跡・書上上原之城遺跡・上植木沓町田遺跡』
- (34) (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 1992 『書上本山遺跡・波志江六反田遺跡・波志江天神山遺跡』
- (35) 伊勢崎市教育委員会 1982 『原之城遺跡・下吉祥寺遺跡』
- (36) 伊勢崎市教育委員会 1986 『原之城遺跡』
- (37) 伊勢崎市教育委員会 1988 『原之城遺跡発掘調査報告書』
- (38) 伊勢崎市教育委員会 1980 『下吉祥寺遺跡』
- (39) 県教育委員会 1974 『県園芸試験場第二遺跡・下江田前遺跡』
- (40) (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 1989 『八寸大道上遺跡』
- (41) 東村教育委員会 1999 『中西原遺跡』
- (42) 東村教育委員会 1996 『中西原遺跡I(遺構編)』・『中西原遺跡II(遺物編)』
- (43) 東村教育委員会 1980 『佐波郡東村上慶本遺跡』
- (44) 東村教育委員会 1981 『西ノ畑遺跡』
- (45) 東村教育委員会 1980 『佐波郡東村鬼ヶ島遺跡』
- (46) (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 1989 『三室坊主林遺跡』
- (47) 伊勢崎市教育委員会 1980 『沓町田遺跡』
- (48) 群馬県企業局 1982 『伊勢崎・東流通団地遺跡』
- (49) 群馬県史編纂室 1986 『群馬県史』資料編2
- (50) 群馬県史編纂室 1981 『群馬県史』資料編3
- (51) (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 1999 『群馬県遺跡大辞典』
- (52) (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 2001 『八寸長溝遺跡』
- (53) (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 1992 『史跡十三宝塚遺跡』
- (54) (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 1991 『上淵名裏神谷遺跡・三室間ノ谷遺跡』
- (55) 境町企画財政課企画係 1978 『境町古代遺跡』
- (56) 境町教育委員会 1980～1983 『上淵名遺跡』第1次～第4次発掘調査概要
- (57) 群馬県 1938 『上毛古墳綜覧』
- (58) 境町教育委員会 1988 『三筆古墳群』
- (59) (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 2001 『年報』20
- (60) (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 2002 『年報』21
- (61) (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 2003 『年報』22
- (62) (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 2004 『年報』23

## 第Ⅲ章 検出された遺構と出土遺物

下大久保遺跡では、縄文時代から近現代にかけての遺構、遺物が検出されている。主要な遺構は、溝46条、土坑52基、ピット255基等であるが、ほとんどが近世以降のものである。遺物は、縄文時代（中期～後期）と近世のものが大半を占めている。よって本報告書では、時期を縄文時代～平安時代と中世以降の2時期に大別し、時期ごとに概要、遺構、遺構外遺物出土状況、遺物の順に掲載することにする（時期不明のものは中世以降に含めた）。遺物は時期ごとに器種・器形で分類し、通し番号を振った。遺構図、遺物図、写真図版等すべてこの番号を使用している。

### 第1節 中世以降・時期不明

#### (1) 概要

遺構としては、溝46条、土坑52基、ピット255基、落ち込み2基等が検出されている。遺構の分布を見ると、溝は調査区全面から検出されているが、土坑・ピットは2区南部、3区東部、6区西部に比較的集中して検出されている。遺構の時期は、溝は出土遺物から近世から近現代にわたっているが、土坑・ピットは出土遺物がほとんどなく時期が不明のものが多い。

遺物は、土器・陶磁器類、土製品、鉄製品・銅製品、銅銭等が出土している。

#### (2) 遺構

溝

溝は46条検出されている。

- ① 分布 調査区全面から検出されている。
- ② 規模 最大幅2.8～0.2m平均1.1m、最小幅1.7～0.1m平均0.5m、深さ80.0～0.8cm平均24.3cmであり、1～6・44～47号溝、20・21号溝、27・28・39号溝等の比較的規模の大きい溝もあるが、他は小規模なものが多い。
- ③ 機能 1～6・44～47号溝は、ほぼ同位置で同方向に走る溝で、調査時は同じ溝として掘削したが、調査前用水路のあった位置にあり、現岡登用水とも並行しており、近世から継続してあるいは断続的に造り替えながら水路として使われていたと考えられる。他にも、9～11・20・21・24～28・32・33・39・41号溝は規模、形状から水路あるいは区画用の溝であった可能性が高い。他の小規模な溝は性格不明である。
- ④ 時期 1～6・44～47号溝の出土遺物は比較的多く、17世紀代から昭和までのものが出土しており、近世から現代まで使われていたと考えられる。他の溝からは出土遺物がほとんどなく、時期は不明である。

中世以降・時期不明溝一覧表

No	位置 Gr	重複	長さ m	最大幅 m	最小幅 m	深さ cm	走 向	特 徴	時 期
1	940～996-062～087	2・3・6溝より新	61.0	2.0	0.8	30	N-25°-E	1～6・44～47溝は、ほぼ同位置で同方向に走る溝で近世から現代まで水路として使われていたものか	近現代
2	940～996-062～087	1溝より古,3・6溝より新	61.5	0.7	0.23	72	N-25°-E		近世～現代
3	961～996-062～077	1・2溝より古,6溝より新	38.0	0.18	0.1	52	N-22°-E		近世～現代
4	962～997-059～075	5・6溝より新,52・53土坑	40.3	1.0	0.45	65	N-22°-E N-71°-W		近世～現代
5	961～996-061～076	4・6溝より古	39.0	0.9	0.4	32	N-23°-E		近世～現代
6	940～997-061～086	1・2・3・4より古,5溝より新	62.5	1.5	1.0	46	N-23°-E		近世～現代
7	960～993-049～063	4溝・51ピット	37.5	1.3	0.5	12	N-27°-W		不明
8	984～993-072～081		42.0	1.0	0.6	18	N-30°-E		不明
9	978～986-112～123	11土坑より新	14.7	1.1	0.6	23	N-31°-E N-67°-W	用水路あるいは区画溝か	近世～現代
10	961～975-124～138		22.5	1.6	0.9	42	N-35°-E	用水路あるいは区画溝か	不明
11	967～981-135～040		16.5	1.2	0.5	30	N-32°-E	用水路あるいは区画溝か	不明
12	958～011-984～021	13溝より新?	65.0	1.3	0.25	10	N-35°-E		不明
13	982～984-000～005	12溝より古?	5.3	0.3	0.2	4	N-62°-E		不明
14	965～972-002～006		7.7	0.6	0.3	10	N-28°-E		不明
15	001～023-969～981	16溝	24.3	2.0	0.5	20	N-27°-E	同一溝の可能性あり	不明
16	013～023-969～973	15溝	10.3	0.7	0.4	8	N-26°-E		不明
17	007～022-968～974		16.6	0.5	0.2	6	N-24°-E		不明
18	010～022-966～971	19・20溝	12.0	1.6	0.9	14	N-19°-E	同一溝の可能性あり	不明
19	012～022-966～969	18・20溝	8.5	0.9	0.5	9	N-19°-E		不明
20	959～020-963～008	21溝より古	76.0	2.25	1.0	34	N-36°-E	用水路あるいは区画溝か	不明
21	959～020-961～006	20溝より新	75.0	2.1	0.9	80	N-36°-E	用水路あるいは区画溝か	不明
22	006～016-971～977		12.7	1.1	0.4	5	N-30°-E		不明
23	021～029-951～955		8.5	0.55	0.4	18	N-22°-E		不明
24	012～034-933～940	26・27・210ピットより古25・28溝	24.5	1.1	0.4	30	N-25°-W N-25°-E	用水路あるいは区画溝か	不明
25	012～019-936～940	26溝より古,24溝	7.8	0.4	0.25	22	N-23°-E	用水路あるいは区画溝か	不明
26	017～026-933～938	24溝より新	10.3	0.6		15	N-24°-E	用水路あるいは区画溝か	不明
27	011～025-921～933	24・28溝より新	18.2	1.0	0.6	24	N-35°-W		不明
28	011～034-921～936	27溝より古,24溝	26.5	1.0	0.3	12	N-35°-W	用水路あるいは区画溝か	不明
29	欠番								
30	023～032-905～910	32溝より新,31溝	10.4	0.6	0.3	8	N-28°-W		近世～現代
31	029～040-910～915	30溝	13.2	0.6	0.4	44	N-33°-W N-42°-E		不明
32	020～042-897～907	30より古・33溝より新	30.0	2.8	1.7	30	N-32°-W N-55°-E	用水路あるいは区画溝か	不明
33	018～042-896～909	32溝より古	33.5	1.7	0.4	50	N-32°-W N-54°-E	用水路あるいは区画溝か	近世～現代
34	010～014-924～933		8.7	0.6	0.4	12	N-70°-W		不明
35	010～013-937～938	32土坑	2.7	0.75	0.6	8	N-25°-E		不明
36	981～983-929～931		2.3	0.4	0.25	10	N-60°-W	用水路あるいは区画溝か	不明
37	985～986-930～933		3.5	0.4	0.2	8	N-80°-W		不明
38	988～989-930～931		1.5	0.3	0.25	5	N-30°-E	用水路あるいは区画溝か	不明
39	986～007-899～919		28.4	2.5	1.5	28	N-42°-W		不明
40	999～012-908～913		12.8	1.2	0.8	22	N-3°-W N-26°-E		不明
41	992～018-880～901		32.7	1.8	0.3	10	N-40°-W		不明
42	944～958-043～057		17.9	1.8	0.75	16	N-40°-E		不明
43	942～959-071～079		18.5	0.3	0.1	0.8	N-26°-E		不明
44	941～961-073～083	47溝より古	23.0	1.1	0.75	52	N-24°-E	1～6溝と同様で、近世から現代まで水路として使われていたものか	近世～現代
45	940～955-078～085	47溝より古	16.3	0.85	0.4	28	N-25°-E		近世～現代
46	952～967-077～083		16.3	1.1	0.6	15	N-20°-E		近世～現代
47	940～966-073～085	44・45溝より新,4溝	28.0	1.5	0.9	30	N-24°-E		近世～現代

第Ⅲ章 検出された遺構と出土遺物

中世以降・時期不明溝出土遺物数量表

種別	中世以降																				他計													
	I碗		II皿				III香炉		IV甕				V壺・徳利			VI鉢			VII播り鉢															
	b計		b計			d計	b計		a	b計			d計		d計	b計			b計															
分類2	1	2	計	1	2	3	計	1	計	計	1	3	計	1	2	計	d計	1	2	計	1	2	3	計	計									
1~7	溝	23	8	31	31	4	1	1	6	1	7	1	1	1	2	7	1	8	10	2	2	6	8	2	2	2	1	1	1	3	3	6	68	
2	溝	1	1	1				0	0	0	0	0	0				0	0			0	0			0	0	0	0	0	0	2	3		
3	溝	4	2	6	6				0	0	0	0	0				0	0			0	0			0	0	1		1	1	1	8		
2・3	溝	4	4	4				0	0	0	0						0	0			0	0			1	1	1			0	0	1	6	
6	溝	1		1	1	2	1		3	3	1	1	1				0	0	1	1	1	1	1	1	2	2				0	0	3	11	
9	溝	1		1	1				0	0	0	0					0	0			0	0			0	0				0	0	1	2	
30	溝			0	0			1	1	1	0	0					0	0			0	0			0	0				0	0		1	
31	溝			0	0				0	0	0	0					0	0			0	0			0	0				0	0		0	
33	溝	1		1	1				0	0	0	0		1	1	1					0	0			0	0	1	1	1	1	1		3	
44	溝	2		2	2				0	0	1	1	1				0	0			0	0			0	0				0	0	1	4	
45・47	溝	2	1	3	3	1			1	1	0	0					0	0	1	1	1	1			0	0				0	0		5	
47	溝	2	1	3	3	2			2	2	0	0	1				0	1	3	3	3			0	0	1	1	2	2	3		14		
計		36	17	53	53	9	2	2	13	1	14	3	3	3	3	8	1	9	12	7	0	7	6	13	3	2	5	5	3	3	1	7	18	125

種別	磁器												土師質土器				軟質陶器			瓦製品	石製品		鉄製品		銅製品		銅	総計						
	I碗			II皿			III杯・小杯	IV壺・甕類	他計	皿	他計	鍋・鉢・焙烙類	鉢	他計	I	II	I	II	I															
	a	b	c	b	b	b	a	b											a		b													
分類2	1	2	計	1	2	計	2	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	
1~7	溝	2	35	35	9	46	1	6	7	0	3	3	16	72	20	1	21	82	1	7	90	4		3		1	3							262
2	溝		1	1	1			0	0	0	2	3					0	2		2													8	
3	溝		1	1	3	4			0	0	0	4					0	11		1	12								1	1			26	
2・3	溝		5	5	1	6			0	2	2	1	1	10	1		1	10			10				1								28	
6	溝		2	2	2			0	0	0	2	2		2	14						14			1									30	
9	溝			0	0			0	0	0	0						0				0												2	
30	溝			0	0			0	0	0	1	1	1				1				0												3	
31	溝			0	0			0	0	0	0						0				0								1				1	
33	溝			0	1	1			0	0	0			1	1		1				0												5	
44	溝			0	0			0	0	0	5	5	3		3	5					5												17	
45・47	溝			0	0			0	0	0	0	1		1	1						1												7	
47	溝	2	2	4	4			0	0	0	4	1		1	5			3	8		6						1						34	
計		2	2	46	48	14	64	1	6	7	2	2	4	4	25	102	30	1	31	130	1	11	142	4	6	4	1	1	4	1	1	1	423	



## 土 坑

土坑は52基検出されている。

- ① 分布 2区南西部と4区東部から6区西部の2ヶ所に集中している。
- ② 形態 平面形態はA～Dの5形態、断面形態はa～cの3形態に分類できる。

- 平面形態
- A 円形のもの（短軸：長軸が1：1.2未満のもの）
  - B 楕円形のもの（短軸：長軸が1：1.2以上のもの）
  - C 長方形・隅丸長方形のもの（短軸：長軸が1：1.2以上のもの）
  - D 不正形のもの

- 断面形態
- a 底部が平らなもの
  - b 底部が丸みを帯びるもの
  - c 不正形のもの

平面形態は楕円形が76%で圧倒的に多く、円形が14%、不正形が6%、隅丸長方形が4%となっている。方形・隅丸方形のものはなく、長方形・隅丸長方形のものも2基と少なく、土坑墓等の可能性のあるものは少ない。長径と短径の比は平均で1.63と大きく、細長い土坑が多く、円形に近いものが少ない傾向にある。断面形態は底部が平らなものが37%、底部が丸みを帯びるものが20%、不正形のもものが43%となっている。不正形のもものが多いため、土坑中にさらにピット状の掘り込みなどがあるものが多いためである。

- ③ 規模 長径2.36～0.80m平均1.28m、短径1.78～0.42m平均0.83m、深さ71～10cm平均30cmである。
- ④ 主軸方位 長軸の方向で、北に近いほうを主軸とするが、主軸が南北に近いものが29基、東西に近いものが22基で、南北に近いものの方が多いが差は少なく、一方向に偏るということはない。
- ⑤ 時期・機能 遺物が出土している土坑はなく、時期、性格等は不明であるが、土坑墓・貯蔵穴等の可能性のあるしっかりした掘り方のもものは少ない。

第Ⅲ章 検出された遺構と出土遺物

中世以降・時期不明土坑一覧表

No.	位置 Gr	重複	平面 形態	断面 形態	長径 m	短径 m	長径/ 短径	深さ cm	主軸方位	備考
1	996-039・996-038		B	a	1.14	0.90	1.27	19	N-43°-W	
2	945-106・945-108		A	a	1.04	1.02	1.02	23	N-50°-W	
3	940-108・942-109		A	a	1.02	1.02	1.00	27	N-49°-W	
4	944-112・944-114		B	a	1.24	0.94	1.32	48	N-46°-W	
5	945-116・946-114	99ピットより新	D	c	(1.45)	0.78	1.86	71	N-45°-E	
6	957-117・958-117		A	a	0.96	0.80	1.20	16	N-82°-W	
7	949-109・950-107		B	a	[1.08]	0.72	1.50	14	N-10°-E	
8	964-092・965-094		B	c	1.50	0.78	1.92	22	N-50°-W	
9	989-087・989-088		A	a	1.18	1.08	1.09	17	N-85°-E	
10	986-109・986-110		B	c	1.38	0.78	1.77	69	N-10°-E	
11	986-115・987-113	9号溝より古			[1.18]	[0.87]	[1.36]	21	不明	
12	975-122・976-121		B	c	1.39	0.78	1.78	36	N-66°-W	
13	972-135・974-136		A	a	0.80	0.72	1.11	36	N-1°-E	
14	971-979・972-979		A	a	1.42	1.20	1.18	27	N-4°-E	
15	981-976・982-977		B	b	1.28	0.82	1.56	13	N-34°-E	
16	985-973.985-976		D	c	1.98	1.54	1.29	46	N-12°-E	
17	986-974・987-975		B	b	1.16	0.64	1.81	34	N-22°-W	
18	991-974・992-973		B	b	0.92	0.65	1.42	36	N-84°-W	
19	988-971.972・990-972		B	c	1.66	0.98	1.69	33	N-16°-E	
20	989-970・990-969		B	b	2.36	0.75	3.15	15	N-18°-W	
21	987.985-964・986-965		B	c	1.41	0.64	2.20	48	N-37°-W	
22	986-956・986-957		B	a	1.18	0.54	2.19	18	N-69°-E	
23	987-955・987-956		B	b	1.12	0.65	1.72	19	N-70°-E	
24	006-963・007-962		B	b	1.03	0.71	1.45	18	N-29°-E	
25	998-963・999-963		B	c	0.98	0.52	1.88	28	N-72°-E	
26	003-952・004-953		B	c	1.57	0.61	2.57	36	N-26°-W	
27	004-953・005-954		B	c	0.93	0.51	1.82	25	N-1°-W	
28	004-957・005-958		B	b	1.85	0.95	1.95	53	N-40°-E	
29	998-962・999-963		B	c	0.85	0.63	1.35	27	N-47°-E	
30	欠番									
31	009-952・009-955		B	a	2.18	1.78	1.22	39	N-39°-W	
32	012-937・014-937	35号溝	B	a	1.58	1.11	1.42	14	N-19°-W	
33	031-942・031-944		D	c	1.37	0.76	1.80	31	N-13°-W	
34	037-908・038-909		B	c	1.63	1.10	1.48	27	N-75°-E	
35	044-894・045-895		B	c	0.88	0.65	1.35	43	N-21°-W	
36	973-954・974-955		B	b	0.91	0.70	1.30	28	N-80°-W	
37	974-954・976-953		B	c	1.11	0.48	2.31	37	N-2°-E	
38	972-948・973-947		B	c	1.12	0.51	2.20	23	N-14°-E	
39	981-950・982-949		B	b	1.19	0.94	1.27	21	N-49°-W	
40	982-948・983-947		B	c	1.12	0.90	1.24	24	N-86°-E	
41	983-945・984-947		B	c	1.53	1.13	1.35	28	N-63°-W	
42	984-947・985-948		B	b	1.12	0.71	1.58	22	N-1°-W	
43	980-939・980-941		B	c	1.47	0.62	2.37	28	N-46°-W	
44	976-937・977-938		B	c	1.11	0.86	1.29	30	N-25°-W	
45	979-929・980-929		B	c	1.32	0.63	2.10	34	N-14°-E	
46	992-929・993-925		B	a	1.81	1.47	1.23	29	N-3°-E	
47	002-919・003-920		B	a	1.25	0.42	2.98	10	N-74°-E	
48	016-893・017-892		B	a	1.02	0.65	1.57	13	N-36°-W	
49	010-902・011-903		B	a	0.97	0.69	1.41	16	N-30°-W	
50	994-972・995-972		A	a	1.08	1.01	1.07	13	N-0°	
51	993-969・995-969		B	c	1.35	0.85	1.59	45	N-66°-E	
52	961-072・962-070		C	a	1.47	0.88	1.67	68	N-61°-W	
53	961-072・962-070		C	a	1.00	0.82	1.22	30	N-55°-E	

## ピット

ピットは255基検出されている。

- ① 分布 2区南部、3区東部、4区東部、6区西部に集中する箇所があるが、他はまばらな分布である。
- ② 規模 長径160～20cm平均58cm短径98～2cm平均44cm深さ83～4cm平均22cmである。
- ③ 特徴 出土遺物もなく、時期・性格は不明のものがほとんどである。

中世以降・時期不明ピット一覧表

No	位置 Gr	重複	長径 cm	短径 cm	深さ cm	No	位置 Gr	重複	長径 cm	短径 cm	深さ cm
1	001-031・032		74	62	12	51	970・971-056・057		77	62	10
2	000-033		45	43	10	52	978・979-054・055		94	90	18
3	999-032・033		64	36	11	53	981-051		68	63	13
4	998・999-032		63	31	13	54	992・993-055		87	40	51
5	998-032・033		46	30	16	55	978-063		46	28	13
6	999-034		58	40	19	56	970-059		65	46	34
7	998-034		31	31	11	57	968-062・063		32	26	6
8	996・997-033		120	42	14	58	969・971-070		44	38	15
9	997-032・033		63	47	18	59	969-063・064		32	18	16
10	995-033・034	11ピットより新	[70]	38	13	60	970・971-070		66	46	7
11	994・995-034	10ピットより古	[75]	58	11	61	949-094		42	40	21
12	993・994-034・033		78	76	15	62	947-094		38	18	15
13	993-035・036		68	48	19	63	945・946-094		30	18	20
14	991-035		60	40	15	64	944-093		50	43	30
15	991-036		47	44	24	65	945-095・096		50	50	20
16	989・990-036		40	34	24	66	943・944-097		53	40	18
17	988・989-038		40	30	19	67	948-098・099	68ピットより新	[75]	54	22
18	988-036・037		95	52	31	68	947-098・099	67ピットより古	[58]	42	20
19	987-039		60	37	18	69	946・947-098・099		42	30	18
20	986-035・036		35	34	19	70	946-099		42	34	10
21	985・986-035・036		29	25	13	71	945-099		30	30	20
22	985-035		35	[20]	11	72	944-098・099		43	40	16
23	985-036		[32]	31	17	73	944・945-100		60	32	29
24	985-037		35	27	8	74	945・946-100		50	26	11
25	985-037		37	24	16	75	948-100		46	35	20
26	985・986-038		63	36	10	76	947・948-101		38	34	24
27	982・983-040		40	33	17	77	944・945-102		67	54	11
28	980・981-039・040		90	55	21	78	947-101		76	41	39
29	981-041		65	60	18	79	945・946-101		78	76	37
30	981-040		57	56	17	80	946・947-101・103		94	82	24
31	978-039		82	60	16	81	946-103		61	50	20
32	978-038		48	45	21	82	944-102		60	40	20
33	976・977-039・040		50	40	26	83	944・945-103		50	39	16
34	976-041		60	51	25	84	欠番				
35	978-042	36ピットより古	[40]	46	21	85	943-104・105		68	48	14
36	977・978-042	35ピットより新	60	56	25	86	939・940-101		68	44	18
37	971-044・045		64	34	6	87	938・939-102・103		40	[32]	20
38	972-048		42	40	8	88	941・942-105		67	52	32
39	972-049・050		50	47	14	89	945・946-105・106		112	96	15
40	963・964-047		70	47	19	90	945-108・109	91ピットより新	52	42	39
41	963-046		45	22	17	91	944・945-108・109	90ピットより古	[36]	35	18
42	962・963-043・044		45	38	20	92	948・949-103		29	27	17
43	961-044		39	38	24	93	952-099		47	44	22
44	960-043・044		76	35	20	94	953・954-096・097		68	61	38
45	959-045・046		60	40	10	95	938・939-104		67	48	14
46	962・963-047	47ピット	70	60	26	96	940・941-110・111		50	50	32
47	962-046・047	46ピット	[43]	30	15	97	943-110・111		68	45	18
48	962・963-053		60	32	14	98	944・945-113		80	50	40
49	963・964-058		51	27	12	99	945-114	5土坑より古	92	52	37
50	966・967-057		42	30	6	100	950・951-105・106		58	62	32

第Ⅲ章 検出された遺構と出土遺物

No	位置 Gr	重複	長径 cm	短径 cm	深さ cm	No	位置 Gr	重複	長径 cm	短径 cm	深さ cm
101	951・952-104・105		64	40	20	161	968-007		41	36	11
102	949-103・104		70	55	31	162	969-005		46	36	17
103	948・949-104		73	58	40	163	973-004・005		43	28	7
104	952-119		54	40	27	164	972-973-994		50	48	43
105	954・955-121・122		66	52	45	165	973-974-982・983		58	48	30
106	956-121		36	34	29	166	967-968-979・980		77	48	25
107	962-963-134		55	(46)	83	167	968-979-980		86	48	33
108	962-134		58	(52)	32	168	973-974-974・975		78	49	30
109	964-130		36	30	26	169	972-973-975		90	56	35
110	974-115		32	29	17	170	974-975-976		85	62	35
111	975-116		46	31	10	171	018-989		48	40	37
112	976-115-116		77	50	20	172	987-988-972		42	37	15
113	979-112-113		[40]	34	28	173	985-955-956		50	46	22
114	978-116		35	32	38	174	985-986-955・956		77	52	27
115	974-975-118		63	55	60	175	988-989-955		63	33	12
116	944-945-116		[75]	66	25	176	988-955-956		160	44	16
117	992-070		47	28	22	177	989-956		32	29	16
118	989-071-072		34	27	15	178	998-961		56	32	22
119	987-073-074		36	26	10	179	999-959		56	46	30
120	987-076		40	32	8	180	002-958		43	32	15
121	986-987-077		48	40	32	181	000-964-965		42	37	14
122	985-986-078・079		74	52	11	182	006-966		67	58	30
123	985-079		27	18	14	183	007-008-963-964		54	38	13
124	982-078-079		44	30	27	184	005-964-965		58	42	30
125	986-083		57	32	23	185	003-004-963-964		61	57	32
126	986-987-085		41	23	8	186	003-004-957-958		77	54	32
127	990-991-084-085		[82]	58	33	187	001-957-958		33	31	22
128	986-987-106・107		66	63	33	188	002-957		53	44	17
129	985-108		50	47	35	189	003-956-957		72	50	20
130	984-111-112		53	37	54	190	004-005-957-958		53	32	8
131	983-115		46	33	40	191	006-953-954		48	44	17
132	983-984-116・117		86	55	45	192	006-007-961		54	45	23
133	981-982-118		44	40	40	193	001-002-965-966		70	36	16
134	971-124		46	43	40	194	999-953		40	40	14
135	970-971-126・127		95	94	45	195	971-005		40	40	11
136	969-129		60	38	35	196	992-950		80	66	17
137	966-967-130		33	27	23	197	993-994-949-950		75	61	21
138	966-967-130・131		98	56	31	198	015-016-942		71	46	26
139	966-132		35	25	40	199	014-015-941-942		77	68	20
140	965-131		28	28	41	200	023-024-952-953		60	50	23
141	964-131-132		46	28	27	201	027-028-952-953		48	44	15
142	963-964-131・132		87	49	47	202	029-942		49	47	36
143	977-978-132		90	60	16	203	025-935-936		50	46	30
144	980-138-139		72	53	20	204	022-023-936		68	46	25
145	978-979-137・138		98	60	17	205	023-024-912-913		60	56	10
146	961-051-052		91	36	19	206	欠番				
147	990-020-021		22	22	12	207	039-913-914		53	45	22
148	990-020		20	20	7	208	039-912		61	50	8
149	996-997-007		69	58	14	209	041-899		57	40	13
150	997-018		57	46	15	210	021-022-934-935		140	98	14
151	996-014-015		70	67	18	211	013-941		62	50	40
152	989-013		43	23	20	212	970-971-955		72	58	19
153	989-013		24	20	17	213	971-972-952-953		48	36	23
154	998-999-000-001		68	59	11	214	974-952		75	58	31
155	997-998-005-006		28	26	15	215	973-947		50	40	11
156	961-962-010		57	35	13	216	973-945		40	35	21
157	962-963-010		62	40	14	217	975-946		44	42	21
158	963-009-010		44	36	23	218	977-947-948		60	58	42
159	964-965-008-009		51	50	14	219	977-978-947		108	86	22
160	966-008		48	38	6	220	978-979-946-947		38	37	25

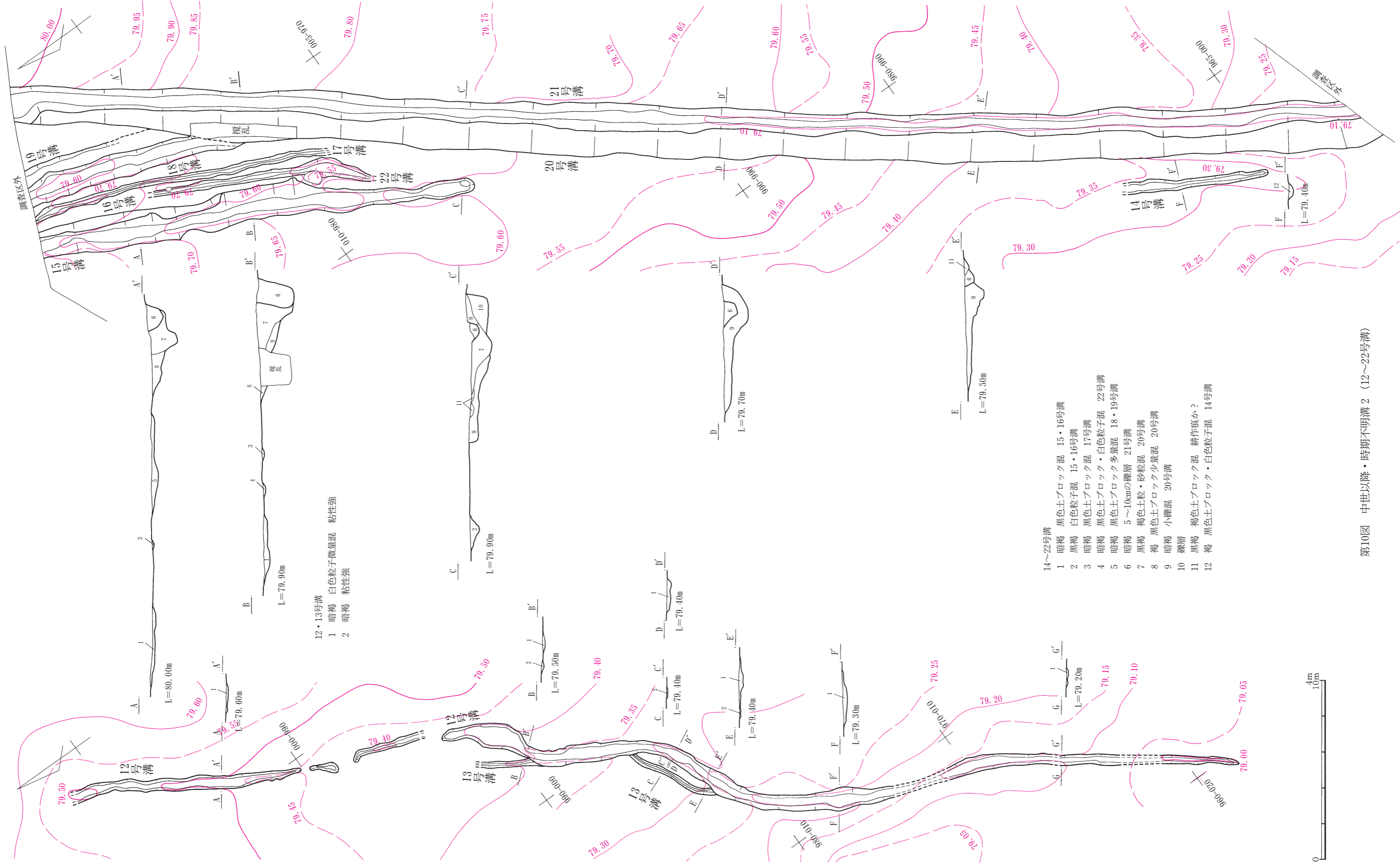




第8図 中世以降・時期不明遺構位置図



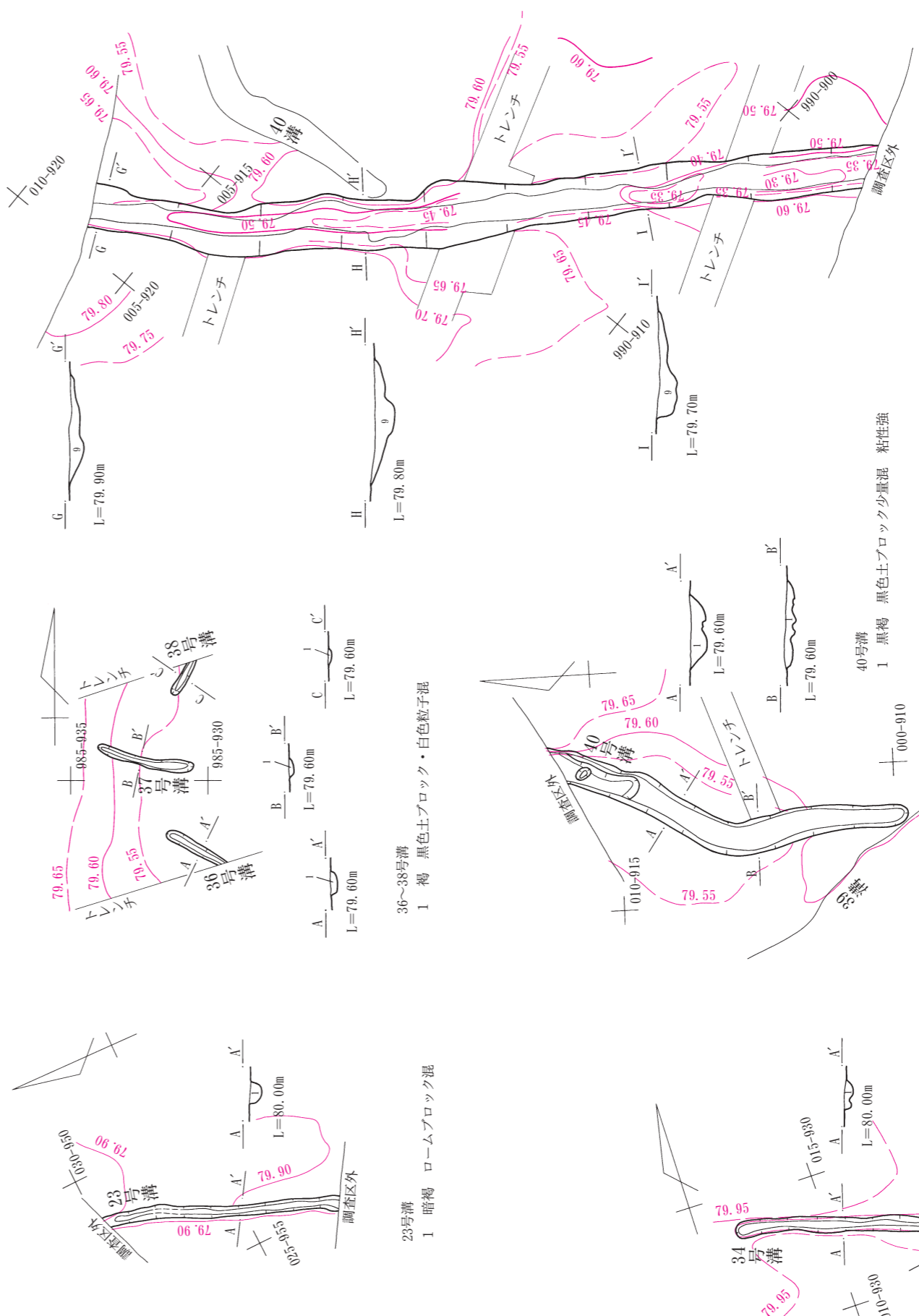
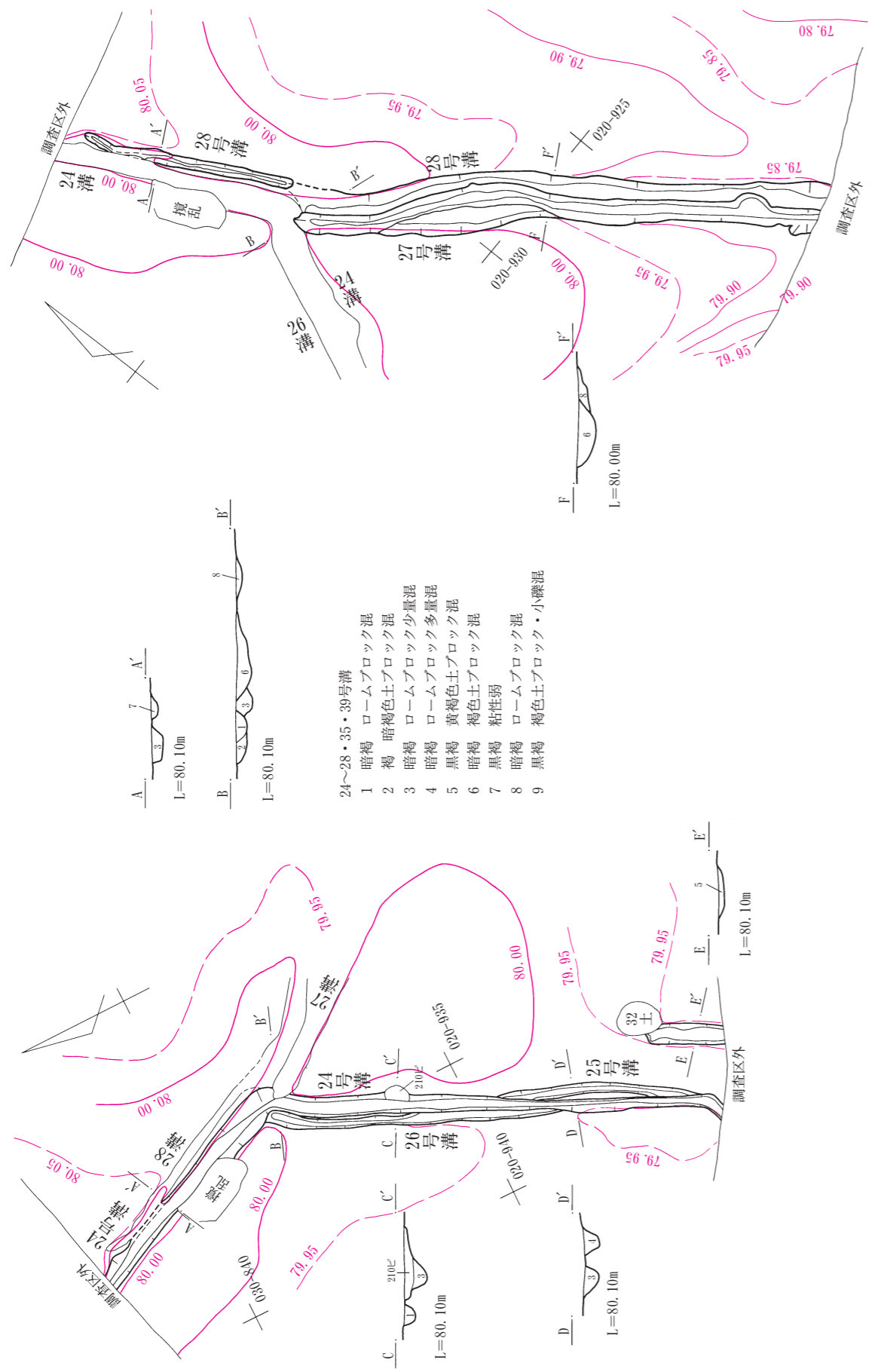




12・13号溝  
 1 暗褐 白色粒子微量混 粘性強  
 2 暗褐 粘性強

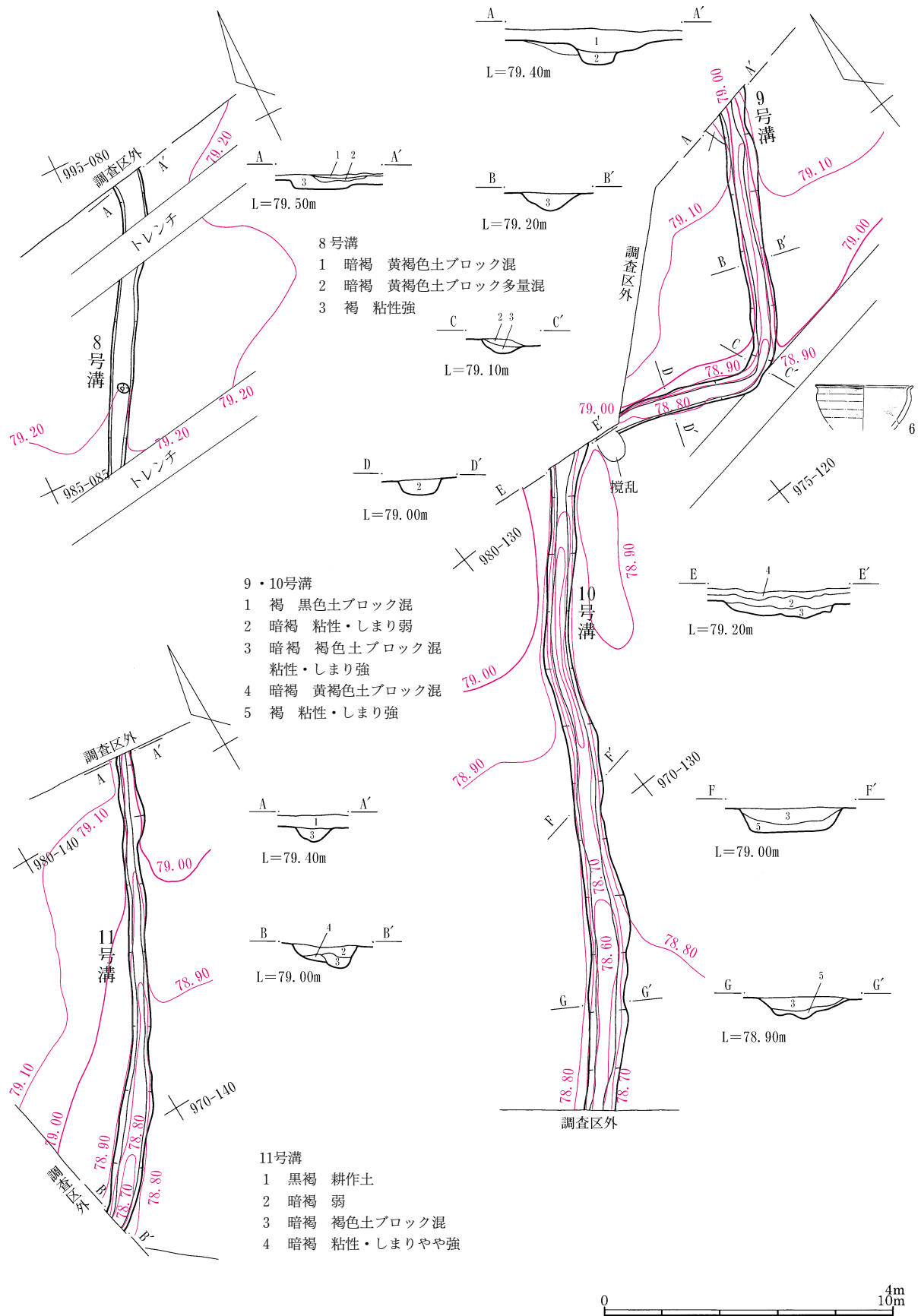
- 14～22号溝
- 1 暗褐 黒色土ブロック混 15・16号溝
  - 2 黒褐 白色粒子混 15・16号溝
  - 3 暗褐 黒色土ブロック混 17号溝
  - 4 暗褐 黒色土ブロック・白色粒子混 22号溝
  - 5 暗褐 黒色土ブロック多量混 18・19号溝
  - 6 暗褐 5～10cmの礫層 21号溝
  - 7 黒褐 褐色土粒・砂粒混 20号溝
  - 8 褐 黒色土ブロック少量混 20号溝
  - 9 暗褐 小礫混 20号溝
  - 10 礫層
  - 11 黒褐 褐色土ブロック混 耕作痕か?
  - 12 褐 黒色土ブロック・白色粒子混 14号溝

第10図 中世以降・時期不明溝2 (12～22号溝)



第11図 中世以降・時期不明溝3 (23~28・34~40号溝)



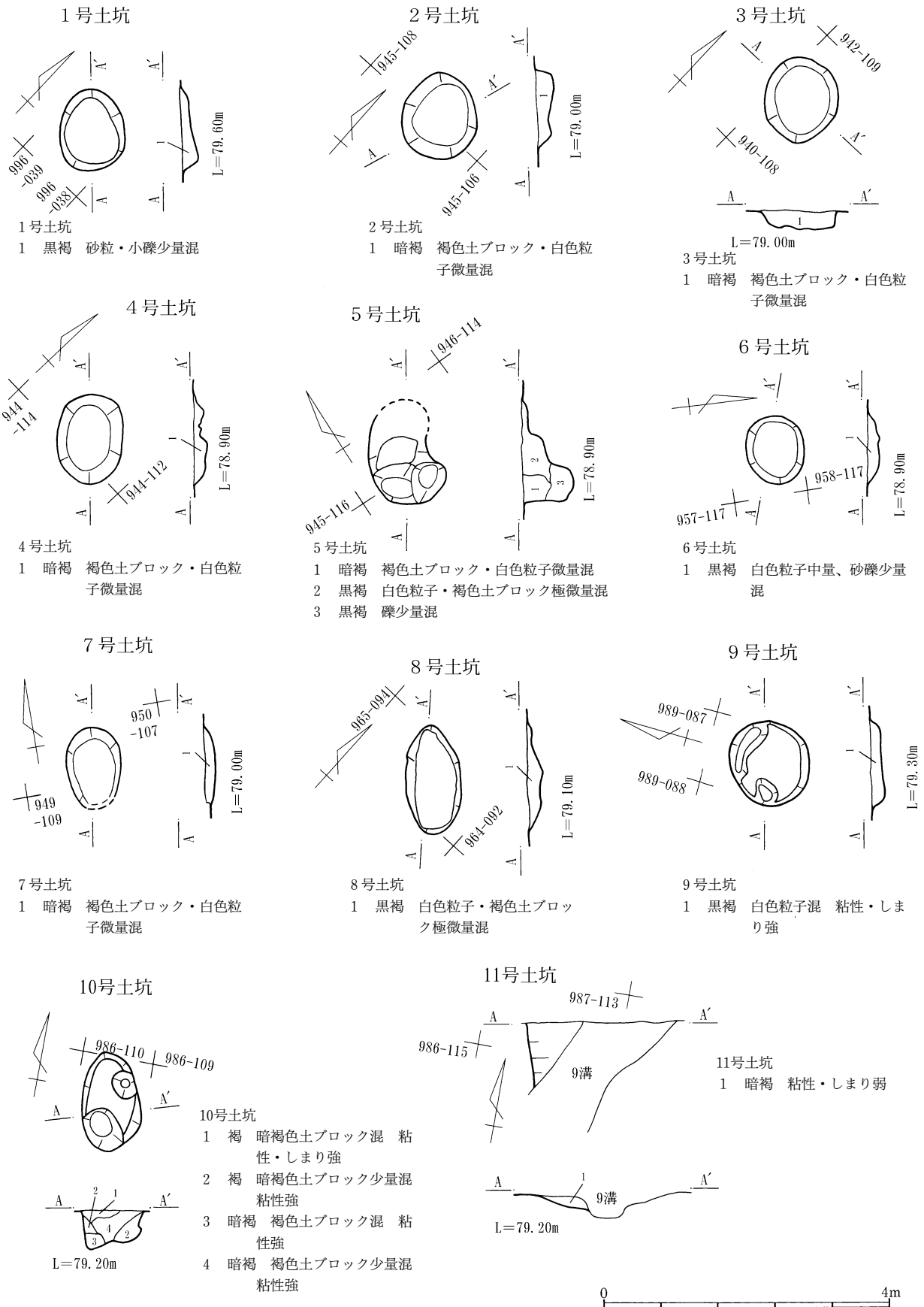


第12図 中世以降・時期不明溝4 (8~11号溝)





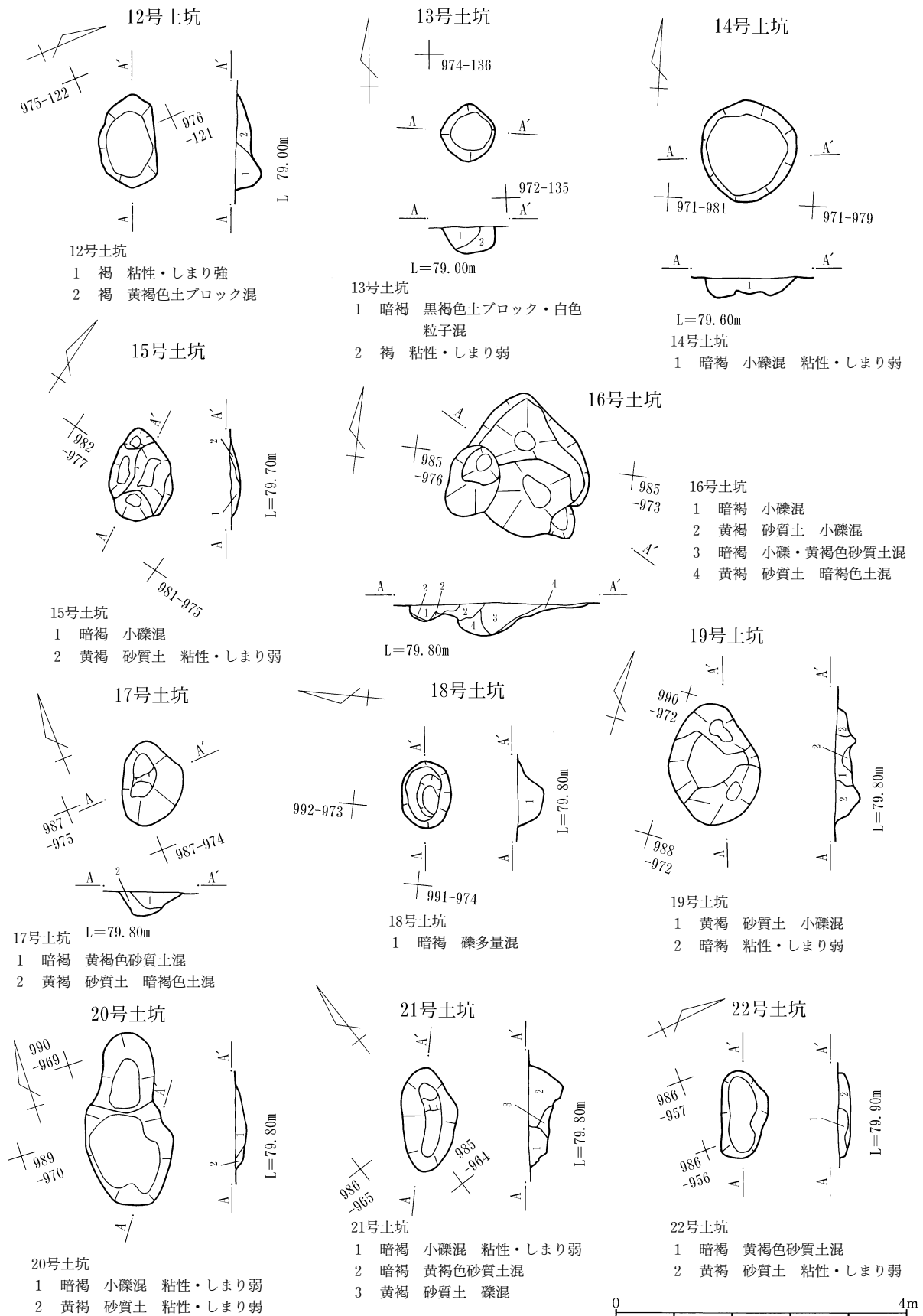
第1節 中世以降・時期不明



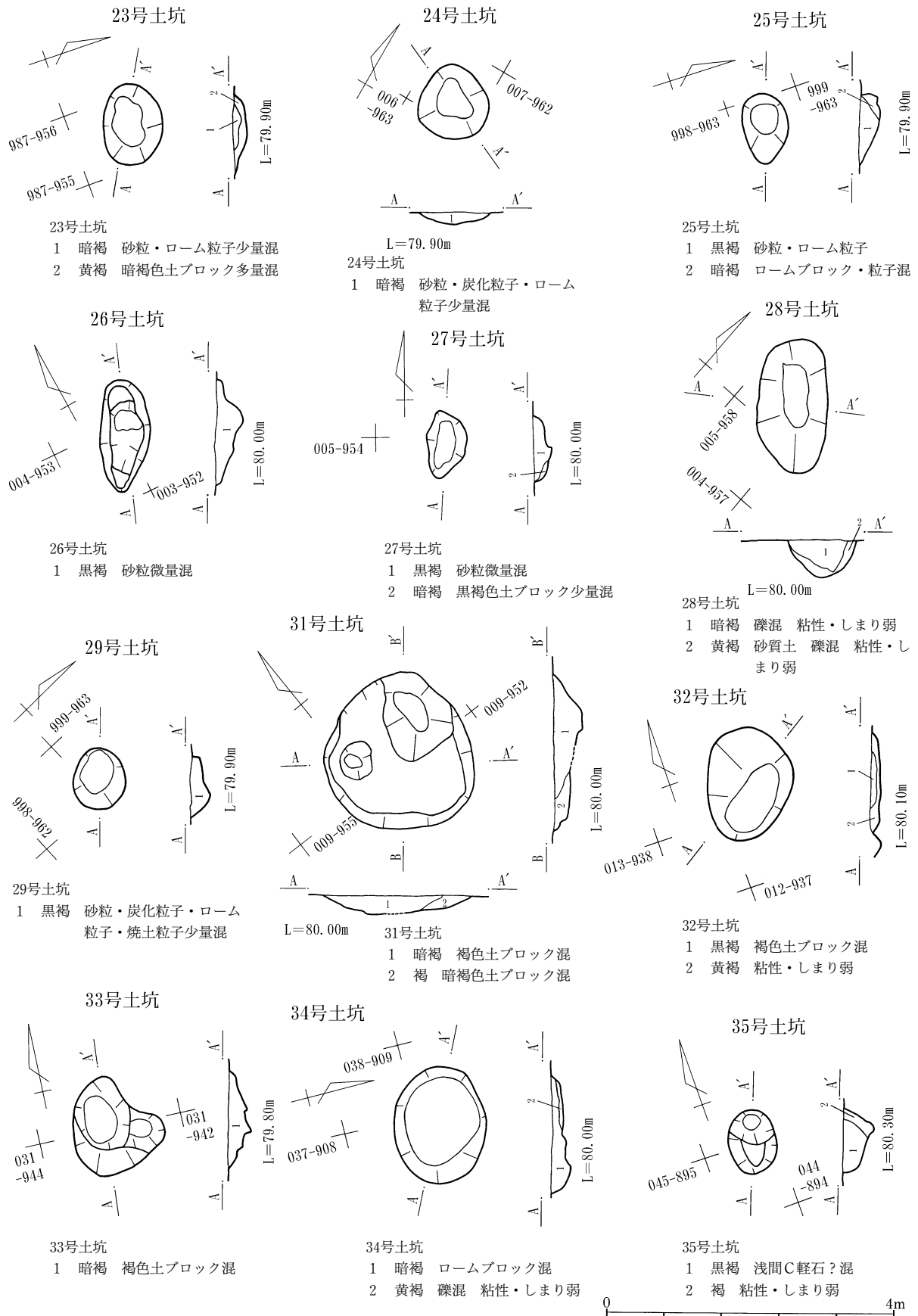
第14図 中世以降・時期不明土坑 1 (1~11号土坑)



第III章 検出された遺構と出土遺物

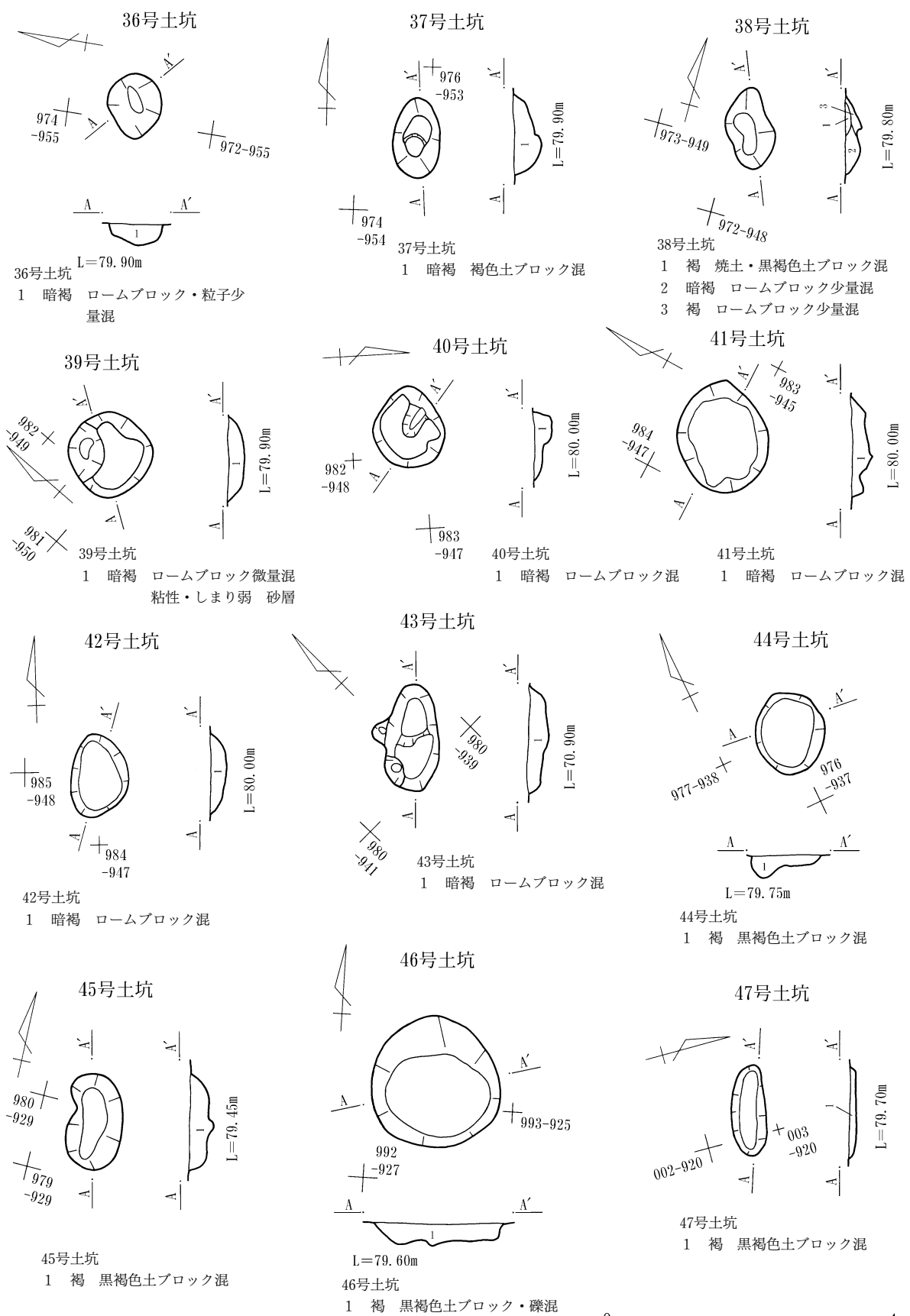


第15図 中世以降・時期不明土坑 2 (12~22号土坑)



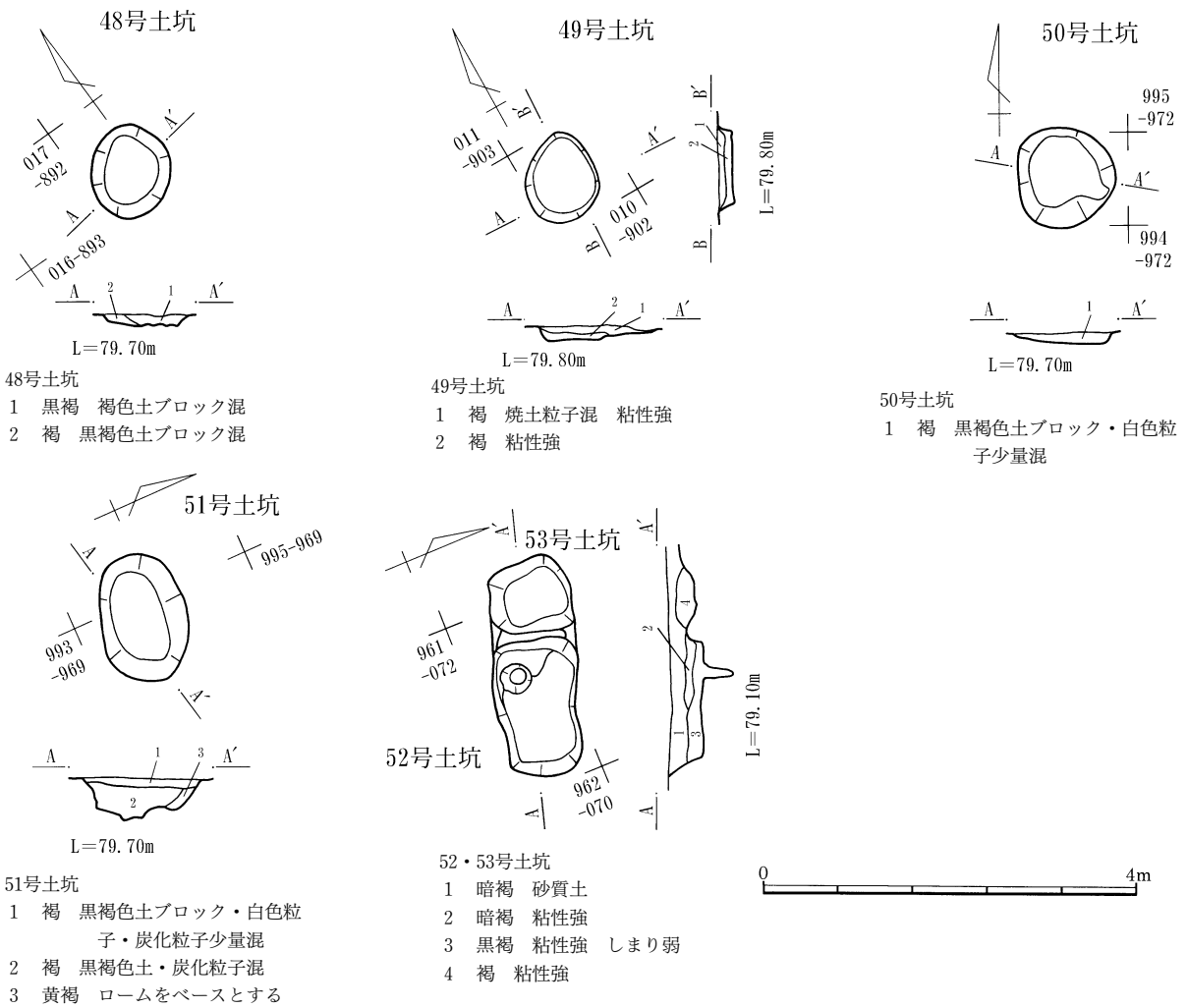
第16図 中世以降・時期不明土坑 3 (23~29・31~35号土坑)

第III章 検出された遺構と出土遺物



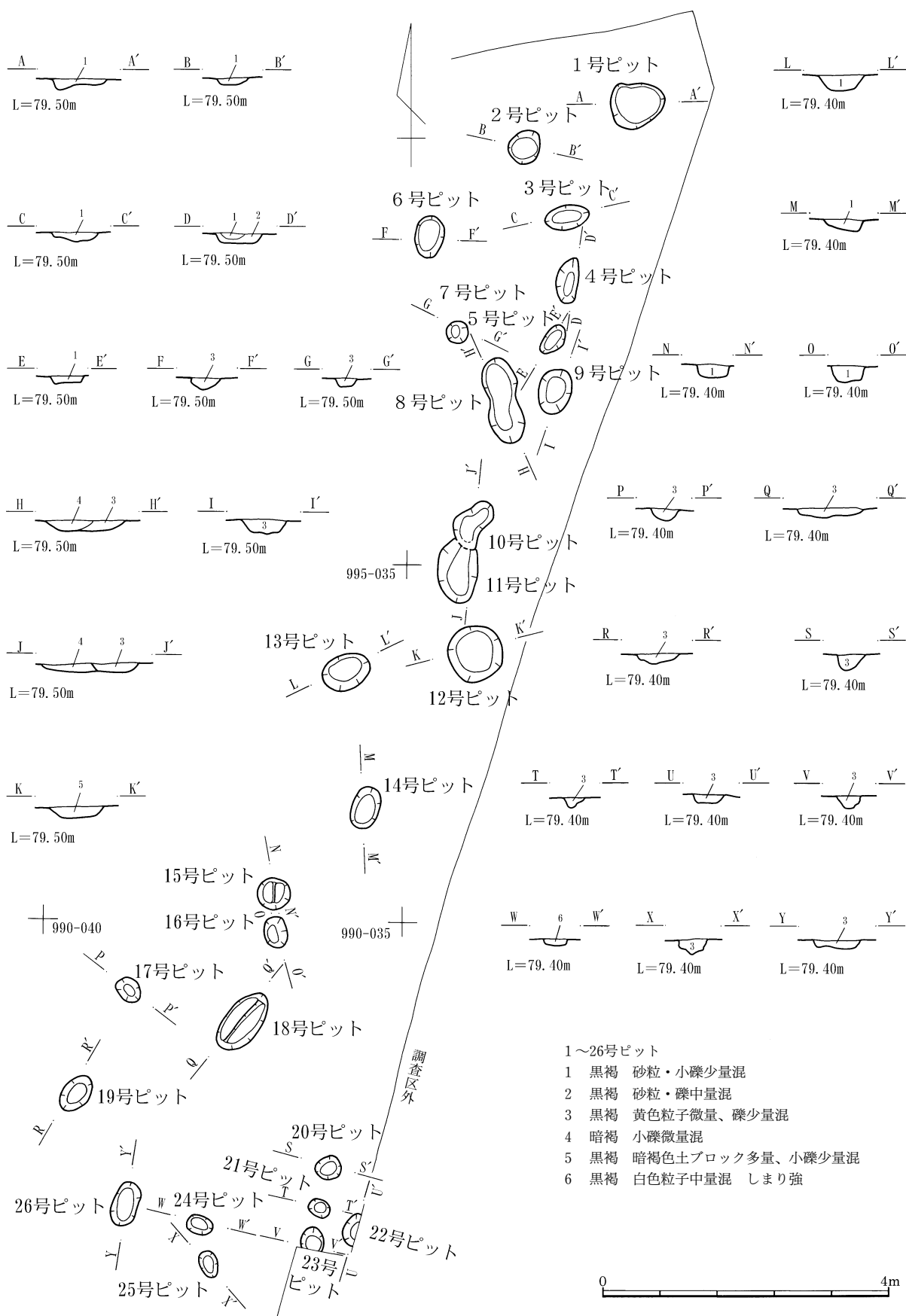
第17図 中世以降・時期不明土坑 4 (36~47号土坑)

第1節 中世以降・時期不明

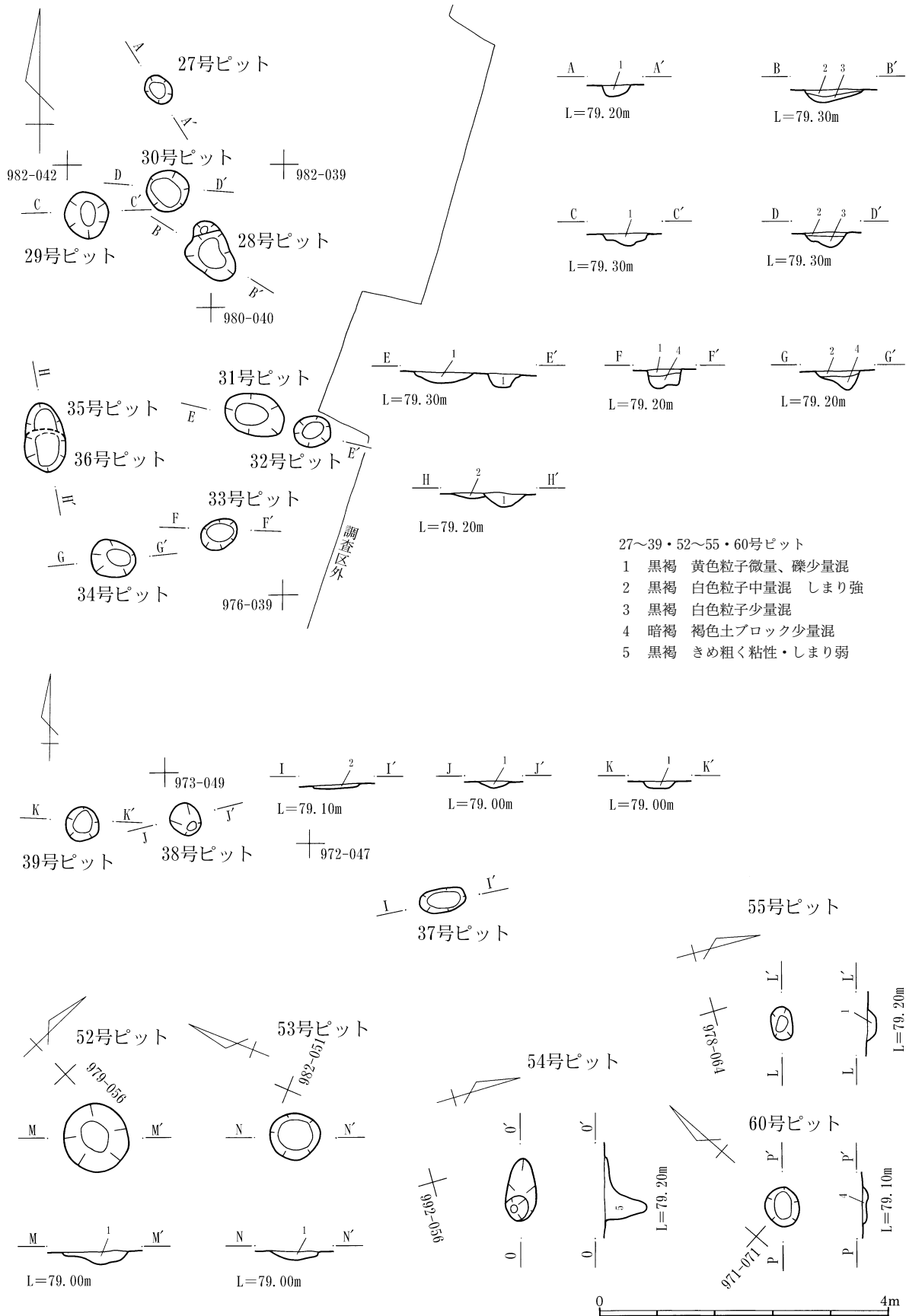


第18図 中世以降・時期不明土坑5 (48~53号土坑)

第三章 検出された遺構と出土遺物



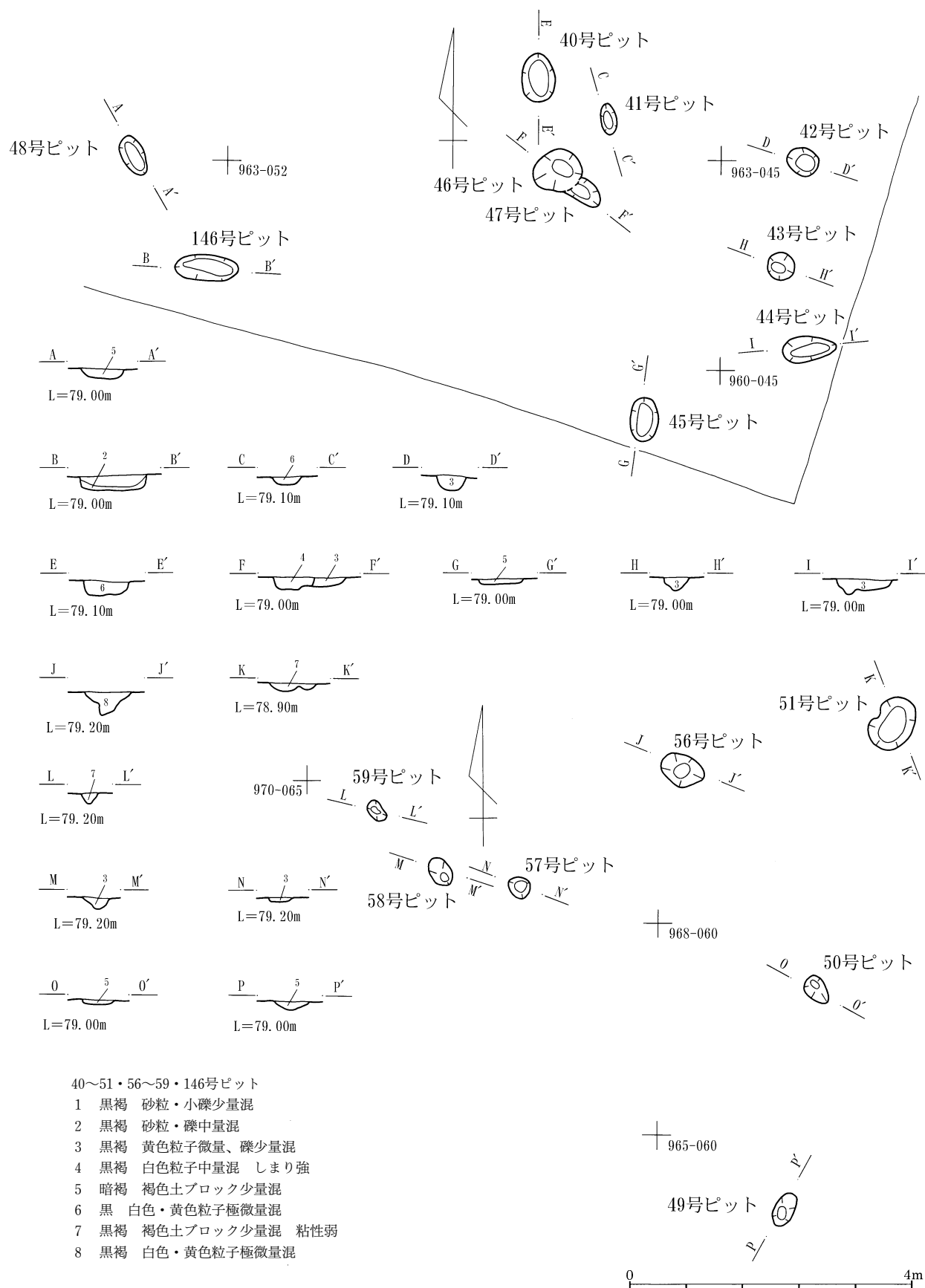
第19図 中世以降・時期不明ピット1 (1~26号ピット)



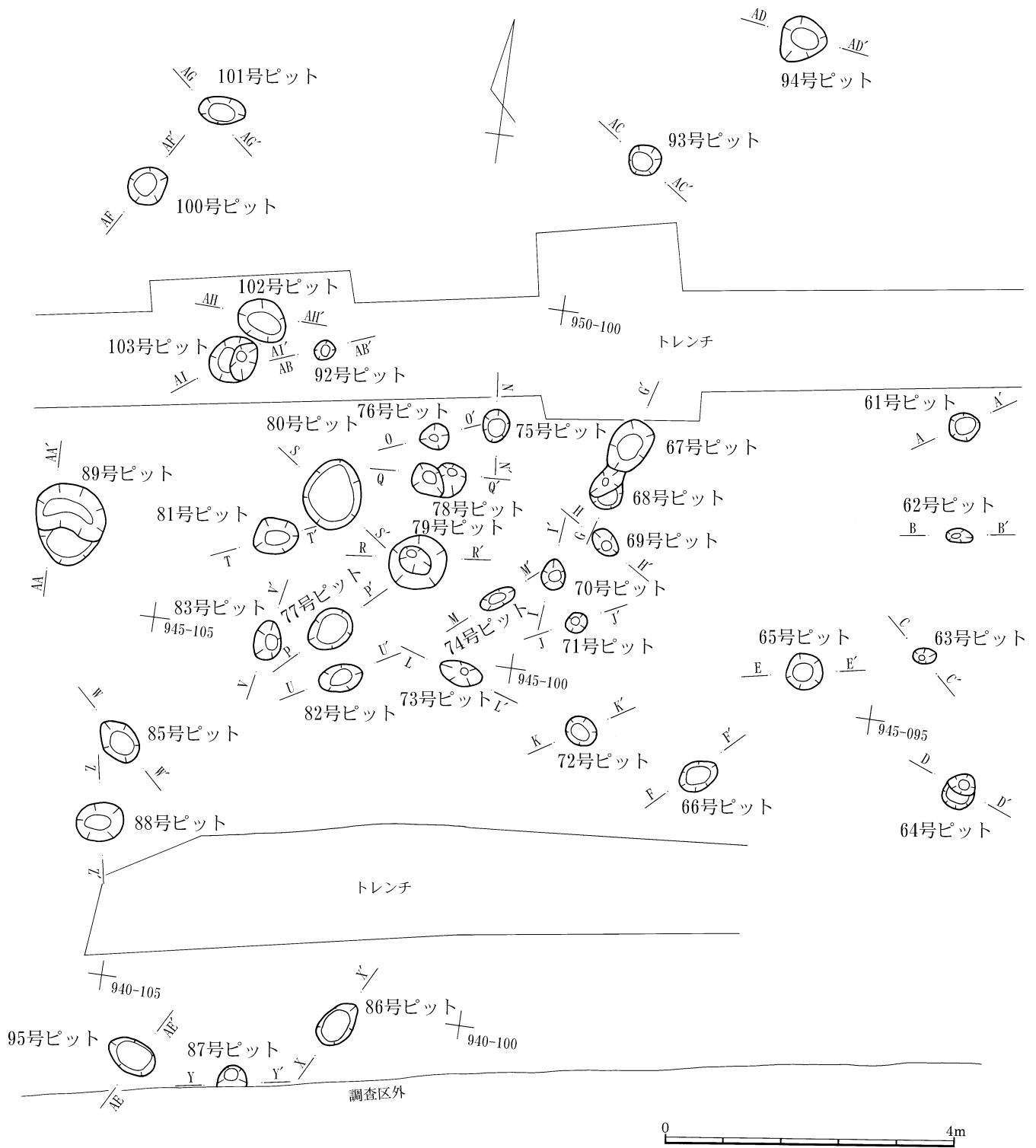
第20図 中世以降・時期不明ピット2 (27~39・52~55・60号ピット)



第三章 検出された遺構と出土遺物

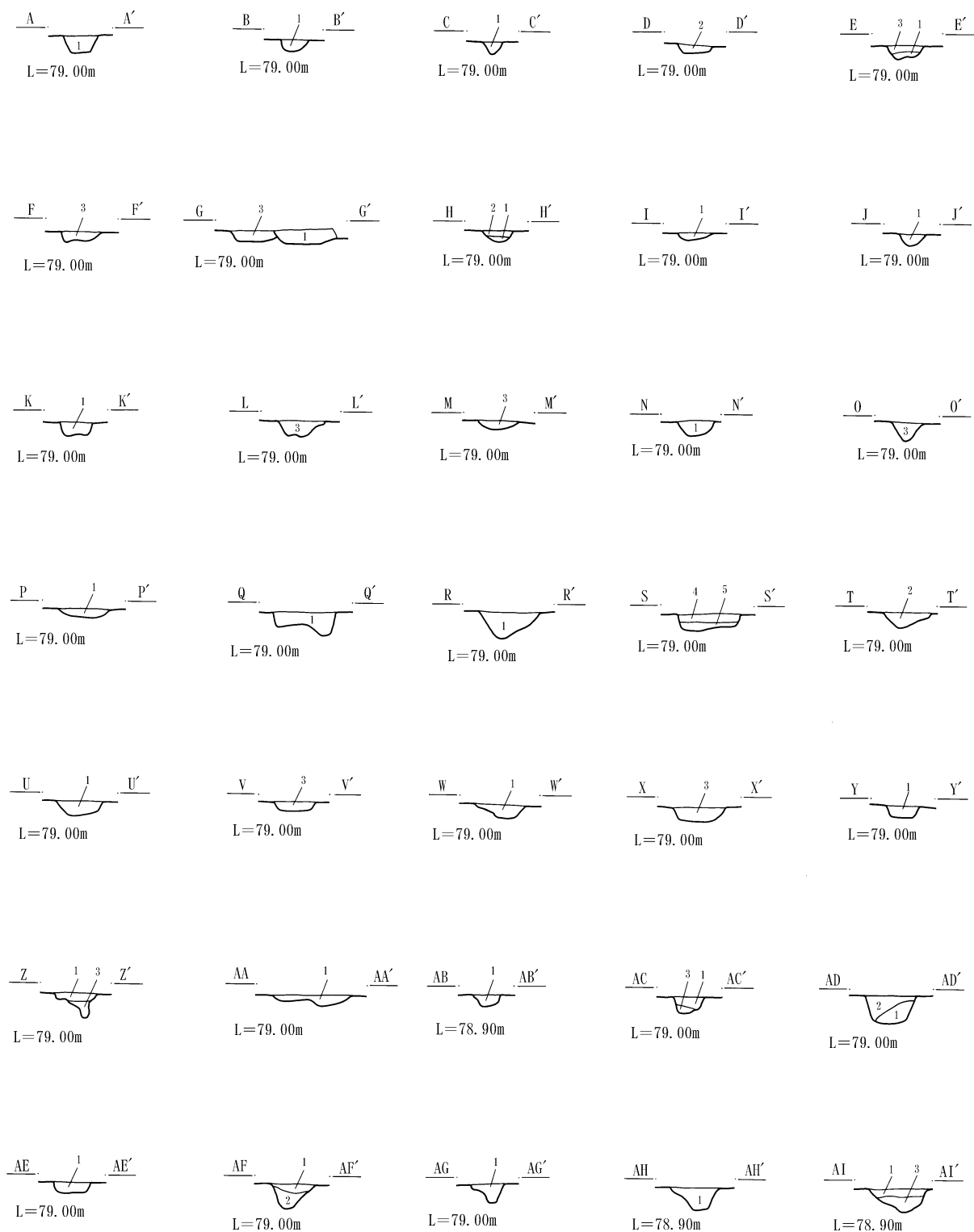


第21図 中世以降・時期不明ピット 3 (40～51・56～59・146号ピット)



第22図 中世以降・時期不明ピット4 (61~83・85~89・92~95・100~103号ピット)

第III章 検出された遺構と出土遺物



61~83・85~89・92~95・100~103号ピット

- 1 黒褐 褐色土ブロック中量、小礫少量混
- 2 暗褐 褐色土ブロック・白色粒子微量混
- 3 黒褐 白色粒子・褐色土ブロック極微量混

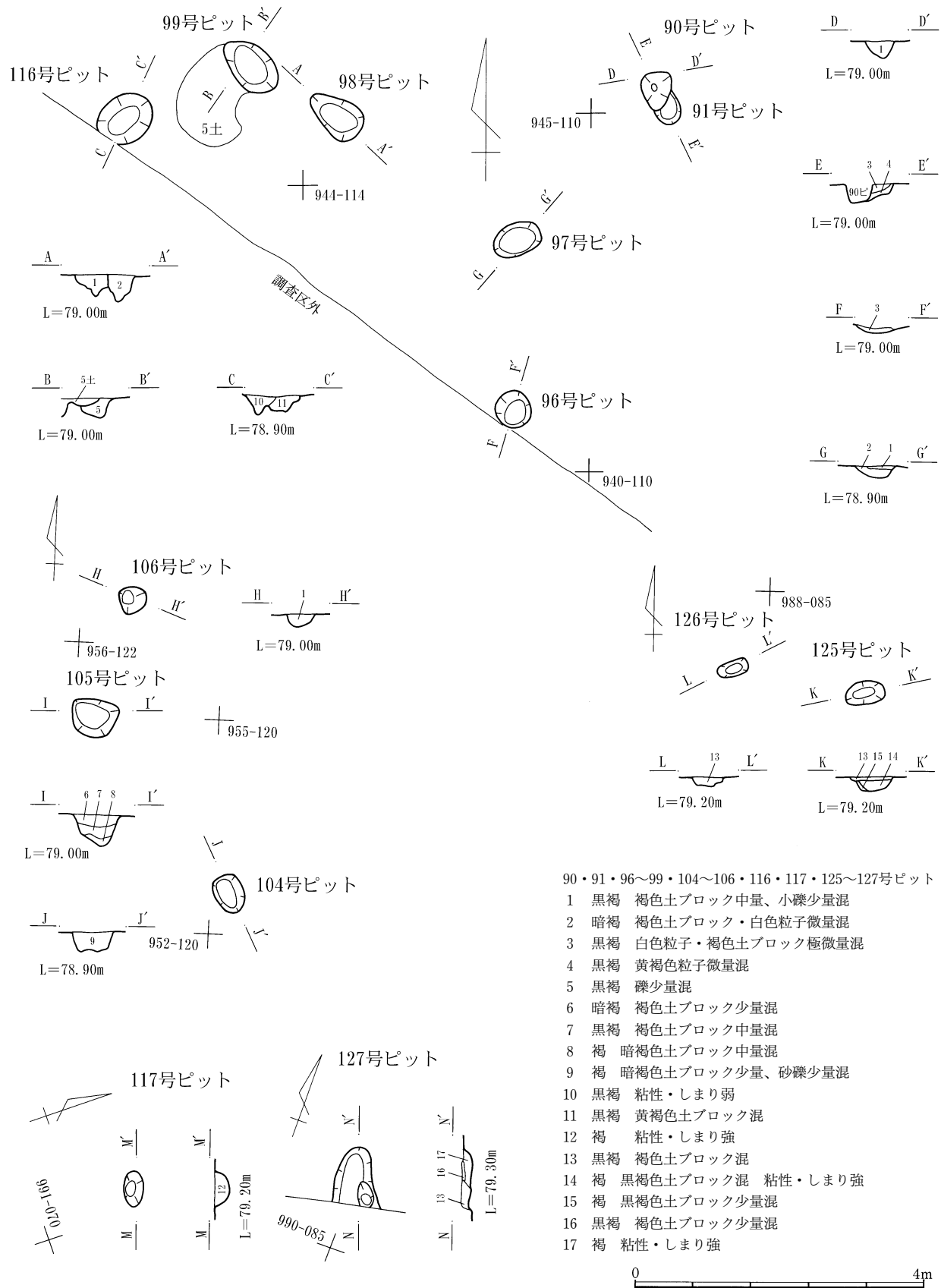
4 黒褐 白色・黄色粒子極微量混

5 褐 暗褐色土ブロック多量混



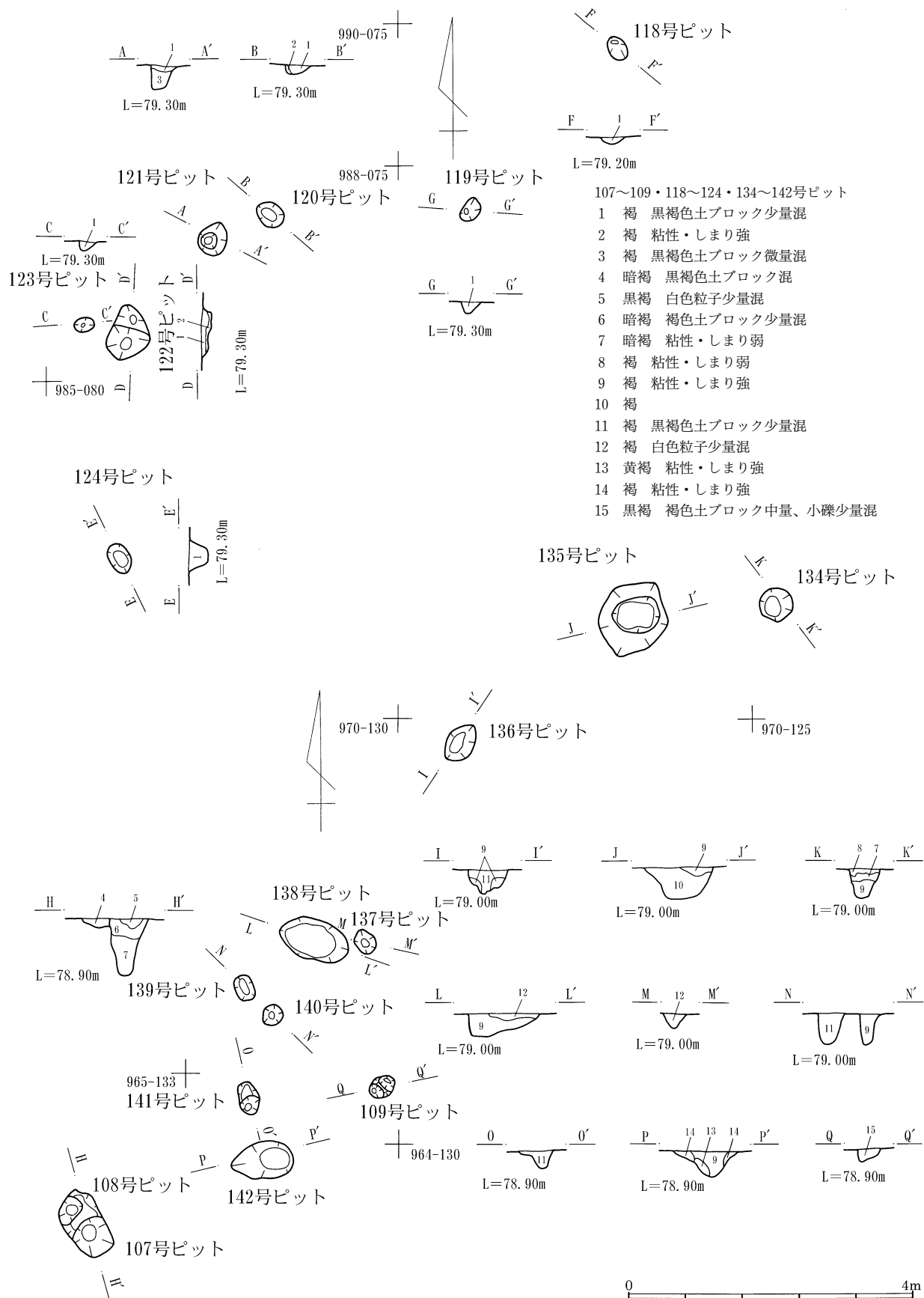
第23図 中世以降・時期不明ピット5 (61~83・85~89・92~95・100~103号ピット)

第1節 中世以降・時期不明



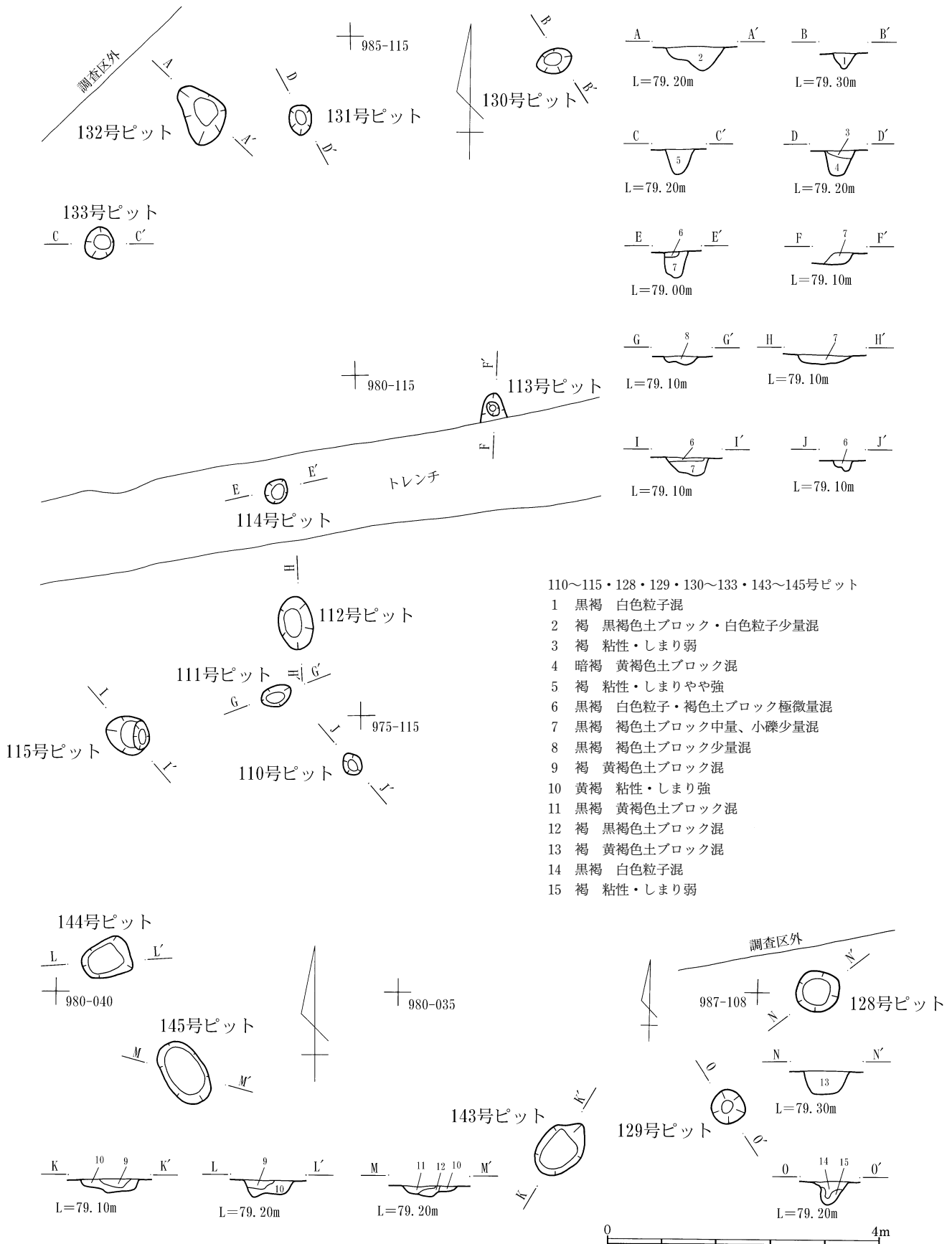
第24図 中世以降・時期不明ピット6 (90・91・96～99・104～106・116・117・125～127号ピット)

第III章 検出された遺構と出土遺物



第25図 中世以降・時期不明ピット7 (107~109・118~124・134~142号ピット)

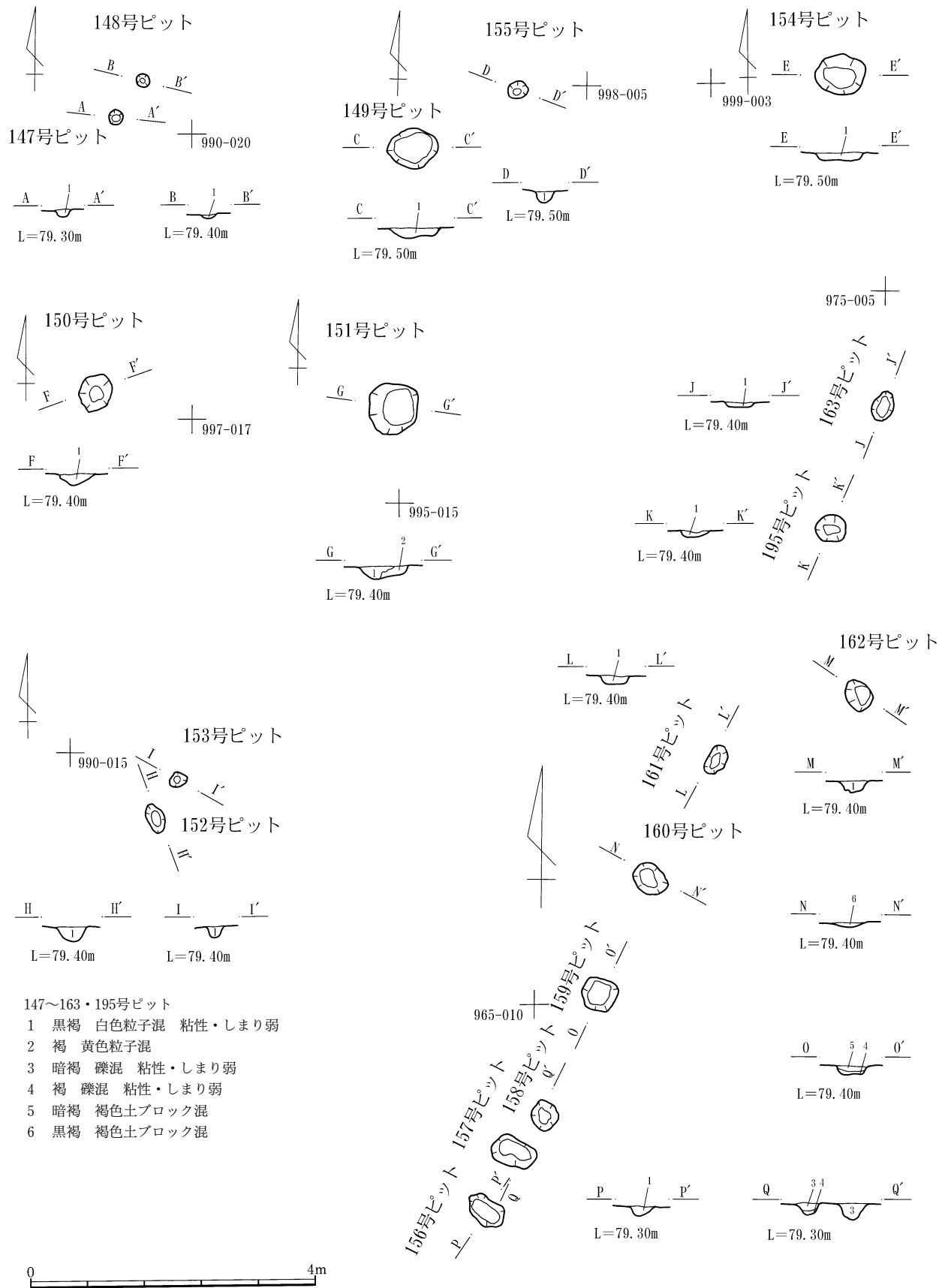
第1節 中世以降・時期不明



第26図 中世以降・時期不明ピット 8 (110~115・128・129・130~133・143~145号ピット)

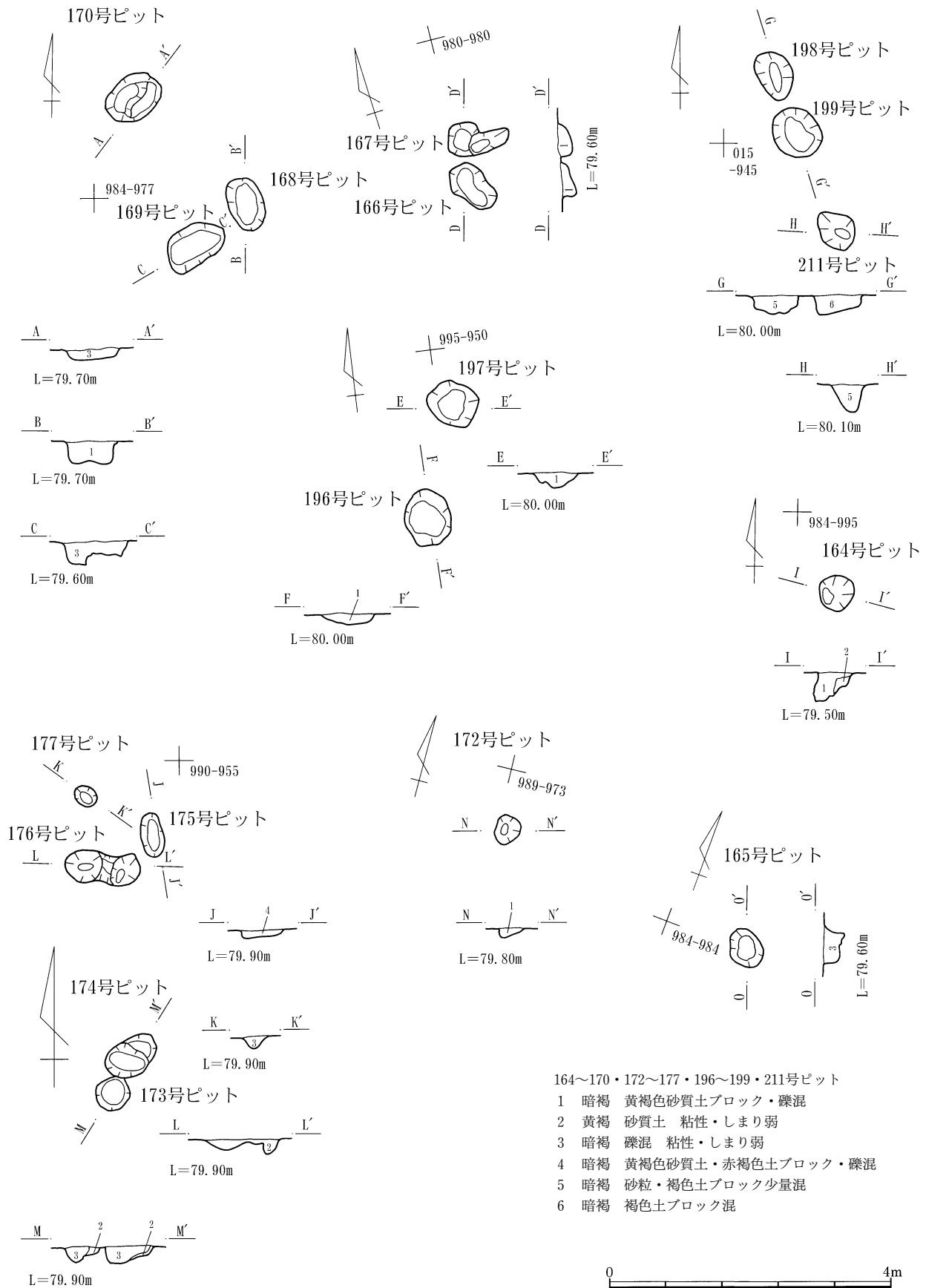


第III章 検出された遺構と出土遺物



第27図 中世以降・時期不明ピット9 (147~163・195号ピット)

第1節 中世以降・時期不明

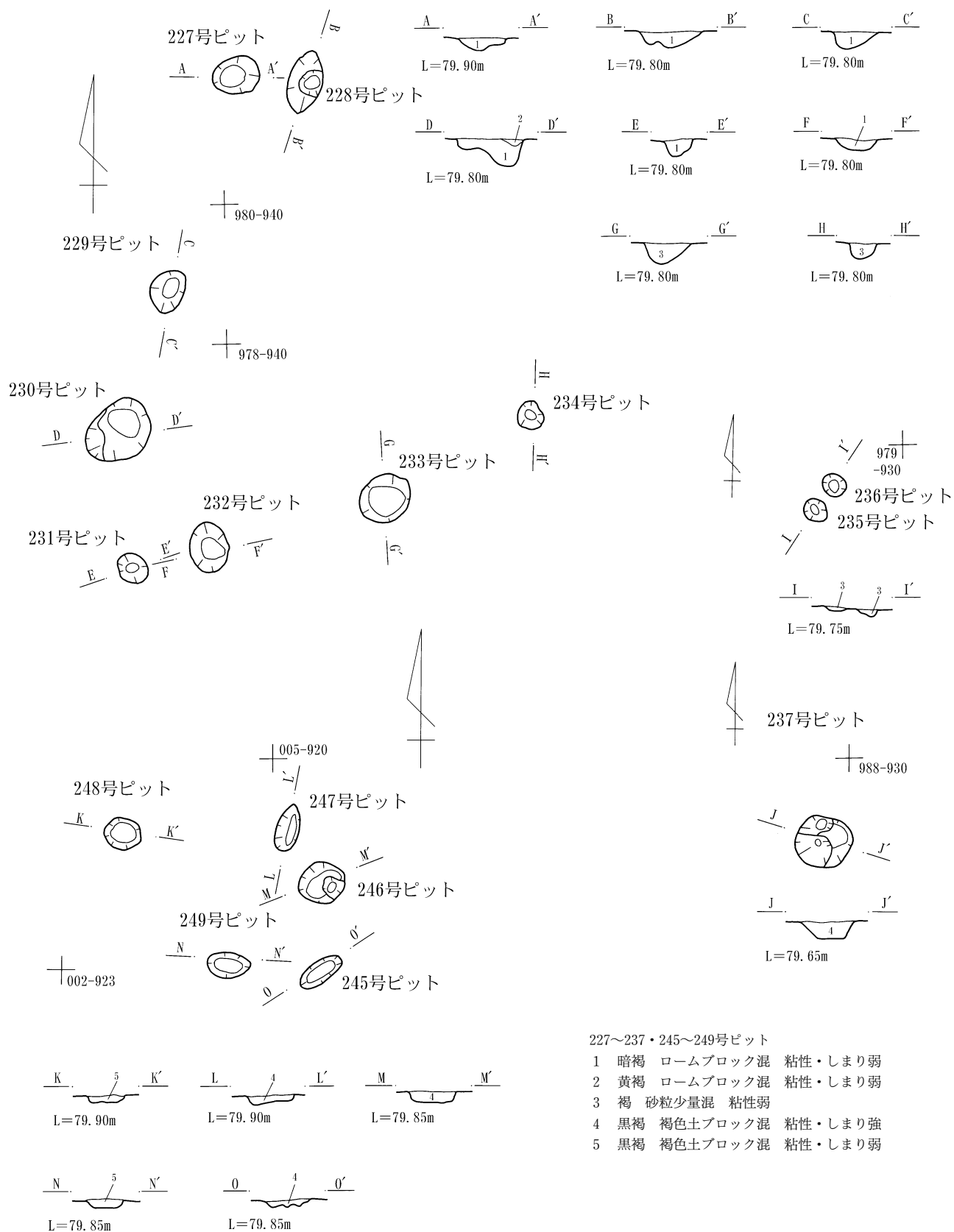


第28図 中世以降・時期不明ピット10 (164~170・172~177・196~199・211号ピット)



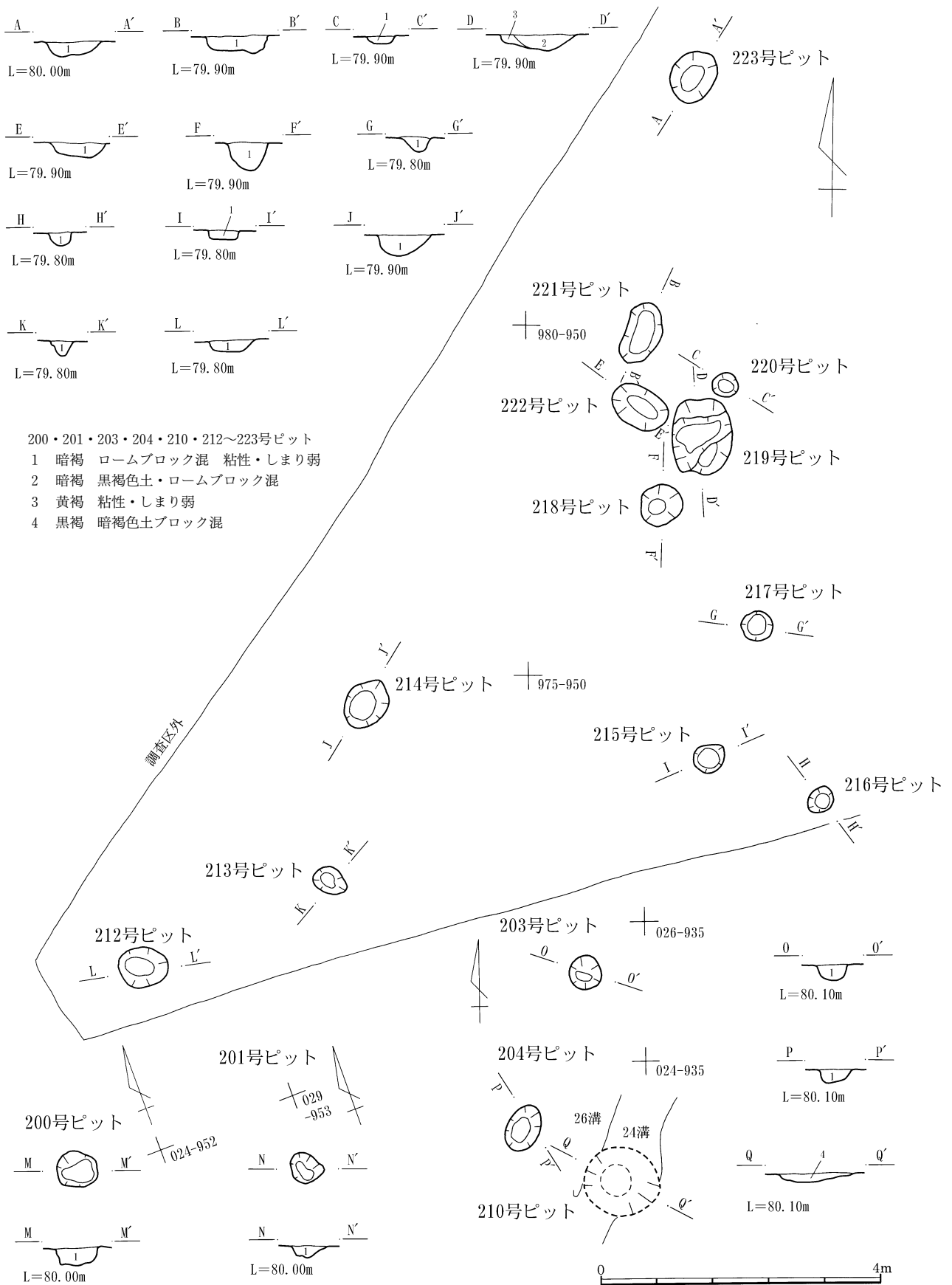


第III章 検出された遺構と出土遺物



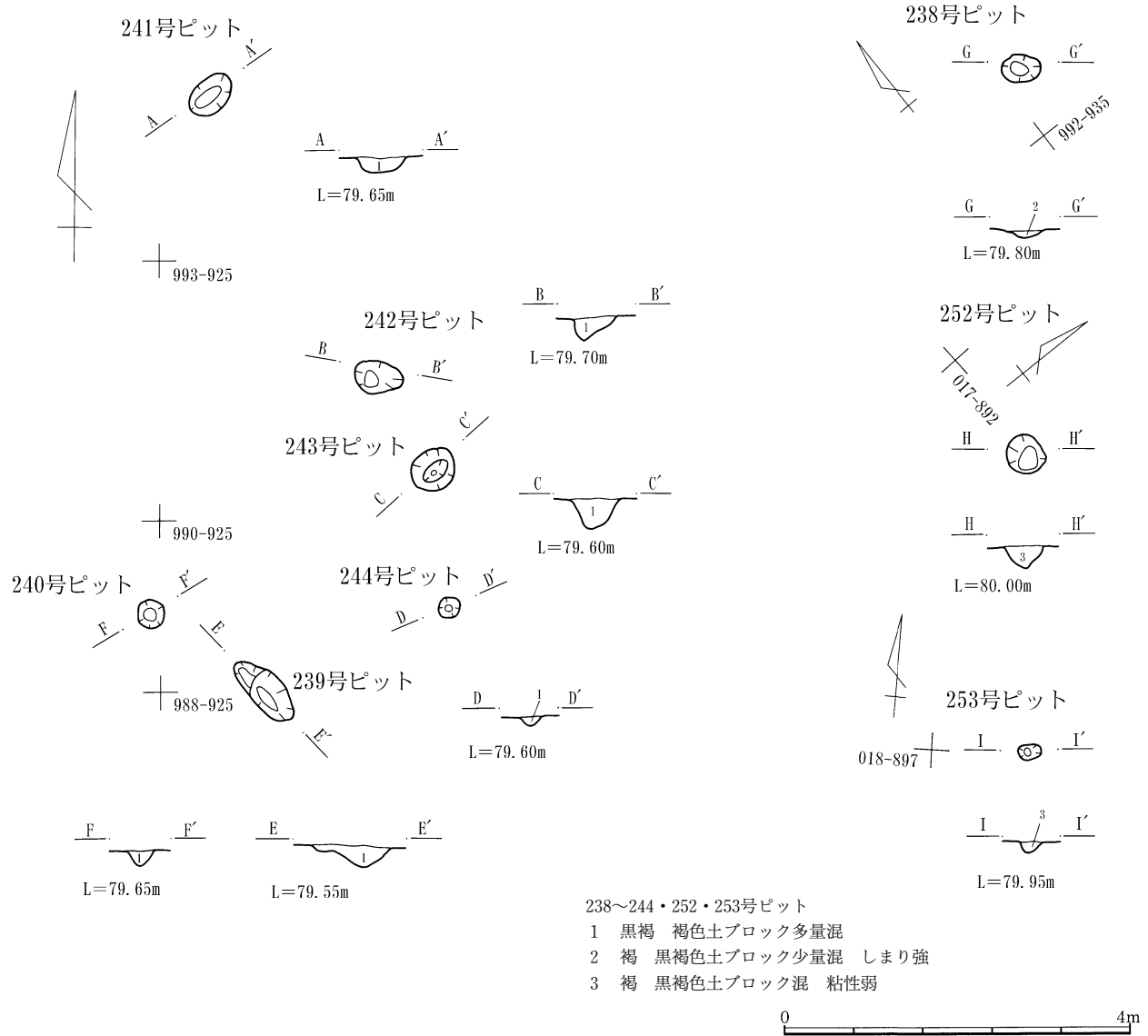
第31図 中世以降・時期不明ピット13 (227~237・245~249号ピット)

第1節 中世以降・時期不明

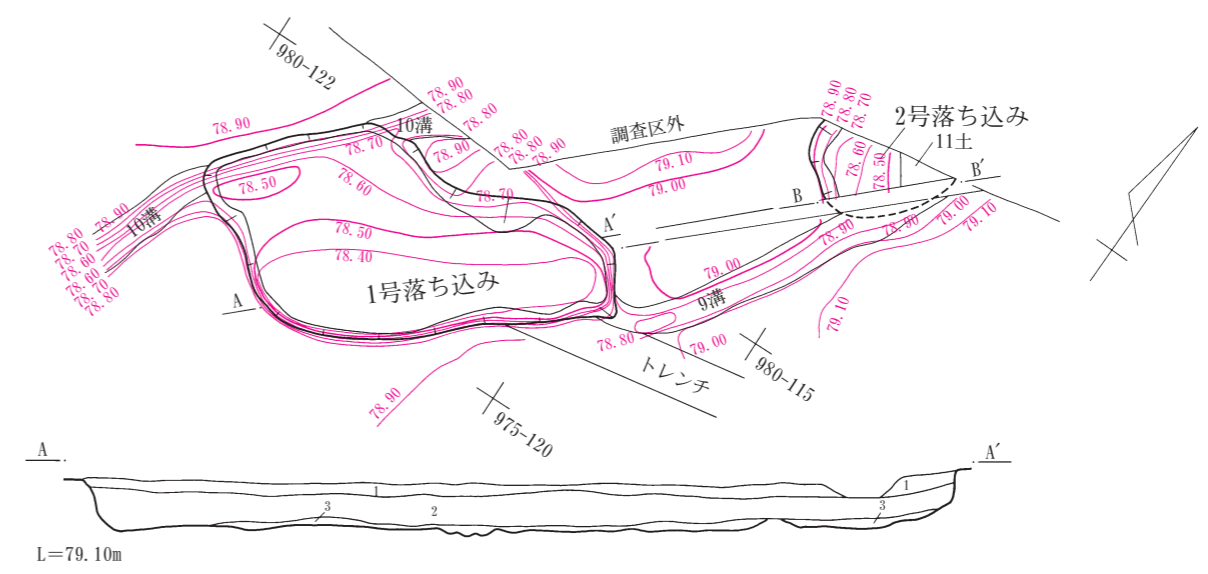
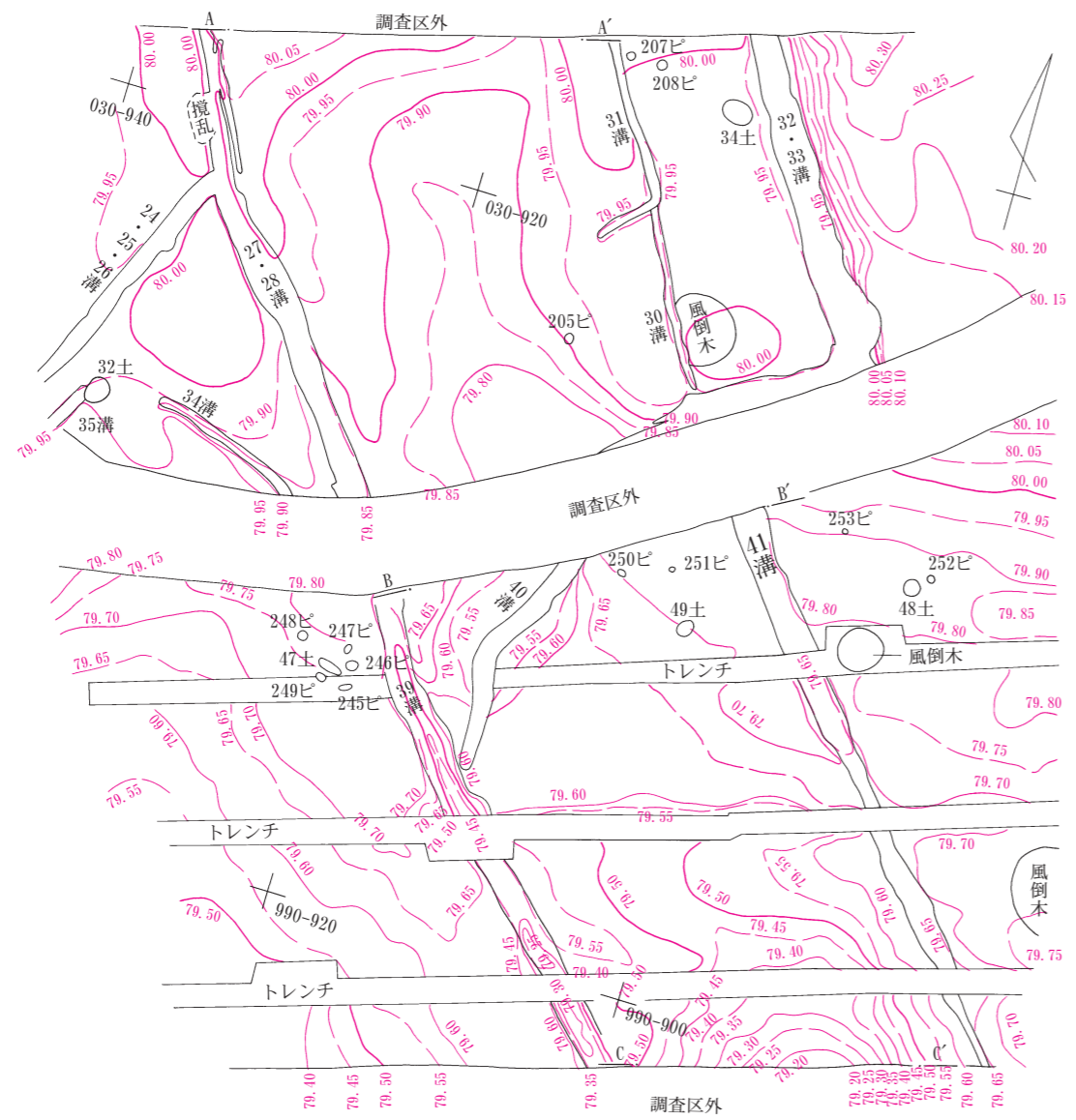


第32図 中世以降・時期不明ピット14 (200・201・203・204・210・212~223号ピット)

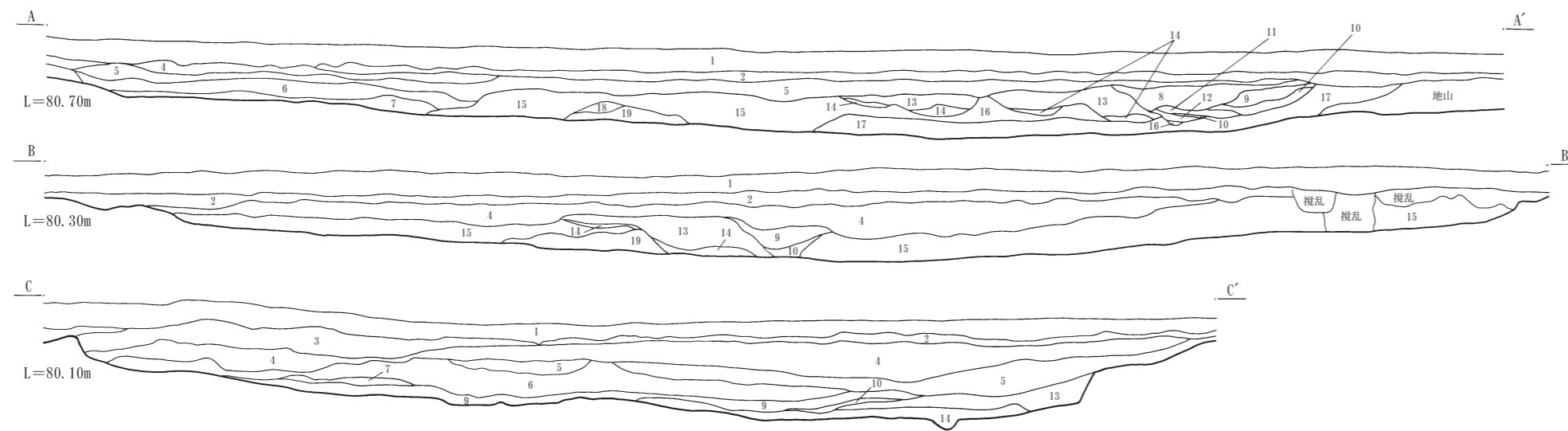
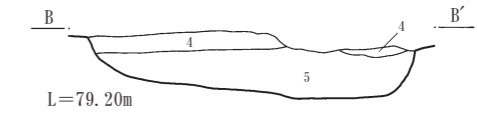
第III章 検出された遺構と出土遺物



第33図 中世以降・時期不明ピット15 (238~244・252・253号ピット)



- 1・2号落ち込み
- 1 暗褐 褐色土ブロック少量混
  - 2 黒褐 褐色土ブロック・白色粒子混
  - 3 暗褐 褐色土ブロック混
  - 4 暗褐 褐色土ブロック多量混
  - 5 黒褐 褐色土ブロック少量混



- 2号谷地
- 1 現耕作土
  - 2 暗褐 砂粒混 旧耕作土か?
  - 3 暗褐 砂粒・白色粒子混
  - 4 黒褐 砂粒・白色粒子混
  - 5 黒褐 酸化鉄分混 粘性強
  - 6 黒褐 酸化鉄分混 粘性やや強
  - 7 黒褐 砂粒多量混
  - 8 暗褐 酸化鉄分・白色粒子少量混
  - 9 暗褐 砂粒多量混
  - 10 暗褐 粘性強
  - 11 暗褐 砂層 酸化鉄分混
  - 12 暗褐 砂層
  - 13 暗褐 酸化鉄分多量混 粘性強
  - 14 暗褐 砂層 粘性強ブロック少量混
  - 15 黒褐 酸化鉄分多量混 粘性・しまり強
  - 16 暗褐 酸化鉄分多量混 粘性・しまり強
  - 17 褐 酸化鉄分多量
  - 18 暗褐 砂層 粘性強ブロック・酸化鉄分混
  - 19 暗褐 酸化鉄分少量混 粘性・しまり強



第34図 中世以降・時期不明2号谷地・1・2号落ち込み



(4) 遺物

遺物は、陶器、磁器、土師質土器、軟質陶器、瓦、土製品、石製品、鉄製品、銅製品、銅銭が出土している。

A 陶器

I 碗

- a 中世陶器 鎌倉・室町時代の陶器
- b 近世陶器 江戸時代（17世紀～19世紀後半）の陶器碗を一括した
  - 1) 瀬戸美濃系 尾呂茶碗5点、腰鑄茶碗7点、天目碗2点、陶胎染付2点（内広東碗1点）等、計37点が出土している。
  - 2) 肥前系 呉器手碗6点、陶胎染付10点等、計17点が出土している。
  - 3) その他・不明
- c 近現代陶器 明治時代以降（19世紀末～）の陶器碗を一括した
- d 不明 産地・時期不明のもの

II 皿

- a 中世陶器 鎌倉・室町時代の陶器
- b 近世陶器 江戸時代（17世紀～19世紀後半）の陶器皿を一括した
  - 1) 瀬戸美濃系 菊皿2点、志戸呂灯明皿3点（受皿1）、他灯明皿4点（受皿1）等、計12点出土している。
  - 2) 肥前系 計3点出土している。
  - 3) その他・不明 備前系1点等、京・信楽系灯明皿1点等、計3点出土している。
- c 近現代陶器 明治時代以降（19世紀末～）の陶器皿を一括した
- d 不明 産地・時期不明のもの 1点出土している。

III 香炉

- a 中世陶器
- b 近世陶器 1) 瀬戸美濃系 計3点出土している。 2) 肥前系 3) その他・不明
- c 近現代陶器 d 不明 産地・時期不明のもの

IV 甕

- a 中世陶器 知多系の甕が3点出土している。
- b 近世陶器 1) 瀬戸美濃系 計8点出土している。
  - 2) 肥前系 1点出土している。
  - 3) その他・不明
- c 近現代陶器 d 不明 産地・時期不明のもの

V 壺・徳利

- a 中世陶器
- b 近世陶器 1) 瀬戸美濃系 計9点出土している。
  - 2) 肥前系
  - 3) その他・不明
- c 近現代陶器 d 不明 産地・時期不明のもの 計6点出土している。

### 第Ⅲ章 検出された遺構と出土遺物

#### Ⅵ 鉢

- a 中世陶器
- b 近世陶器
  - 1) 瀬戸美濃系 計3点出土している。
  - 2) 肥前系 計2点出土している。
  - 3) その他・不明
- c 近現代陶器
  - d 不明 産地・時期不明のもの

#### Ⅶ 搦り鉢

- a 中世陶器
- b 近世陶器
  - 1) 瀬戸美濃系 計3点出土している。
  - 2) 堺系 計4点出土している。
  - 3) その他・不明 丹波・信楽系が1点出土している。
- c 近現代陶器
  - d 不明 産地・時期不明のもの

Ⅷ その他・不明 行平鍋・蓋・急須・火入れ各1点等が出土している。

### B 磁器

#### I 碗

- a 輸入磁器 中国等から輸入したもの 竜泉窯系青磁碗が2点出土している。
- b 近世磁器 江戸時代(17世紀～19世紀後半)の磁器碗を一括した
  - 1) 瀬戸美濃系 染付が4点出土している。
  - 2) 肥前系 波佐見系染付が11点、肥前産染付39点(広東碗3点)、計50点が出土している。
  - 3) その他・不明
- c 近現代磁器 明治時代以降(19世紀末～)の磁器碗を一括した 計14点出土している。
- d 不明 時期・産地不明のもの

#### II 皿

- a 輸入磁器 中国等から輸入したもの
- b 近世磁器 江戸時代(17世紀～19世紀後半)の磁器碗を一括した
  - 1) 瀬戸美濃系 染付が1点出土している。
  - 2) 肥前系 波佐見系染付1点、肥前産染付2点、肥前産青磁1点等、計6点が出土している。
  - 3) その他・不明
- c 近現代磁器 明治時代以降(19世紀末～)の磁器碗を一括した
- d 不明 時期・産地不明のもの

#### III 杯・小杯

- a 輸入磁器
- b 近世磁器 肥前産の白磁(?)紅皿1点、染付猪口1点、計2点が出土している。
- c 近現代磁器
  - d 不明 時期・産地不明のもの

#### IV 壺・甕類

- a 輸入磁器

b 近世磁器 肥前産染付徳利1点等、計4点出土している。

c 近現代磁器 d 不明 時期・産地不明のもの

V その他・不明 肥前産広東碗蓋1点、波佐見系仏飯器1点等、計26点出土している。

C 土師質土器

I 皿 ロクロ調整で底部回転糸切りのもの 31点出土している。

II その他 1点出土している。

D 軟質陶器

I 鍋・焙烙 136点出土している。

II 鉢類 2点出土している。

III その他 11点出土している。

E 瓦 近世以降の軒平瓦1点が出土している。

F 土製品 瀬戸美濃産の陶器戸車等、計7点が出土している。

G 石製品 I 砥石 流紋岩製の刃物砥石が5点出土している。

II その他 1点出土している。

H 鉄製品 I 刀子 柄部のみ残存したものが1点出土している。

II その他 把手状の鉄製品1点等、計5点出土している。

I 銅製品 I 煙管 a 雁首 1点出土している。 b 吸口 1点出土している。

II その他

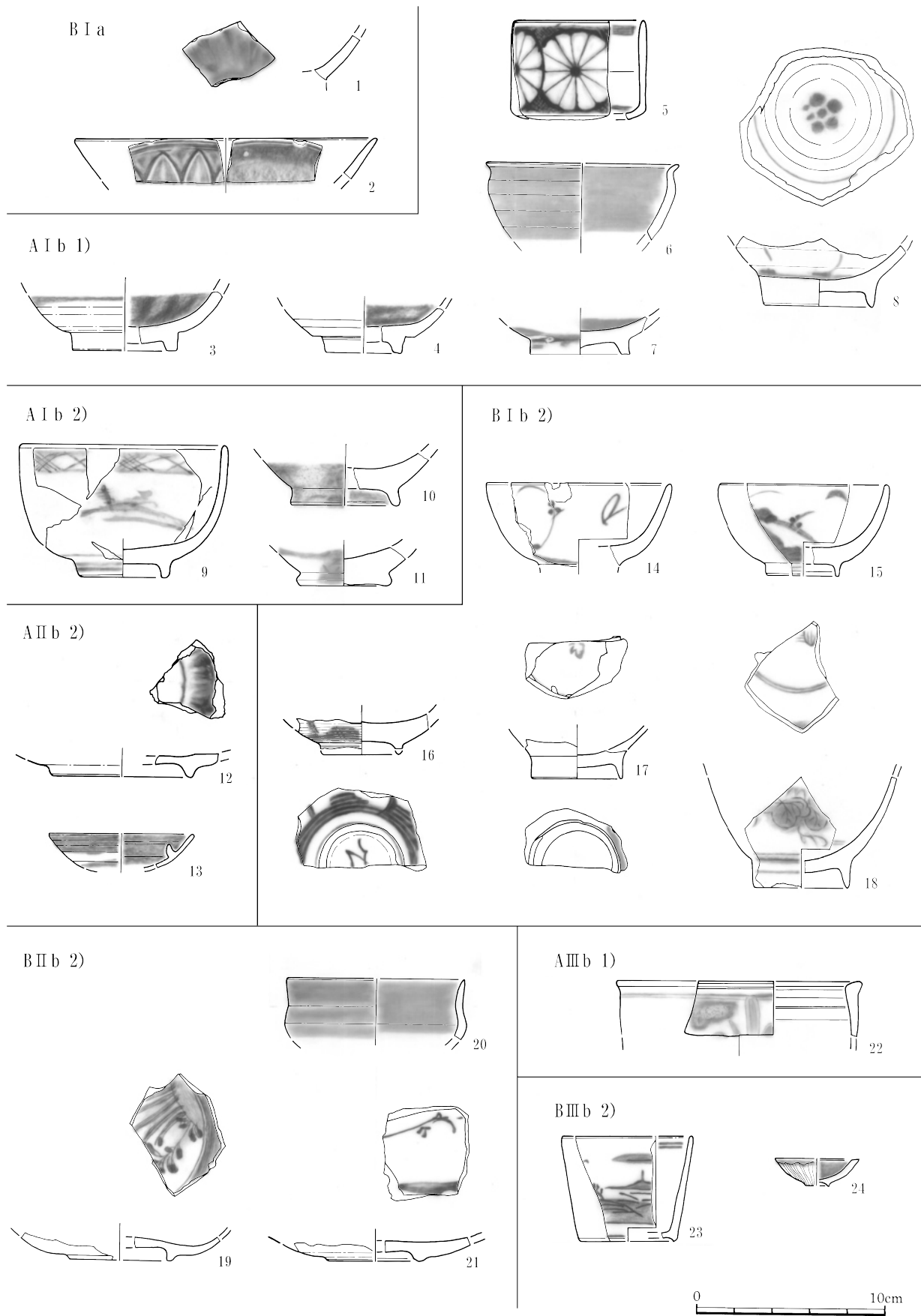
J 銅銭 寛永通宝（新寛永四文銭）1点が出土している。

中世以降・時期不明遺物数量表

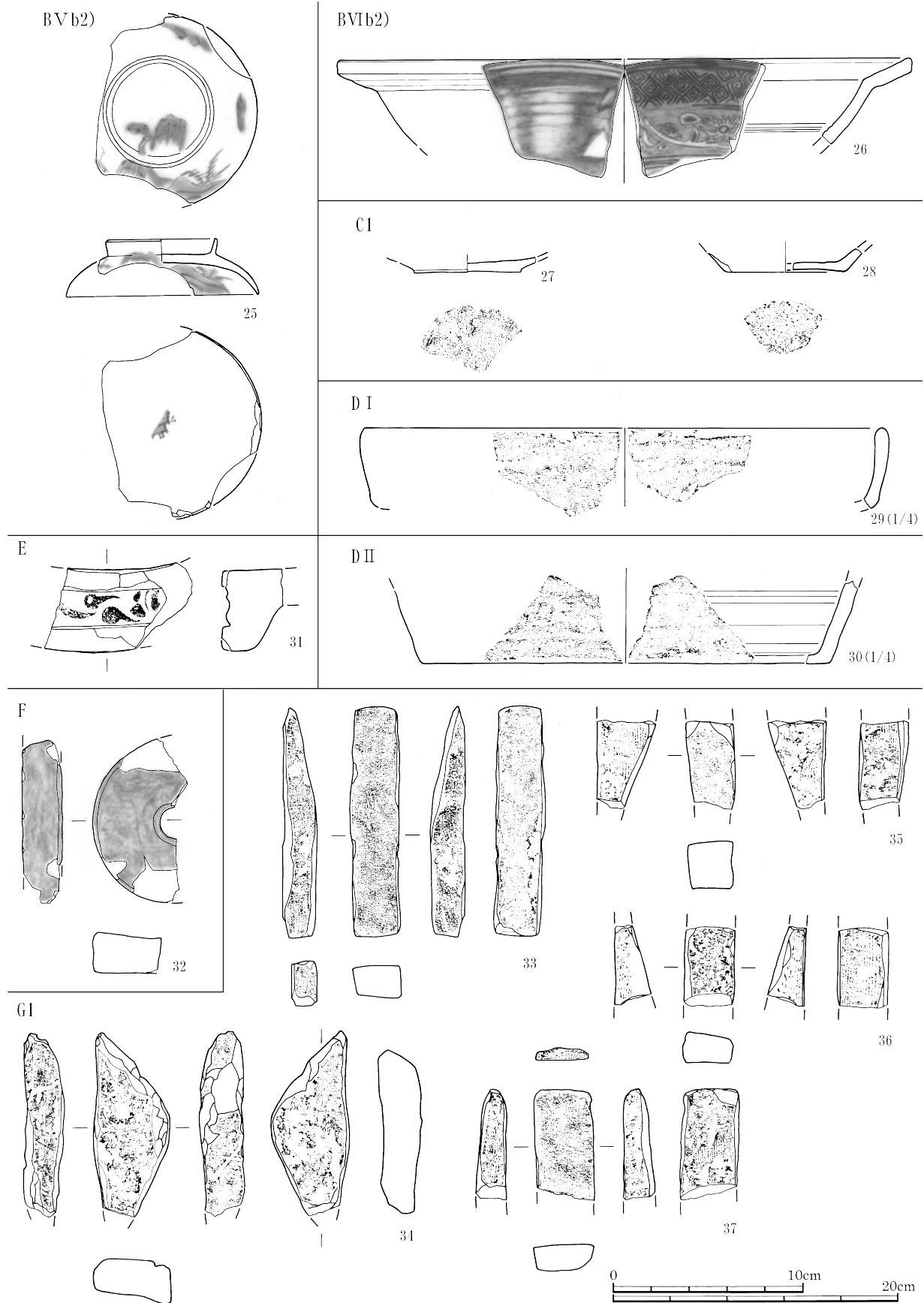
種別	中近世陶器																			他	計													
	I 碗				II 皿				III 香炉			IV 甕				V 壺・徳利						VI 鉢				VII 摺り鉢								
分類	b		計	b		d	計	b		計	a	b		計	d		d	計	b		計	b			計									
分類 2	1	2	計	1	2	3	計	1	計	計	1	3	計	計	1	2	計	d	計	1	2	計	計	1	2	3	計	計						
総数	37	17	54	54	12	3	3	18	1	19	3	3	3	3	8	1	9	12	9	0	9	6	15	3	2	5	5	3	4	1	8	8	18	134

種別	磁器													土師質土器				軟質陶器				土 瓦製 品	石製品		鉄製品		銅製品		銅銭	総計			
	I 碗				II 皿			III 杯・ 小杯	IV 壺・ 甕類	V 他	計	I 皿	II 他	計	I 鍋・ 焙烙	II 鉢類	III 他	計	I	II	I		II	I	II	a	b						
分類	b		c	計	b		b	b	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	
分類 2	a	1	2	計	1	2	計	2	計	2	計	2	計	2	計	2	計	2	計	2	計	2	計	2	計	2	計	2	計	2	計	2	計
計	2	4	50	54	14	70	1	6	7	2	2	4	4	26	109	31	1	32	136	2	11	149	4	7	5	1	1	5	1	1	1	1	450

第III章 検出された遺構と出土遺物

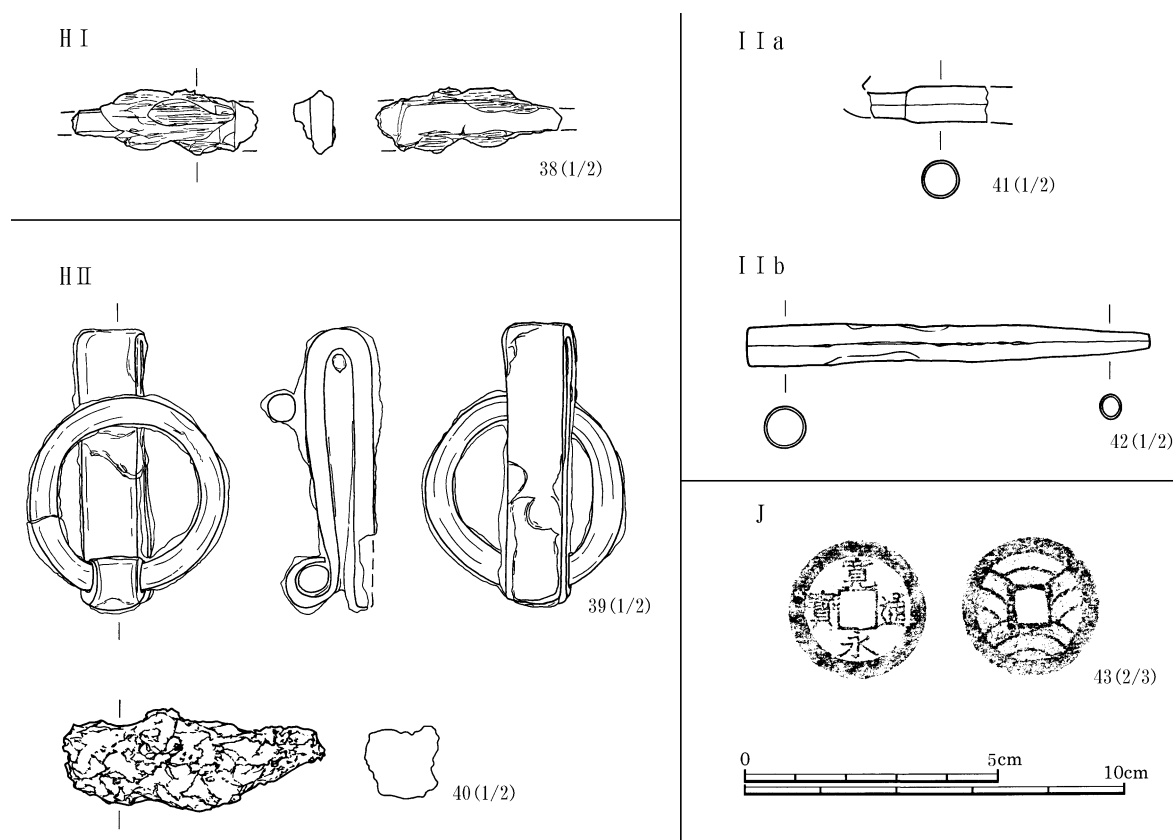


第35図 中世以降出土遺物 1 陶磁器



第36図 中世以降出土遺物 2 陶磁器 土器 土製品 石製品

第III章 検出された遺構と出土遺物



第37図 中世以降出土遺物 3 鉄製品 銅製品 銅銭

No.	種別 器種	出土位置 残存率	口径(cm)		色調釉	色調胎土	焼成		調整・文様等	分類	備考
			底径(cm)	高さ(cm)			胎	土			
1	磁器 碗	1~5溝 胴部片	—	—	明緑灰 10GY7/1	灰白 2.5Y8/2	良好 細		連弁文 青磁	I a	龍泉窯系 13C中~後 大宰府I-5-b類
			—	—							
			—	—							
2	磁器 碗	1~5溝 口縁部 1/9	(15.5)	—	灰オリーブ 5Y6/2	灰白 N8/	良好 細		連弁文 青磁	I a	龍泉窯系 13C中~後 大宰府I-5-b類
			—	—							
			[2.1]	—							
3	陶器 碗	トレンチ 胴部~底部	—	—	暗褐 7.5YR3/3	灰白 2.5Y8/2	良好 細 細砂微量混		ロクロ成形 外面体部下回 転篔削り? 外面体部下高 台部無釉	I b 1	瀬戸・美濃 尾呂茶碗 18C
			5.6	—							
			[3.1]	—							
4	陶器 碗	44溝 底部 1/2	—	—	暗赤褐 5YR3/3	灰白 2.5Y8/2	良好 細 細砂少量混		ロクロ成形 付け高台? 外 面体部下回転篔削り 外面 体部下高台部無釉	I b 1	瀬戸・美濃 江戸
			4.0	—							
			[2.8]	—							
5	陶器 碗	1・2・3・5・6溝 口縁部~底部	(7.0)	—	透明 暗青灰 5B3/1	灰白 2.5Y8/2	良好 細 白色鉱物粒微量混		ロクロ成形 陶胎染付 外面 菊花文	I b 1	瀬戸・美濃 19C前~中
			—	—							
			[5.2]	—							
6	陶器 碗	9溝 口縁部片	(10.0)	—	赤黒 2.5YR2/1	灰白 10YR8/2	良好 中 細砂微量混		ロクロ成形 鉄釉	I b 1	瀬戸・美濃 天目碗 江戸
			—	—							
			[4.0]	—							
7	陶器 碗	1~5溝 底部 2/3	—	—	浅黄 5Y7/4	灰白 2.5Y8/2	良好 細 細砂・白色鉱物粒 微量混		ロクロ成形 底部回転篔削り 鉄釉 高台部無釉	I b 1	瀬戸・美濃 18C中~後 鉄釉碗
			5.2	—							
			[1.9]	—							
8	陶器 碗	1・2・3・5・6溝 胴部下半~底部	—	—	透明 暗青灰 5B4/1	灰白 2.5Y8/2	良好 細 白色粒微量混		ロクロ成形 陶胎染付 貫入 あり 見込部五弁花文	I b 1	瀬戸・美濃 広東碗 19C前~中
			2.9	—							
			[3.3]	—							
9	陶器 碗	1~7溝 口縁部~底部	10.9	—	透明 暗青灰 5B4/1	灰白 2.5Y8/2	良好 細 夾雑物なし		ロクロ成形 陶胎染付 貫入 あり 外面四方襷竹文?	I b 2	陶胎染付 18C
			4.4	—							
			6.8	—							

第1節 中世以降・時期不明

No.	種別 器種	出土位置 残存率	口径(cm)		色調釉	色調胎土	焼成		調整・文様等	分類	備考
			底径(cm)	高さ(cm)			胎	土			
10	陶器 碗	1~7溝 底部 1/2	— (5.8)	[2.8]	透明	灰白 2.5Y8/1	良好 中 細砂微量混	ロクロ成形 貫入あり 灰釉系	I b 2	肥前 呉器手碗 17C末~18C中	
	陶器 碗	1・2・3・5・6溝 底部	— 4.7	[2.0]	灰黄	にぶい橙 2.5Y7/2 7.5YR6/3	良好 中 細砂・白色鈹物粒 微量混	ロクロ成形 外面体部下 半~高台部無釉	I b 2	肥前 17C前~中	
12	陶器 菊皿	1・2・3・5・6溝 底部片	— (7.4)	[1.3]	浅黄	淡黄 2.5Y7/4 2.5Y8/3	良好 中 細砂・黒色鈹物粒 少量混	ロクロ成形 貫入あり 外面 体部下半~高台部無釉 菊皿	II b 2	瀬戸・美濃 17C	
	陶器 灯明受皿	47溝 口縁部	(7.6) —	[1.7]	暗赤褐	灰白 5YR3/4 10YR8/1	良好 細 細砂・白色鈹物粒 微量混	ロクロ成形 外面体部下 半~底部篋削り外面体部下 半~底部無釉	II b 2	瀬戸・美濃 19C	
14	磁器 碗	1~5溝 口縁部~体部 1/4	(9.6) —	[4.2]	透明 暗青灰	灰白 N8/ 5B4/1	良好 細	ロクロ成形 染付 外面雪輪 梅樹文?	I b 2	波佐見系 18C中~19C前	
	磁器 碗	3溝 口縁部~底部	(9.0) (3.8)	4.8	透明 青灰	灰白 N8/ 5B3/1	良好 細	ロクロ成形 染付 外面雪輪 梅樹文?	I b 2	波佐見系 18C中~19C前	
16	磁器 碗	グリッド 底部1/2	— (4.0)	(1.8)	透明 青	灰白 10Y8/1	良好 細	ロクロ成形 染付 外面雪輪 梅樹文?	I b 2	波佐見系 18C中~後	
	磁器 碗	47溝 底部1/2	— (4.8)	[2.1]	透明 青灰・青	灰白 10Y8/1	良好 細	ロクロ成形 染付	I b 2	肥前 18C~19C	
18	磁器 碗	1~5溝 胴部~底部1/4	— (5.0)	[5.8]	透明 青	灰白 10Y8/1	良好 細	ロクロ成形 染付	I b 2	肥前広東碗 18C末~19C前	
	磁器 皿	1・2・3・5・6溝 底部片	— (5.4)	[1.3]	透明 青	灰白 10Y8/1	良好 細	ロクロ成形 染付	II b 2	肥前 17C	
20	磁器 皿?	1・2・3・5・6溝 口縁部片	(9.4) —	[3.2]	明緑灰	灰白 10GY8/1 10Y8/1	良好 細	ロクロ成形 青磁	II b 2	肥前 江戸	
	磁器 皿	1・2・3・5・6溝 底部片	— 5.0	[1.2]	透明 青灰	灰白 10Y8/1 5B6/1	良好 細	ロクロ成形 染付	II b 2	肥前 17C	
22	陶器 香炉	6溝 口縁部片	(13.0) —	[2.8]	にぶい黄橙	灰白 10YR6/4 10YR8/1	良好 細 白色鈹物粒微量混	ロクロ成形 内面体部下 半無釉	III b 1	瀬戸・美濃 18C中~後	
	磁器 猪口	3溝 口縁部~底部	(7.0) (5.0)	5.5	透明 青	灰白 10Y8/1	良好 細	ロクロ成形 染付 外面山水 文?	III b 2	肥前 19C	
24	磁器 紅皿	2・3溝 1/2	(4.4) (1.2)	1.4	灰白	灰白 10Y8/1 7.5Y8/1	良好 細	型打成形 白磁 外面無釉	III b 2	肥前 19C	
	磁器 蓋	3溝 約2/3	(10.2) (5.8)	3.0	透明 青	灰白 10Y8/1	良好 細	ロクロ成形 染付 外面山水 文	V b 2	肥前 広東碗蓋 18C末~19C前	
26	陶器 鉢	6溝 口縁部片	(30.2) —	[4.4]	灰オリーブ	褐灰 5Y6/2 10YR6/1	良好 細 白色鈹物粒少量混	ロクロ調整	VI b 2	肥前 江戸	

第III章 検出された遺構と出土遺物

No.	種別	出土位置	口径(cm)		色調釉	色調胎土	焼成		調整・文様等	分類	備考
	器種		残存率	底径(cm)			高さ(cm)	胎			
27	土師質土器	1・2・3・5・6溝	—	—	浅黄橙	浅黄橙	酸化焙	良好	ロクロ調整 底部回転糸切り後ナデか？	I	江戸？
	皿	底部片	(5.6)	[0.8]	10YR8/3	7.5YR8/3	細	細砂・白色 鈳物粒・パミス混			
28	土師質土器	33溝	—	—	橙	橙	酸化焙	良好	ロクロ調整 (左回転) 底部回転糸切り無調整	I	江戸？
	皿	底部	(6.2)	[1.2]	7.5YR7/6	7.5YR7/6	中	細砂・白色 鈳物粒・パミス少量混			
29	軟質陶器	トレンチ	(36.4)	—	浅黄橙	浅黄	酸化焙	良好	体部外面下半型作り痕 体部内外面上半紐作り痕	I	江戸
	焙烙	口縁部	—	[5.5]	10YR8/3	2.5Y8/3	中	細砂少量混			
30	軟質陶器	1～5溝	—	—	浅黄	浅黄橙	酸化焙	良好	体部外面下半型作り痕 体部内面下半ナデか？	II	江戸～近代
	火鉢？	胴部～底部	(30.6)	[6.2]	2.5Y8/3	10YR8/3	中	細砂・白色・黒色 鈳物粒少量混			

番号	種別	出土位置	全長(cm)		色調表面	色調胎土	焼成		調整・文様等	分類	備考
	器種		残存率	幅 (cm)			厚さ(cm)	胎			
31	瓦	1～5溝	[3.2]	—	灰	灰白	普通	—	唐草文	E	
	軒平瓦	瓦当部破片	7.8	4.2	N5/	5Y7/1	中礫・細砂・白色・黒色 鈳物粒混	—			
番号	種別	出土位置	口径(cm)		色調釉	色調胎土	焼成		調整等	分類	備考
	器種		残存率	孔径(cm)			厚さ(cm)	胎			
32	陶器	3区 表採	(8.8)	—	灰白	浅黄	良好	—	ロクロ調整 外面一面無釉	F	瀬戸・美濃
	戸車	1/2	(1.7)	2.1	2.5Y8/2	2.5Y8/3	中	細砂微量混			

番号	種別	出土位置	全長(cm)		残存率	石材	特徴	分類	備考
	器種		厚さ(cm)	幅 (cm)					
33	石製品	表土	12.2	2.6	完形		4面使用 幅の広い面を主に使用 幅の狭い面に線状痕を残す		江戸～近代
	砥石		1.8	87.7					
34	石製品	1・2・3・5・6溝	[9.2]	4.1	ほぼ完形		3面使用 幅の狭い面を主に使用 刃物傷あり		
	砥石		2.3	103.0					
35	石製品	1～7溝	[4.5]	3.1	破片		主に一面使用 他の2面に線状痕を残す		江戸～近代
	砥石		2.5	46.8					
36	石製品	1・2・3・5・6溝	[4.1]	2.6	破片		4面使用 使用度は軽微 3面に線状痕を残す		
	砥石		1.6	28.5					
37	石製品	6溝	[5.9]	3.0	一部欠損		主に一面使用 他の4面に線状痕を残す 刃物傷あり		江戸～近代
	砥石		1.6	42.1					

番号	種別	出土位置	全長(cm)		残存率	特徴	分類	備考
	器種		厚さ(cm)	幅 (cm)				
38	鉄製品	1～5溝	[4.9]	[1.7]	柄部	柄の木質一部残る	I	
	刀子		1.0	6.9				
39	鉄製品	1・2・3・5・6溝	7.5	5.3	一部欠	扉等の環状の把手か	II	
	不明		[2.6]	72.5				
40	鉄製品	47溝	6.9	2.5	完形？	形態不明 鉄滓の可能性もあり	II	
	不明		1.9	37.4				
番号	種別	出土位置	全長(cm)		残存率	特徴	分類	備考
	器種		器厚(mm)	径 (cm)				
41	銅製品	31溝	[3.1]	1.0	火皿部欠		I a	
	煙管雁首		0.5	3.5				
42	銅製品	3溝	10.6	1.1	完形	中央部つぶれる	I b	
	煙管吸口		0.7	12.9				
番号	種別	出土位置	口径(cm)		残存率	特徴	分類	備考
	銭種		直径(cm)	孔径(cm)				
43	銅銭	3溝	2.8	0.7	完形	新寛永 背文青海波四文銭	J	
	寛永通宝		1.2	4.6				



## 第2節 縄文時代～平安時代

### (1) 概要

この節では、縄文時代～平安時代の遺構・遺物を掲載する。遺構は、縄文時代と考えられる自然の谷地と、他に縄文土器が集中している場所が1ヶ所あるだけで、人為的な遺構は検出されていない。

遺物は、縄文土器、石器の他、土師器・須恵器が少量出土しているだけである。

### (2) 遺構

#### 1号谷地

- ① 位置 4区北東部 003～011—941～952Gr
- ② 規模 19.4m×[6.0] m 南北の調査区外にさらに続いている。
- ③ 走向 N-65° -W
- ④ 時期 後期前半
- ⑤ 出土遺物 後期前半の土器が14点出土しているが、小破片が多く図示できるものはない。

#### 960-040Gr遺物集中地点

遺構は検出されなかったが、3.2m×4.0mの範囲に土器・礫が集中して検出された。後期称名寺I式の深鉢が出土している。

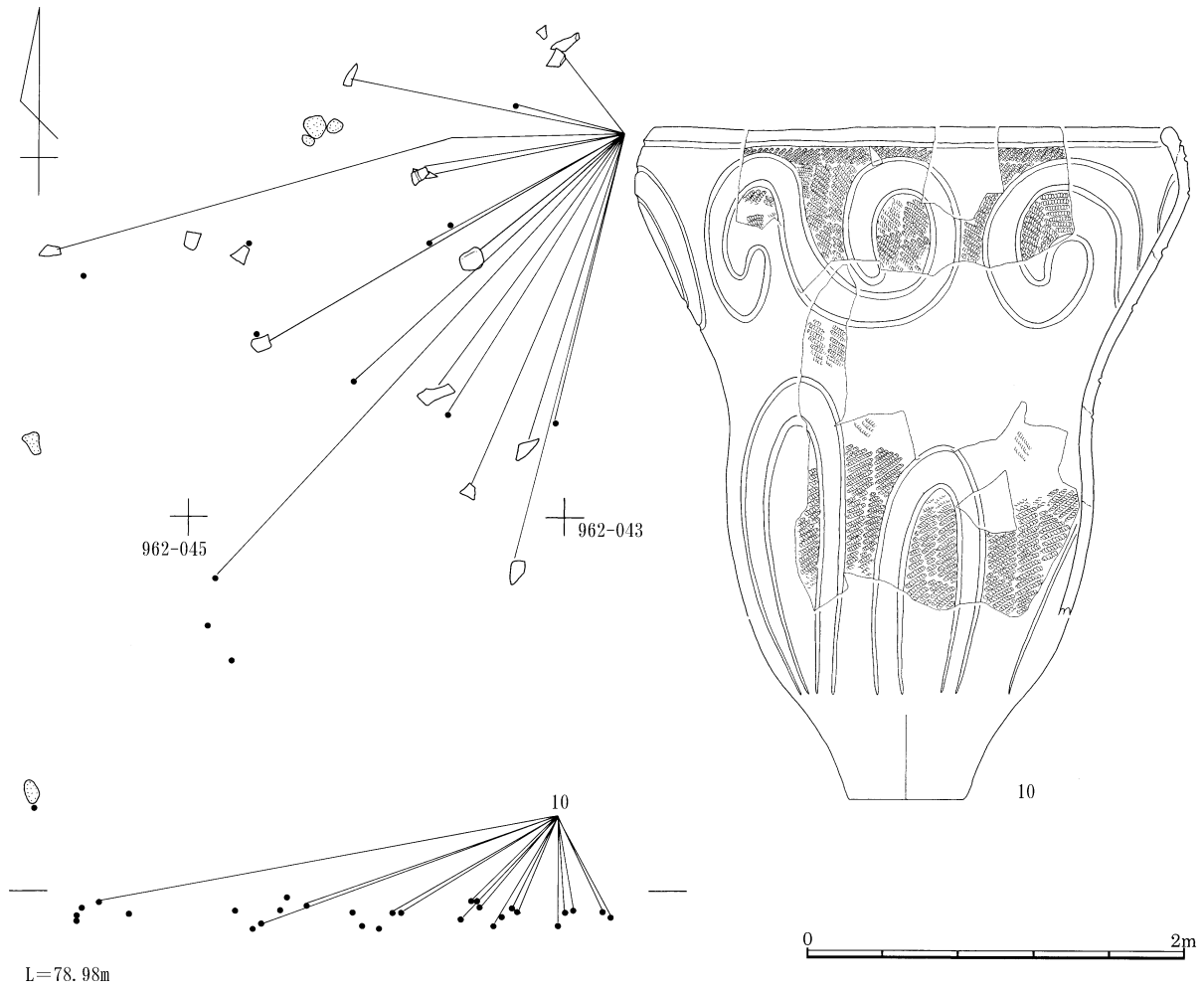
### (3) 遺構外遺物出土状況

遺構外遺物出土状況を見ると、少量ながら3区東部から4区西部にかけてと、4区東部から6区西部にかけての2ヶ所に集中箇所があるが、ここから東の路線内では遺物は出土しなくなる。

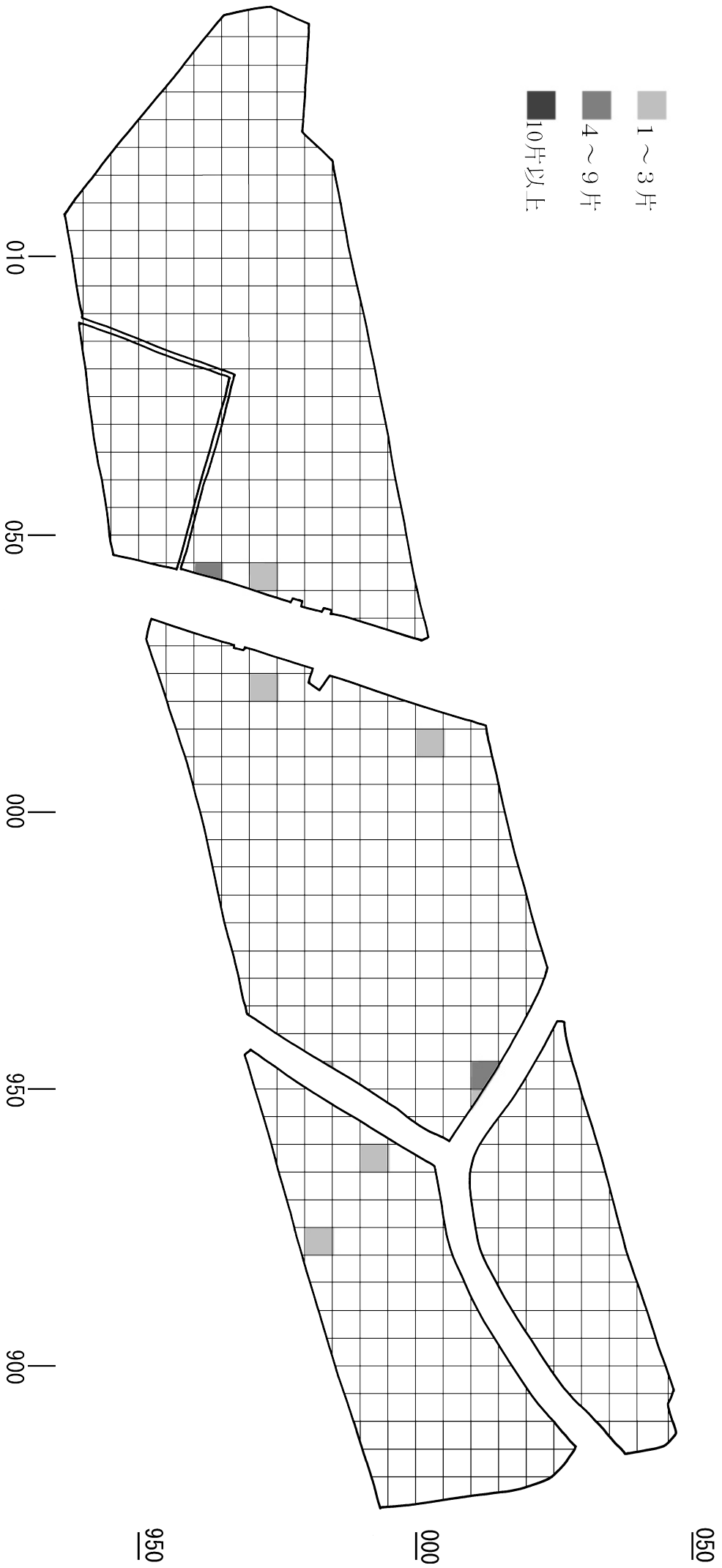
縄文～平安時代遺構外出土遺物数量表

種別	縄文土器				縄文石器			縄文計	土師器				須恵器				土師須恵計	総計		
	I	II	III	計	石鏃	打斧	剥片		計	坏	甕	他	計	坏	甕	壺			他	計
1～7	溝	3	2	20	25	1	2	3	28	1	3	1	5	4	1		5	10	38	
3	溝				0			0	0	1		1	2	1			1	3	3	
2・3	溝				0			0	0	4			4				0	4	4	
6	溝				0			0	0	1	1	2	2	2			2	4	4	
33	溝				0	1		1	1				0	1			1	1	2	
47	溝	1			1			0	1	5			5		1	1	2	7	8	
39	土坑				0		1	1	1				0				0	0	1	
32	ピット			1	1			0	1				0				0	0	1	
1	谷地		14		14			0	14				0				0	0	14	
960-040	Gr	1	1	8	10			0	10				0				0	0	10	
970-040	Gr		2		2			0	2				0				0	0	2	
970-020	Gr		3		3			0	3				0				0	0	3	
980-920	Gr				0	1		1	1				0				0	0	1	
980-950	Gr				0	1		1	1				0				0	0	1	
990-935	Gr				0		1	1	1				0				0	0	1	
000-010	Gr		1		1			0	1				0				0	0	1	
010-950	Gr			4	4			0	4				0				0	0	4	
トレンチ				2	2		1	1	3				0				0	0	3	
2区表土中			1	5	6		1	1	7				0				0	0	7	
3区表探				1	1			0	1				0				0	0	1	
5区表探					0		1	1	1				0				0	0	1	
計		5	24	41	70	2	2	7	11	81	11	4	3	18	6	3	1	1	11	29





第39図 縄文時代960-040Gr 遺物集中地点



第40図 縄文時代遺構外遺物出土分布図

(4) 遺物

遺物は、縄文土器・石器、土師器・須恵器が出土している。

縄文土器・石器

縄文土器は総数70点出土している。中期後半～後期前半にかけてのものがほとんどである。

石器は、石鏃、打製石斧、剥片・碎片等が出土している。

A 土器

- I 中期後半 a 加曾利E式 5点出土している。
- II 後期前半 計24点出土している。 a・bに細分できるが、小破片では区別できないため、図示した遺物のみ分類した。  
a 称名寺I式 b 称名寺II式～堀之内I式
- III その他・不明 41点出土している。

B 石器

- I 打製石斧 2点出土している。いずれも基部から刃部に向かって広がる形の「撥」型である。
- II 石鏃 2点出土している。1点はほぼ完形で、基部が抉れて茎を持たない「凹基無茎」である。  
もう一点は、基部は欠損して不明であるが、両面を研磨している。
- III 剥片・碎片 7点出土している。

土師器・須恵器

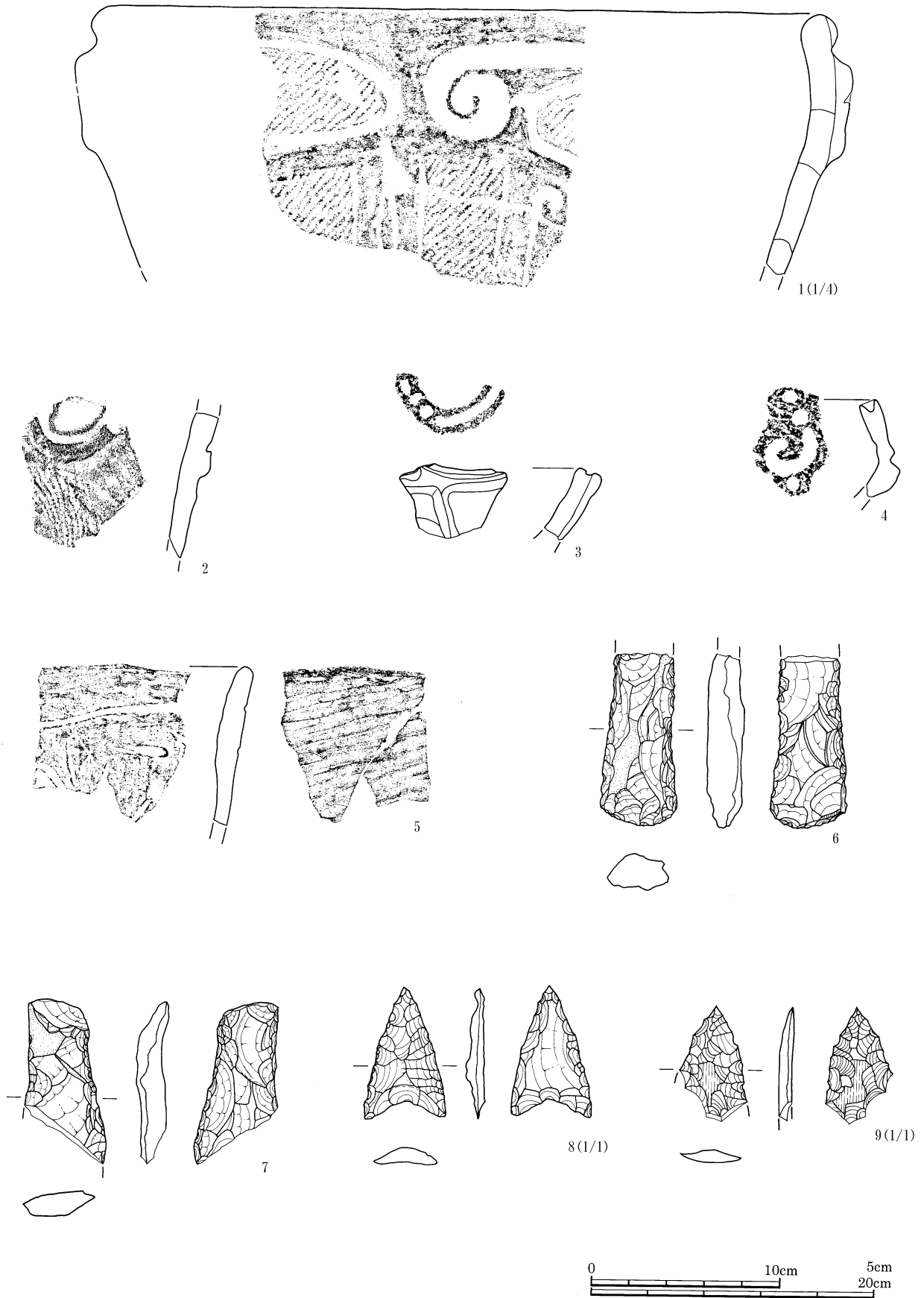
土師器・須恵器は計29点出土しているが、すべて小破片のため図示できるものはない。

A 土師器 計18点出土している。小破片のため詳細な分類は不能である。

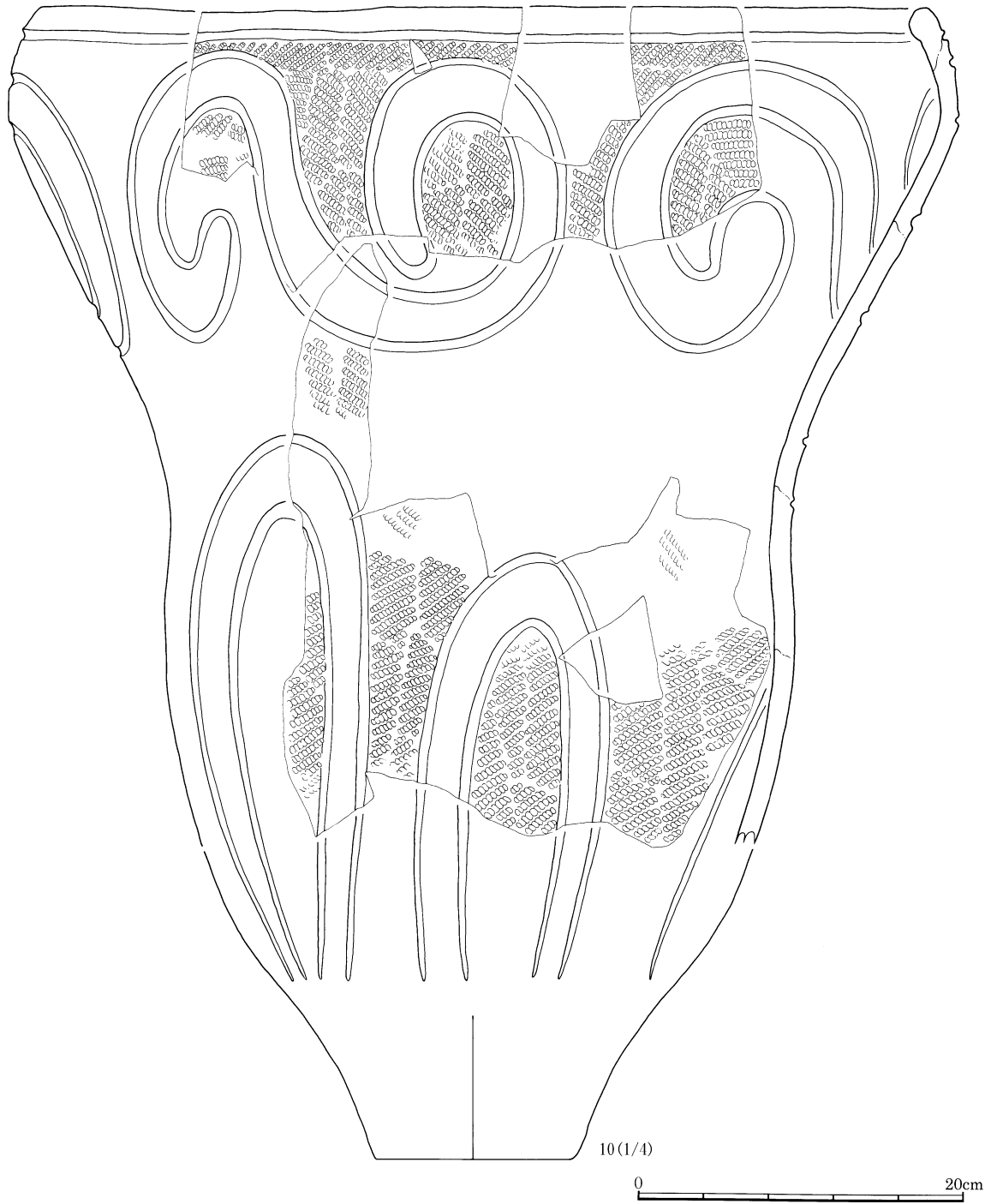
- I 坏 11点出土している。
- II 甕 4点出土している。
- III その他 3点出土している。

B 須恵器 計11点出土している。土師器同様小破片のため詳細な分類は不能である。

- I 坏 6点出土している。
- II 甕 3点出土している。
- III 壺 1点出土している。
- IV その他 1点出土している。



第41図 縄文時代出土遺物 1 土器 石器



第42図 縄文時代出土遺物2 土器

第III章 検出された遺構と出土遺物

番号	種別 器種	出土位置 残存率	口径(cm)		色調表	色調裏	焼成		調整	文様	分類
			高さ(cm)	器厚(cm)			胎土				
1	縄文土器 深鉢	47号溝他 口縁部1/6	(50.0)	[18.3]	浅黄橙 10YR8/3	にぶい 黄橙 10YR7/3	普通 粗 細砂・粗砂多 量混	内外面研磨	内外面研磨	口縁部外面隆体文・沈線区画中にR L縄文縦位充填 胴部外面沈線による 懸垂文区画中にRL縄文縦位・沈 線	I a
	縄文土器 深鉢	表土 胴部片	—	—	橙 5YR6/8	橙 5YR6/8	普通 中 細砂・粗砂・ 石英多量混	内外面研磨 か?	隆体文脇に沈線 LR縄文縦位	II a	
3	縄文土器 深鉢	1～6号溝 口縁部片	—	—	にぶい褐 7.5YR6/3	にぶい 黄橙 10YR6/4	普通 中 細砂・粗砂・ 石英多量混	磨滅により調 整不明	口縁部竹管状工具による沈線刺突 文 胴部外面隆体文	II b	
	縄文土器 深鉢	1～6号溝 口縁部片	—	—	にぶい 黄橙 10YR7/4	にぶい 黄橙 10YR7/4	良好 中 細砂少量混	内外面研磨 か?	口縁部・胴部外面竹管状工具による 沈線・刺突文	II b	
5	縄文土器 深鉢	2区表採 口縁部片	—	—	にぶい 黄橙 10YR6/4	にぶい 黄橙 10YR6/4	良好 細 細砂・石英混	内面・口縁部 外面研磨胴部 外面ナデ	半裁竹管状工具による沈線	II b	
	縄文土器 深鉢	960-040Gr 口縁～胴部 1/5	(55.0)	(51.0)	橙 7.5YR6/6	明赤褐 5YR5/8	普通 粗 安山岩粒・石 英・礫混	内外面研磨 か?	2条一組の沈線による口縁部渦巻文 体部分枝懸垂文 縄文施文部と磨消 部の交互配置 口縁部LR縄文縦位 体部RL縄文縦位充填	II a	

番号	種別 器種	出土位置	全長(cm)		幅(cm)	残存率	石材	特徴	分類	備考
			長さ(cm)	重量(g)						
6	石器 打製石斧	980-920Gr	9.2	4.1	3.9	基部一部 欠損		短冊形 片面に自然面を残す 刃部一部磨耗	I	
	1.9		93.3							
7	石器 打製石斧	I～5号溝	[8.6]	3.9	49.5	刃部欠損		撥形 片面に自然面を残す	I	
	1.5		49.5							
8	石器 石鏃	33号溝	2.5	1.5	1.0	ほぼ完形	チャート	凹基無茎	II	
	0.3		1.0							
9	石器 石鏃	980-950Gr	2.2	1.2	0.5	基部欠損	黒曜石	基部形態不明 調整後に両面研磨	II	
	0.2		0.5							



## 第Ⅳ章 ま と め

下大久保遺跡では、縄文時代から近現代にかけての遺構、遺物が検出されている。ここでは、各時代の土地利用の変遷について考察してまとめとしたい。しかしながら、近世以外は遺構が検出されていないため、明確な土地利用は不明である場合が多い。

### 縄文時代

中期後半～後期前半の遺物が出土しているが、中期前半以前の土器は出土していないため、居住活動はほとんどなされず、当遺跡は荒地となっていたと考えられる。中期後半も土器が5点のみであるため、当遺跡では居住活動は行われず、近隣のどこかに集落があったことが推定できる程度である。後期前半になると、遺構は検出されないが、遺物が集中する場所が2カ所確認された。特に960-040Gr 遺物集中地点では、後期称名寺Ⅰ式の深鉢等残りのよい遺物も出土しており、住居等の遺構が後世に削平された痕跡の可能性もあるため、居住域であったことも考えられるが、少なくとも居住域が近隣にあったことを示している。この時期は、近接する下田遺跡でも後期の集落が検出されており、当遺跡を含めたこの地域一帯が集落であったと考えられる。後期後半以降は遺構遺物がほとんど検出されていないため、当遺跡は再び荒地となっていた可能性が高い。

### 弥生～中世

弥生時代も遺構遺物ともほとんど検出されていないため、縄文時代後期後半以降と同様に人の居住およびその他の活動はなく、荒地となっていたと考えられる。古墳～平安時代にかけては、土師器、須恵器が出土しているが、少量で小破片のため、活発な居住およびその他の活動があったとは考えられない。また、詳細な時期が特定できないため該当範囲が広がっているが、おそらく遺物は古墳～平安時代の極限られた時代のもので、その時期のみ当遺跡の近辺で居住およびその他の活動があったと考えられるだけで、それ以外の時期は弥生時代と同様ほとんど荒地であったと考えられる。中世も龍泉窯系の青磁破片が出土してはいるが、他に出土遺物がないため、前代と同様であろう。

### 近世以降

1～6・44～47号溝は、ほぼ同位置で同方向に走る溝で、調査前に現在の用水路のあった位置にあるため、水田の用水路であった可能性が高い。よって近世には当遺跡は水田として使用されていた可能性が高く、現代まで継続的に水田耕作が行われていたと考えられる。水田が開削された時期は明確にはわからないが、出土陶磁器の中で最も古いものは17世紀前半～中葉のものであるため、その時期の前後には水田が作られていた可能性が高い。また、少量とはいえ陶磁器等の遺物が出土しているため、近隣に居住域があったことが想定できる。

前述したように、当遺跡より東側は、大間々扇状地藪塚面の扇央部に当たり、人の居住およびその他の活動がほとんどない地域であり、当遺跡は、遺構・遺物も見べきものは少ないが、人の居住域の最東端にあたるという点で、この地域で重要な位置を占めているといえよう。

# 写 真 图 版



2・3区全景(西上空から)



2・3区全景(上空から)



図版2 全景

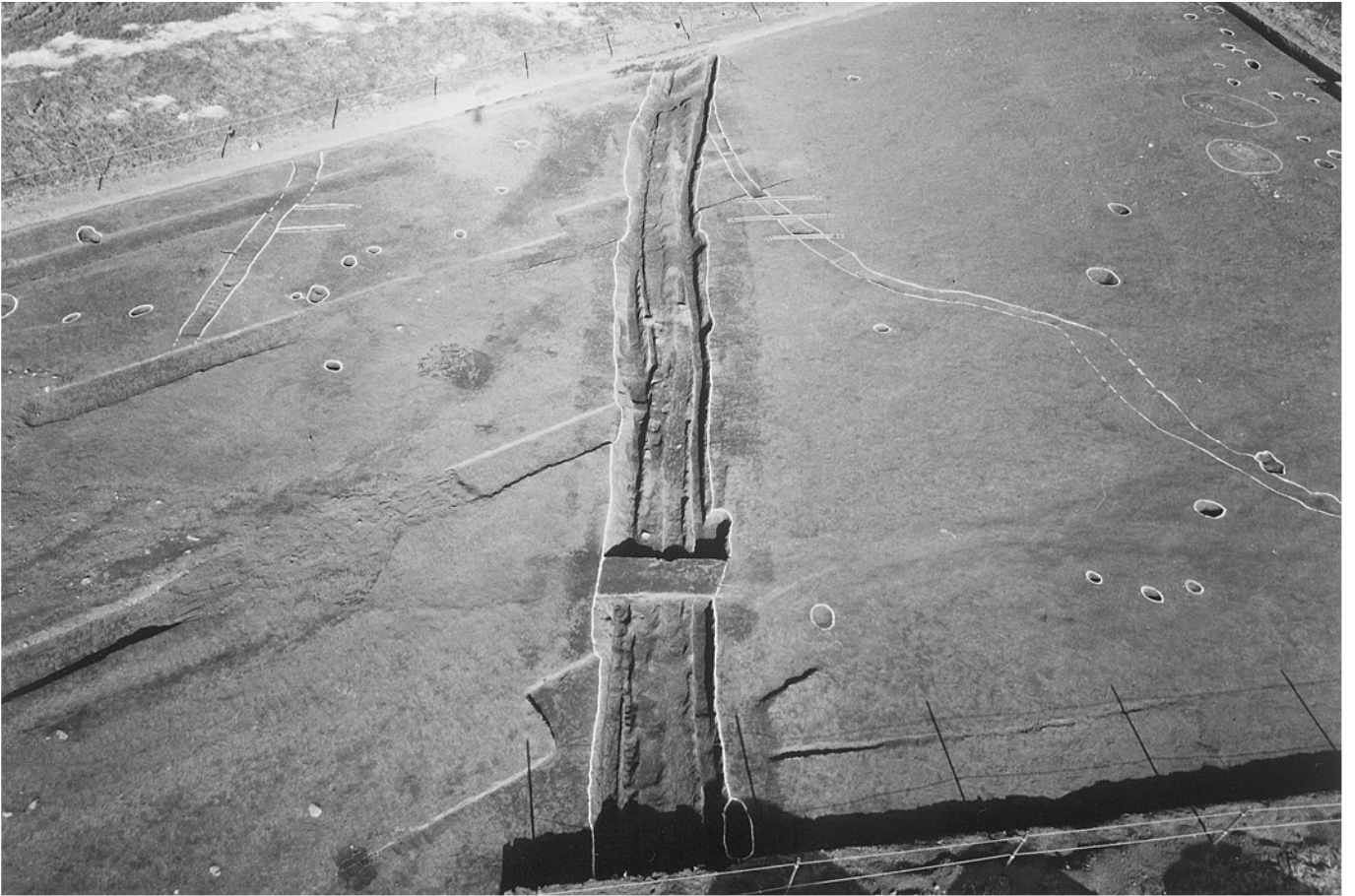


4・5・6区全景(上空から)



4・5・6区全景(上空から)





1～8号溝北部全景(南上空から)



1～6号溝南部・43～47号溝全景(北から)





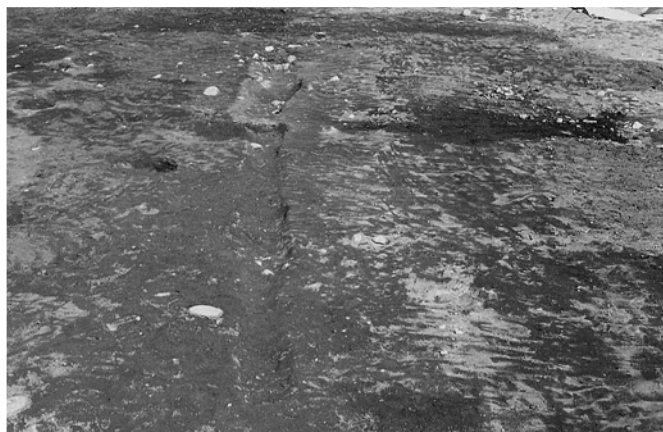
9・10・11号溝全景(東から)



9号溝全景(南から)



10号溝全景(南から)



14号溝全景(南から)



15~22号溝全景(南から)





12～22号溝全景(南西から)



20・21号溝全景(北から)



24～26号溝全景(南から)



23号溝全景(南から)



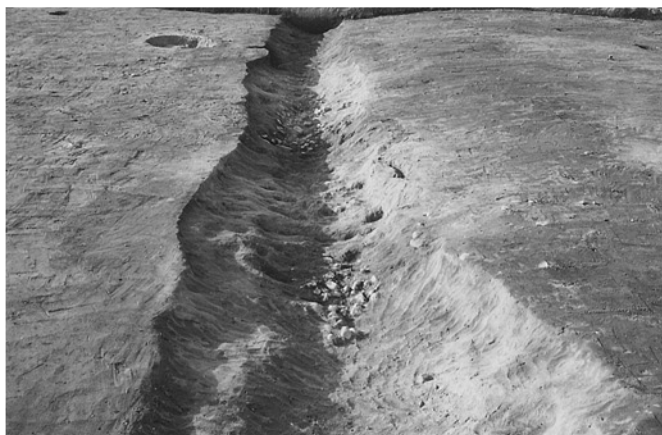
図版6 中世以降・時期不明溝



27・28・39号溝・2号谷地全景(南から)



30・31号溝全景(南から)



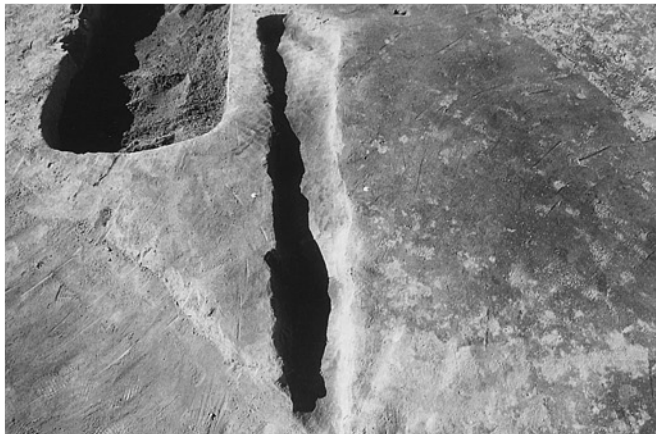
32・33号溝北東部全景(南から)



32・33号溝南西部全景(東から)



34号溝全景(東から)



36号溝全景(南から)



37号溝全景(東から)



38号溝全景(北から)





30・31・41号溝・2号谷地全景(南から)



40号溝全景(北から)



41号溝全景(北から)



42号溝全景(北から)



2号土坑全景(南から)





3号土坑全景(南から)



4号土坑全景(南から)



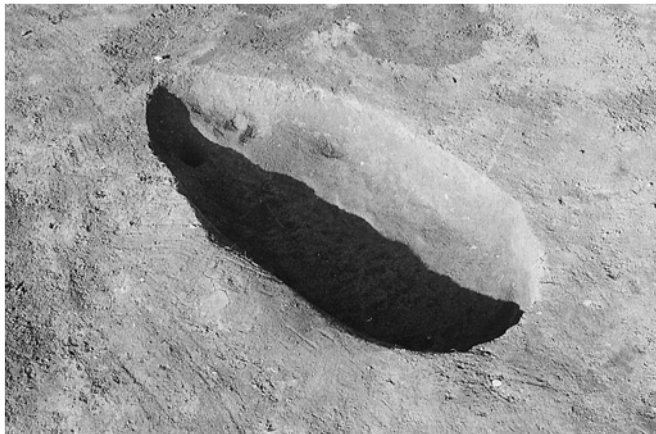
5号土坑全景(南から)



6号土坑全景(南から)



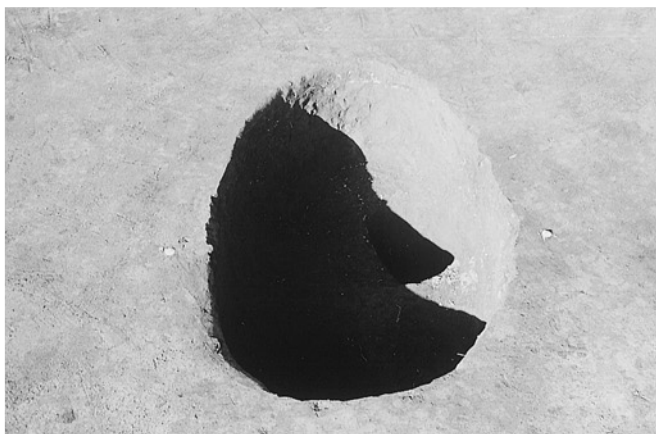
7号土坑全景(南から)



8号土坑全景(南から)



9号土坑全景(南から)



10号土坑全景(南から)





12号土坑全景(南から)



13号土坑全景(南から)



14号土坑全景(南から)



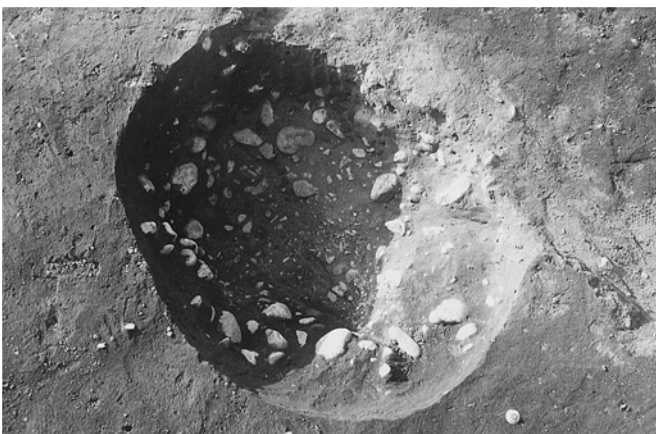
15号土坑全景(南から)



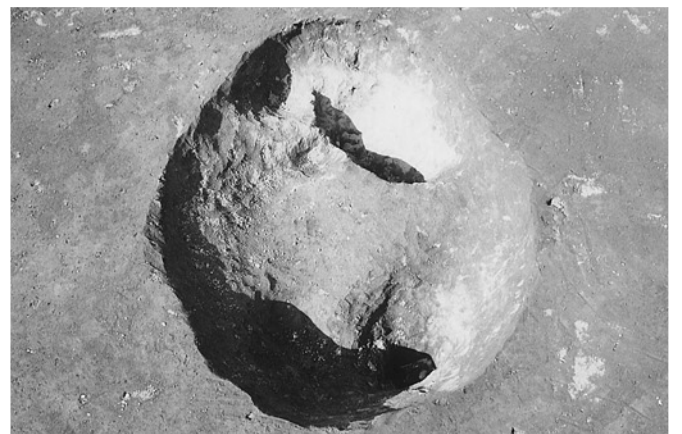
16号土坑全景(南から)



17号土坑全景(南から)



18号土坑全景(南から)

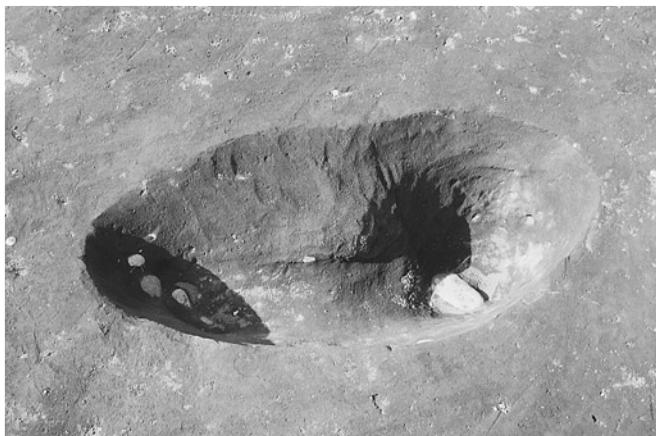


19号土坑全景(東から)





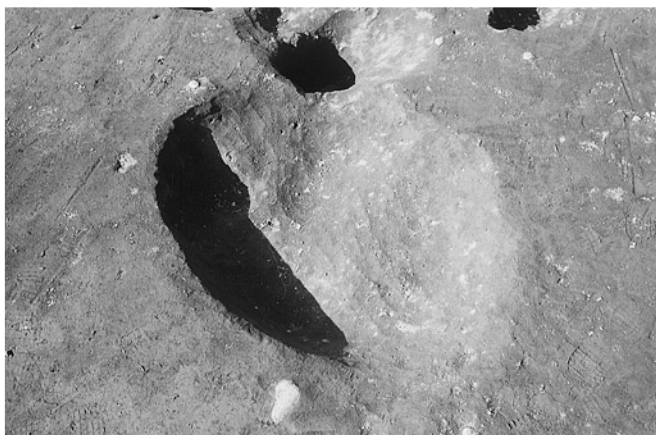
20号土坑全景(南から)



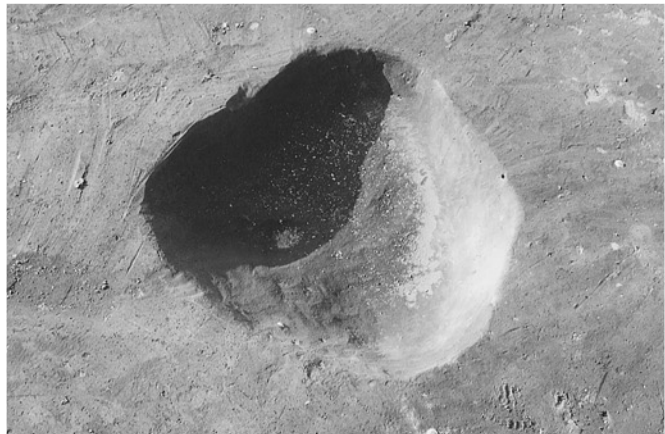
21号土坑全景(南から)



22号土坑全景(南から)



23号土坑全景(南から)



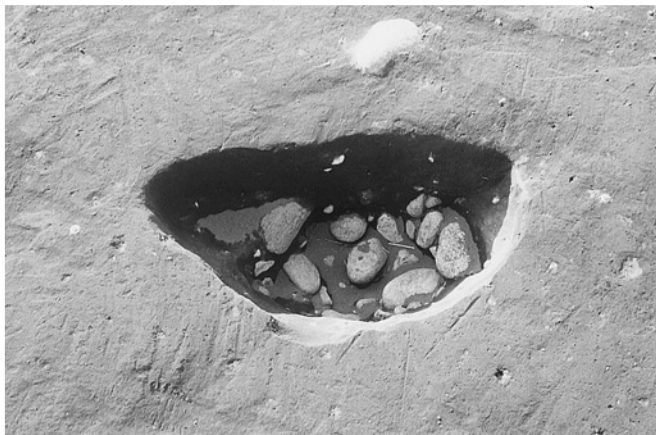
24号土坑全景(南から)



25・29号土坑全景(西から)



26号土坑全景(東から)



27号土坑全景(東から)





28号土坑全景(東から)



31号土坑全景(東から)



32号土坑全景(西から)



33号土坑全景(西から)



34号土坑全景(南から)



35号土坑全景(東から)



36号土坑全景(南から)



37号土坑全景(西から)





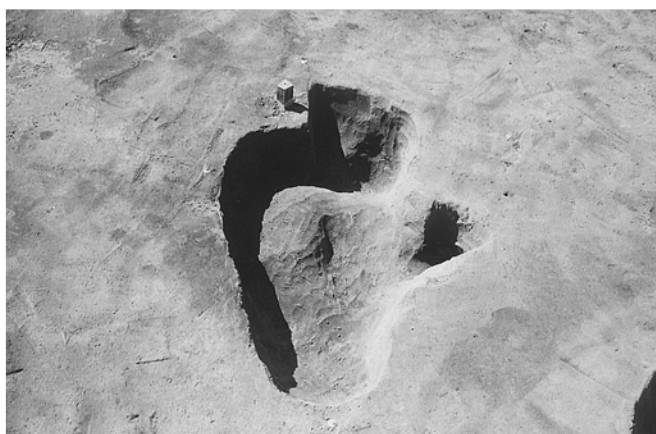
40号土坑全景(西から)



41号土坑全景(西から)



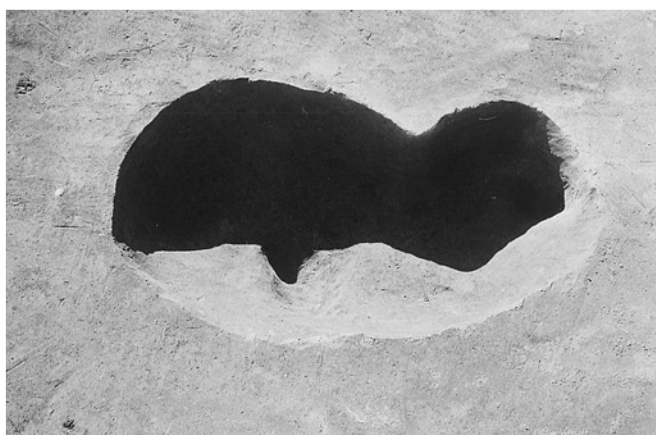
42号土坑全景(西から)



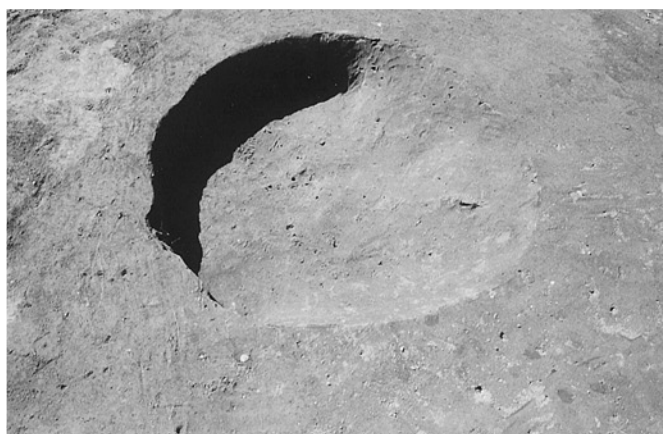
43号土坑全景(東から)



44号土坑全景(北から)



45号土坑全景(東から)



46号土坑全景(東から)

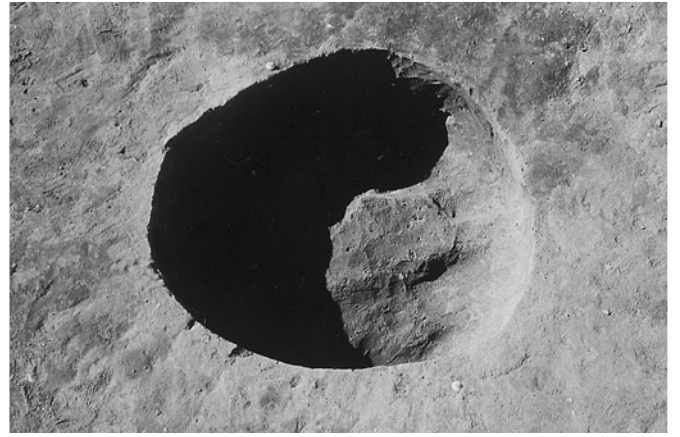


47号土坑全景(南から)





49号土坑全景(西から)



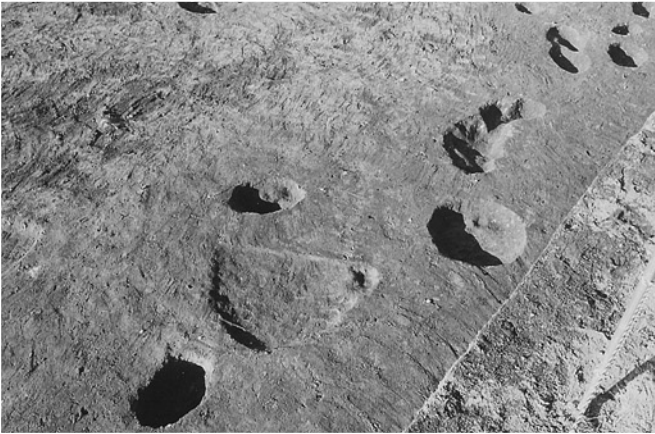
50号土坑全景(東から)



51号土坑全景(東から)



1~9号ピット全景(南から)



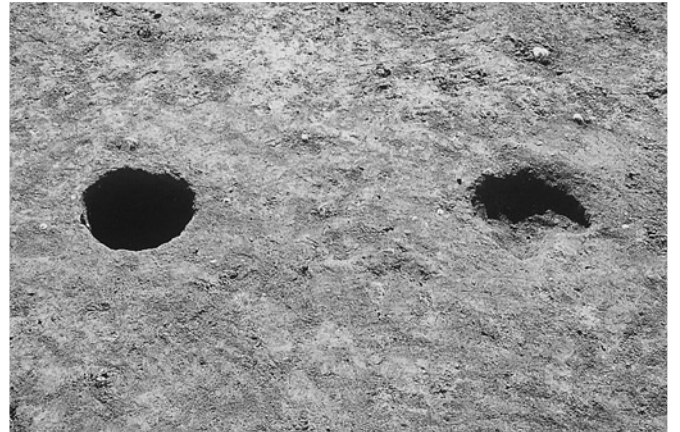
10~14号ピット全景(南から)



15~26号ピット全景(南から)



27~35号ピット全景(南から)



38・39号ピット全景(北から)



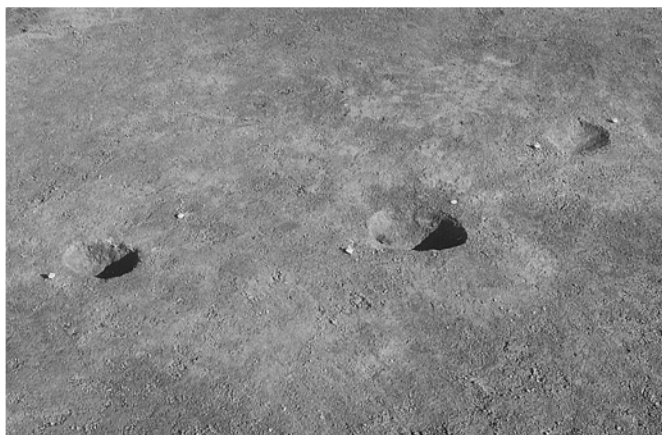
図版14 中世以降・時期不明ピット



40・41・46号ピット全景(南から)



42～45号ピット全景(西から)



57・58・59号ピット全景(西から)



61～65号ピット全景(南から)



66～80号ピット全景(南から)



86・87・95号ピット全景(東から)



77・80～83・85・88・89号ピット全景(南から)



96～99・116号ピット全景(南東から)





107・108～109・138～142号ピット全景(西から)



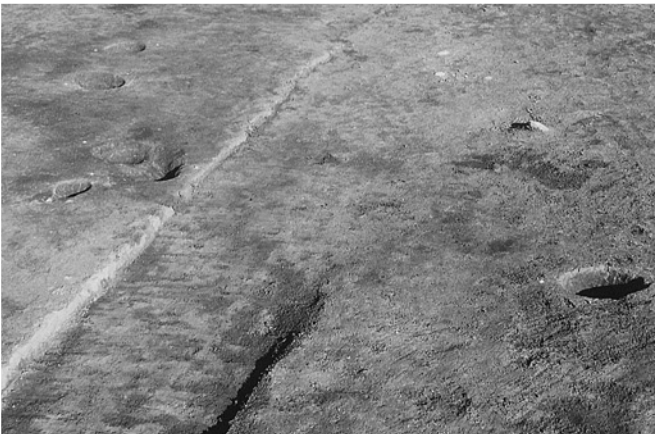
104～106号ピット全景(南から)



110・111・112・114・115号ピット全景(西から)



117～119号ピット全景(南から)



120～124号ピット全景(南から)



125・126・127号ピット全景(南から)



128～130号ピット全景(南から)

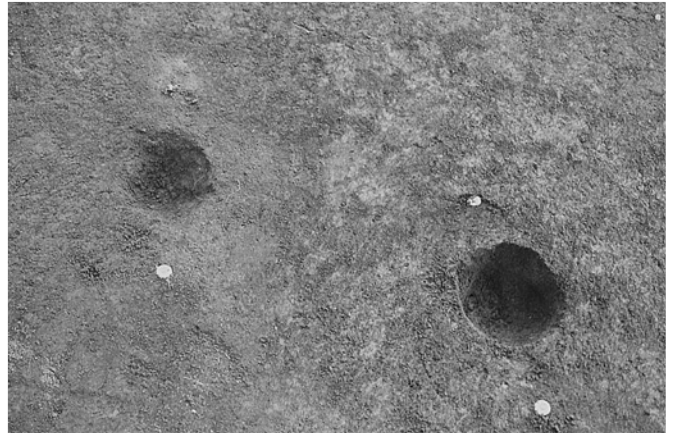


131～133号ピット全景(西から)





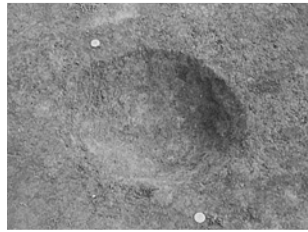
134~136号ピット全景(西から)



147・148号ピット全景(西から)



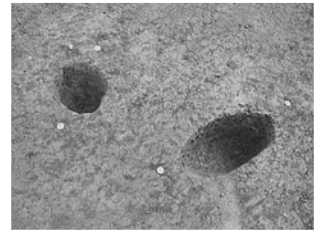
149号ピット全景(西から)



150号ピット全景(西から)



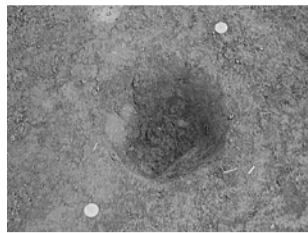
151号ピット全景(西から)



152・153号ピット全景(西から)



154号ピット全景(西から)



155号ピット全景(西から)



156号ピット全景(西から)



157・158号ピット全景(西から)



159号ピット全景(南から)



160号ピット全景(西から)



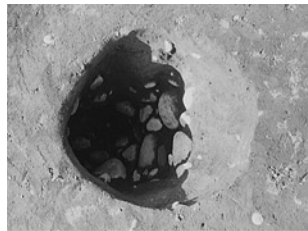
161号ピット全景(南から)



162号ピット全景(南から)



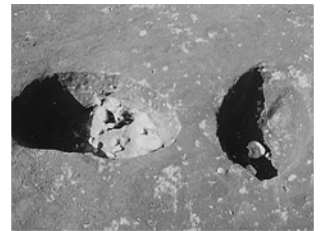
163号ピット全景(南から)



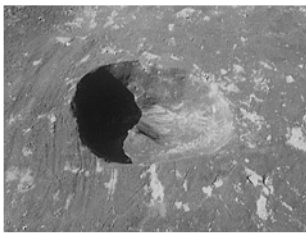
165号ピット全景(南から)



166・167号ピット全景(東から)



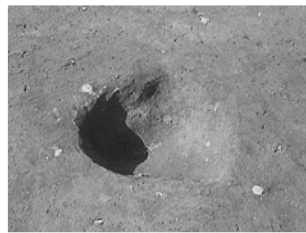
168・169号ピット全景(南から)



170号ピット全景(南から)



171号ピット全景(東から)



172号ピット全景(東から)



173・174号ピット全景(西から)





175号ピット全景(南から)



176号ピット全景(南から)



177号ピット全景(南から)



178号ピット全景(南から)



179号ピット全景(南から)



180号ピット全景(南から)



181号ピット全景(東から)



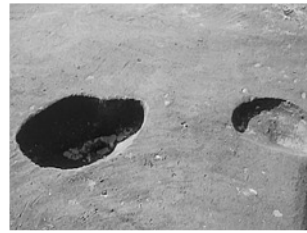
182号ピット全景(東から)



183ピット全景(東から)



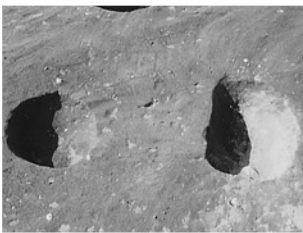
184・185号ピット全景(東から)



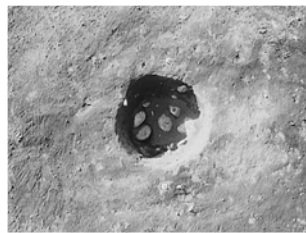
186・190号ピット全景(東から)



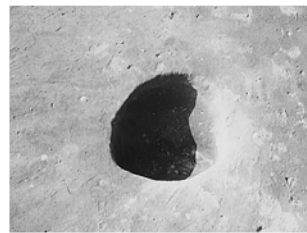
187号ピット全景(南から)



188・189号ピット全景(東から)



191号ピット全景(東から)



192号ピット全景(東から)



193号ピット全景(東から)



194号ピット全景(南から)



195号ピット全景(西から)



196号ピット全景(西から)



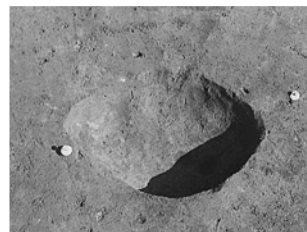
197号ピット全景(西から)



198・199号ピット全景(西から)



200号ピット全景(西から)



201号ピット全景(西から)



202号ピット全景(西から)



204号ピット全景(西から)



205号ピット全景(西から)



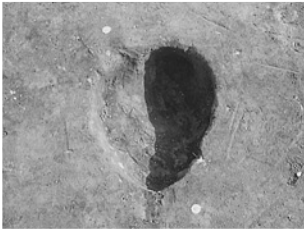
207号ピット全景(西から)



208号ピット全景(西から)



図版18 中世以降・時期不明ピット



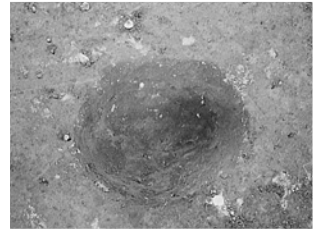
209号ピット全景(西から)



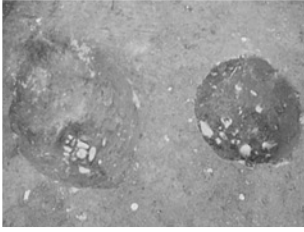
211号ピット全景(西から)



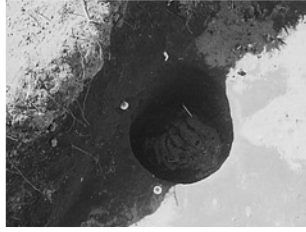
212号ピット全景(西から)



213号ピット全景(西から)



214号ピット全景(南から)



216号ピット全景(北から)



217号ピット全景(西から)



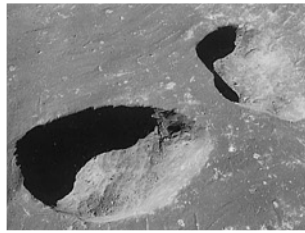
218号ピット全景(西から)



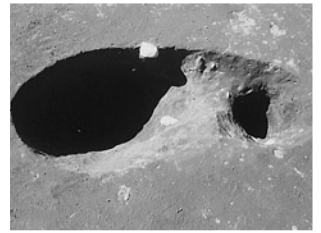
219~222号ピット全景(東から)



223号ピット全景(西から)



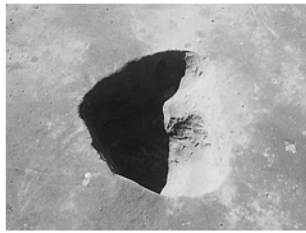
224・225号ピット全景(北から)



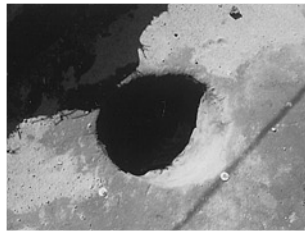
226・254A号ピット全景(西から)



227・228号ピット全景(北から)



230号ピット全景(西から)



231号ピット全景(北から)



234号ピット全景(北から)



235・236号ピット全景(北から)



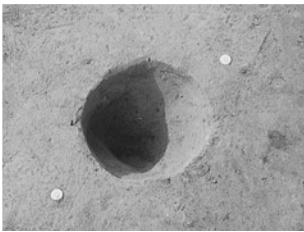
237号ピット全景(東から)



238号ピット全景(東から)



239号ピット全景(東から)



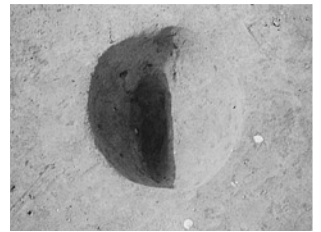
240号ピット全景(東から)



241号ピット全景(東から)



242号ピット全景(東から)



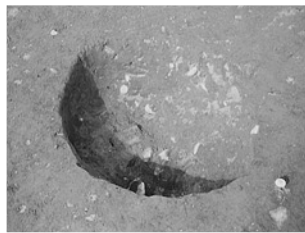
243号ピット全景(東から)



244号ピット全景(東から)



245号ピット全景(南から)

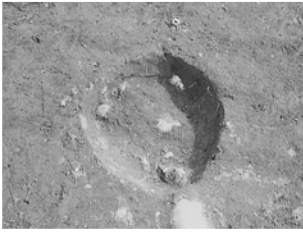


246号ピット全景(南から)



247号ピット全景(東から)





248号ピット全景(北から)



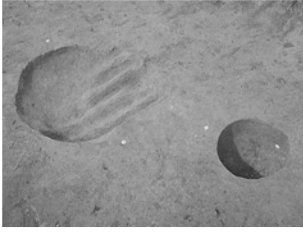
249号ピット全景(南から)



250号ピット全景(西から)



251号ピット全景(西から)



252号ピット全景(西から)



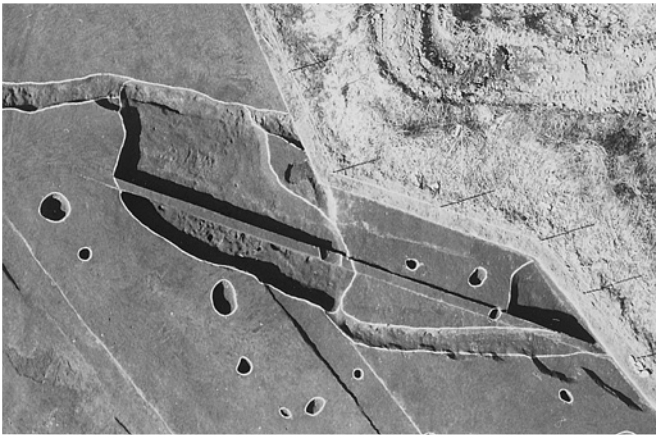
254B号ピット全景(西から)



255号ピット全景(東から)



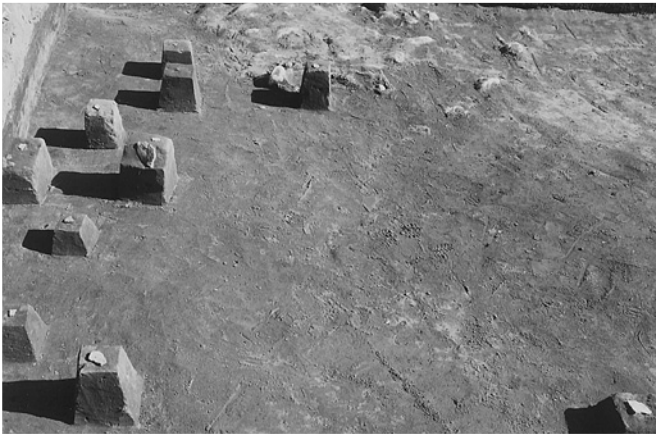
256号ピット全景(東から)



1・2号落ち込み全景(上空から)



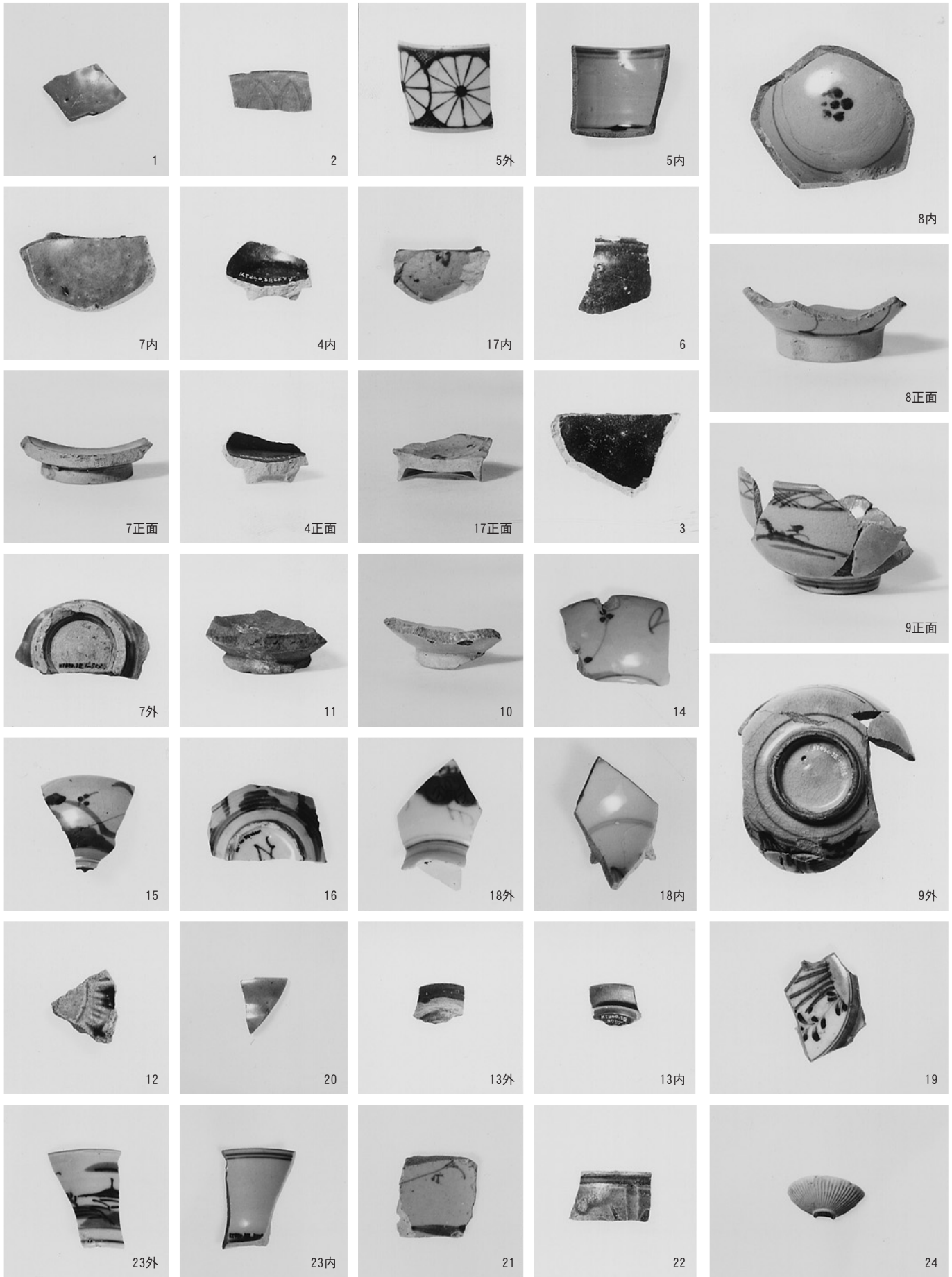
2号谷地全景(南から)



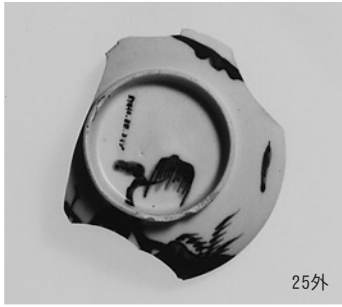
1号谷地遺物出土状況(西から)



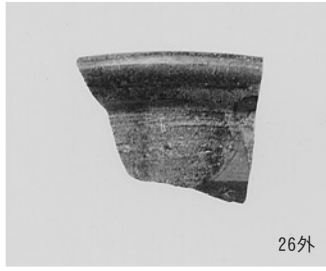
960-040Gr遺物集中地点遺物出土状況(西から)







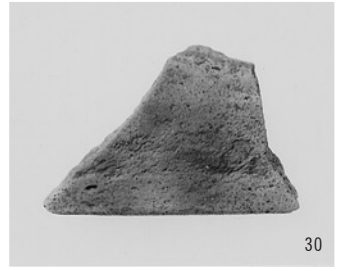
25外



26外



26内



30



25正面



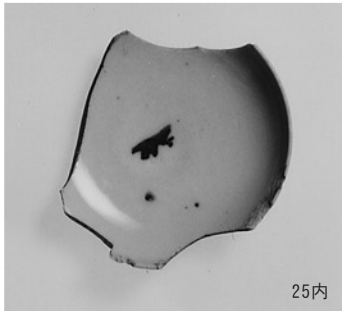
29



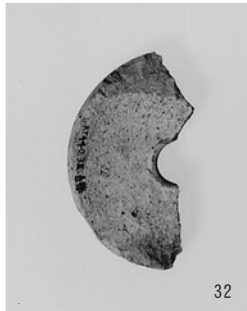
31



27



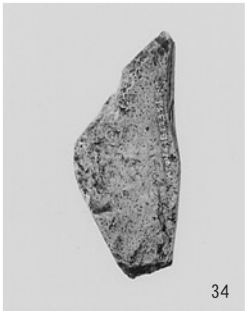
25内



32



34



34



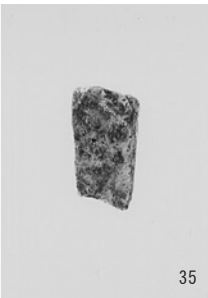
28



36



36



35



35



37



37



33



33



33



39



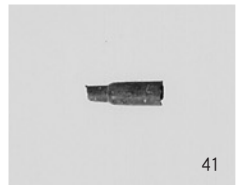
40



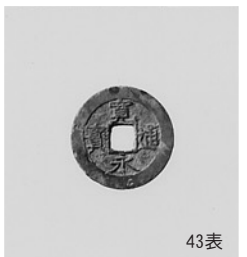
38



42



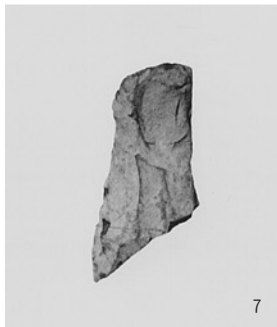
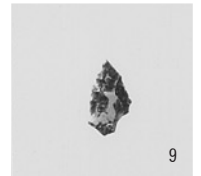
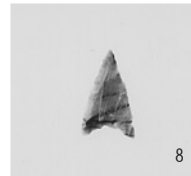
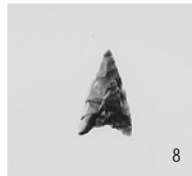
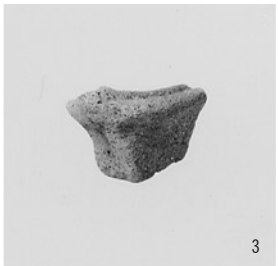
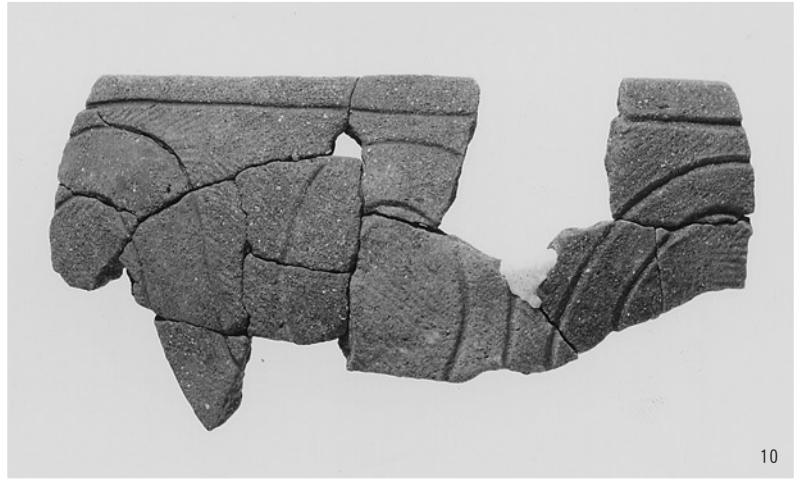
41



43表



43裏





## 報告書抄録

書名ふりがな	しもおおくぼいせき
書名	下大久保遺跡
副書名	北関東自動車道（伊勢崎～太田）地域埋蔵文化財発掘調査報告書
巻次	
シリーズ名	財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書
シリーズ番号	第416集
編著者名	新井仁
編集機関	財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
発行機関	財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
発行年月日	2007
作成法人ID	21005
郵便番号	377-8555
電話番号	0279-52-2511
住所	群馬県渋川市北橘町下箱田784-2
遺跡名ふりがな	しもおおくぼいせき
遺跡名	下大久保遺跡
所在地ふりがな	ぐんまけんいせさきしたべいちょう
遺跡所在地	群馬県伊勢崎市田部井町
市町村コード	10204
遺跡番号	21005-00915
北緯(日本測地系)	362027
東経(日本測地系)	1391554
北緯(世界測地系)	362038
東経(世界測地系)	1391543
調査期間	20020701-20020715/20021202-20030331/20030609-20030818
調査面積	21,178m <sup>2</sup>
調査原因	道路建設工事
種別	集落/その他
主な時代	縄文/近世
遺跡概要	集落－近世－溝46＋土坑53＋ピット256＋落込み2＋谷地1－陶磁器＋土器＋石製品＋金属製品/その他－縄文－遺物集中地1＋谷地1－縄文土器＋石器
特記事項	近世以降の用水路

財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書第416集

## 下大久保遺跡

北関東自動車道(伊勢崎～県境)地域埋蔵文化財発掘調査報告書

---

平成19年9月18日 印刷

平成19年9月28日 発行

編集・発行／財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

〒377-8555 群馬県渋川市北橘町下箱田784番地2

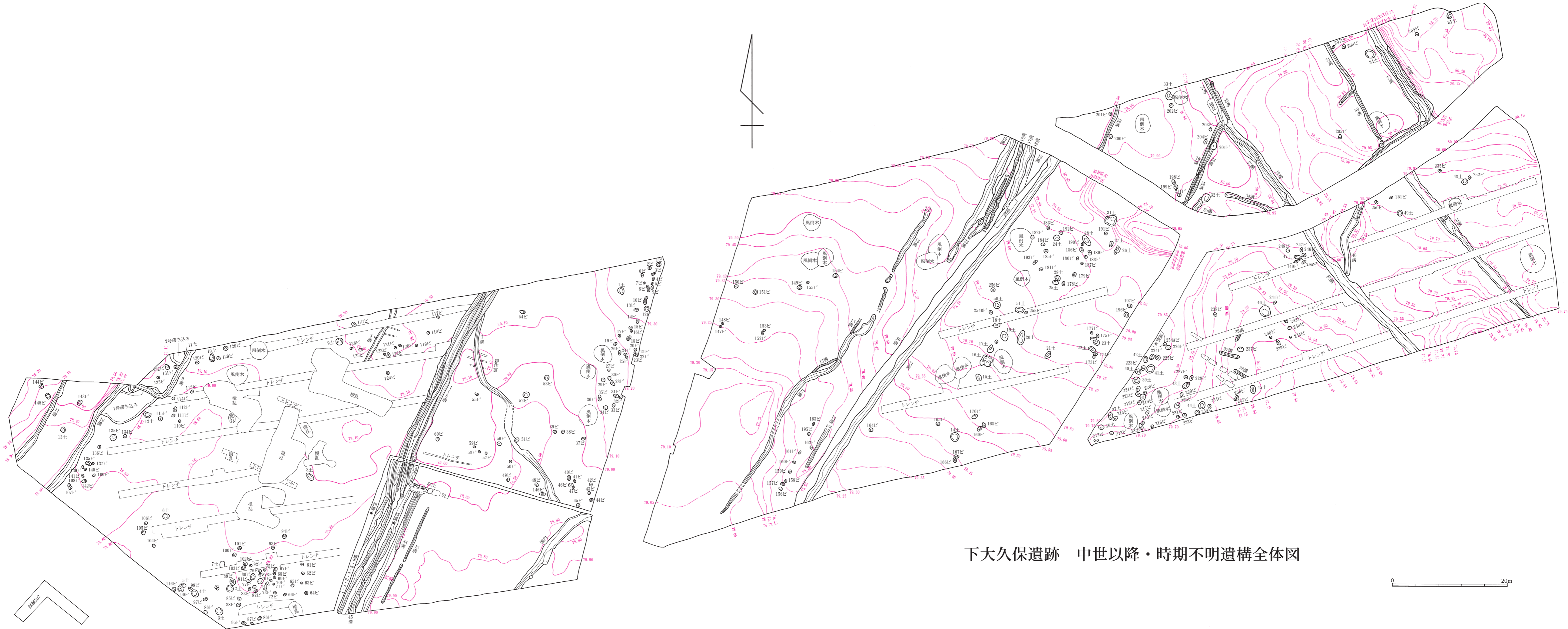
電話 (0279) 52-2511 (代表)

ホームページアドレス <http://www.gunmaibun.org/>

印刷／朝日印刷工業株式会社

---

試掘No1



下大久保遺跡 中世以降・時期不明遺構全体図

0 20m

140 120 100 80 60 40 20 0 20 40 60 80 100 120 140

040

020

38000

980

960

940